



PLATEAU
by MLIT

PLATEAU Technical Report
3D都市モデル活用のための技術資料



開発許可の DX v4.0
技術調査レポート

series No. 134

Technical Report on Digital Transformation of Land Development Permit Procedures v4.0

目次

1. ユースケースの概要	- 1 -
1-1. 現状と課題	- 1 -
1-1-1. 課題認識	- 1 -
1-1-2. 過年度の手法とその課題	- 2 -
1-1-3. 既存業務フロー	- 3 -
1-2. 課題解決のアプローチ	- 7 -
1-3. 創出価値	- 9 -
1-4. 想定事業機会	- 9 -
2. 調査・検討の進め方	- 10 -
2-1. 価値仮説	- 10 -
2-2. 価値仮説のポイント	- 10 -
2-3. 調査・検討フロー	- 11 -
2-4. 調査・検討体制	- 12 -
2-5. 調査対象	- 13 -
2-6. スケジュール	- 14 -
3. 調査の概要	- 15 -
3-1. 調査概要・方法	- 15 -
3-1-1. 調査方法	- 15 -
3-1-2. システム化に向けた業務フローの前提情報	- 16 -
3-1-3. ヒアリング・アンケートの詳細	- 32 -
3-2. 検証結果	- 35 -
3-2-1. ヒアリング調査結果	- 35 -
3-2-2. アンケート調査結果	- 37 -
4. 要件定義スコープ	- 41 -
4-1. 概要	- 41 -
5. 開発システム	- 42 -
5-1. アーキテクチャ	- 42 -
5-1-1. システムアーキテクチャ	- 42 -
5-1-2. データアーキテクチャ	- 44 -
5-1-3. ハードウェアアーキテクチャ	- 46 -
5-2. システム機能	- 48 -
5-2-1. システム機能一覧	- 48 -
5-2-2. 利用推奨ソフトウェア・ライブラリ	- 64 -
5-2-3. 開発機能の詳細要件	- 66 -
5-3. アルゴリズム	- 127 -
5-3-1. 利用推奨アルゴリズム	- 127 -

5-4. データインタフェース.....	- 153 -
5-4-1. ファイル入力インタフェース.....	- 153 -
5-4-2. ファイル出力インタフェース.....	- 157 -
5-4-3. 外部連携インタフェース.....	- 164 -
5-5. 利用推奨データ.....	- 165 -
5-5-1. 利用推奨データの一覧.....	- 165 -
5-6. ユーザーインタフェース.....	- 177 -
5-6-1. 画面一覧.....	- 177 -
5-6-2. 画面遷移図.....	- 185 -
5-7. 開発システムの利用手順.....	- 187 -
5-7-1. 開発システムの利用フロー.....	- 187 -
6. システムの非機能要件.....	- 188 -
6-1. 社会実装に向けた非機能要件.....	- 188 -
7. 成果と課題.....	- 192 -
7-1. 調査で得られた課題と対応策.....	- 192 -
7-2. 今後の展望.....	- 193 -
8. 用語集.....	- 194 -

1. ユースケースの概要

1-1. 現状と課題

1-1-1. 課題認識

市街地等において一定規模以上の開発行為を行う場合、都市計画法に基づく開発許可が必要となり、全国で毎年約2万件の申請が行われている。開発許可制度は、申請のあった開発行為が対象エリアの技術基準や立地基準に適合しているかの審査を行うものだが、審査に必要な、関連資料や関係者との協議等が多岐にわたるため、審査側の地方公共団体と申請側の民間事業者の双方で多大な事務負担となっている。

国土交通省都市局が2024年度に実施した全国の開発許可権者に該当する団体を対象とした開発許可申請等のデジタル化に向けた調査（「令和6年度開発許可申請等のデジタル化に向けた課題分析・調査検討業務」）において、都市計画法に基づく開発許可手続きにおいては一定の共通した業務フローが確認されたが、条例、協議方法、関係部局との連携方法等の違いにより、地方公共団体ごとに一定の差異が存在することが確認された。

そのため、全国の地方公共団体が活用できる開発許可手続きに係るシステムの検討にあたっては、条例に基づく独自の申請書類、協議方法、組織体制、既存システム環境等を踏まえた検討が必要となることを前提としつつ、検討の土台となる汎用的に求められる要件の整理とシステムが具備すべき機能の整理が必要となる。加えて、完全な電子化にあたっては、原本管理や手数料納付等の関連する手続きの外部サービスとの連携を視野に入れた検討が必要となる。

1-1-2. 過年度の手法とその課題

開発許可事務における地方公共団体の審査負担と民間事業者の窓口での申請負担の軽減に向けて、Project PLATEAU において、「開発許可 DX」の開発に取り組んできた。

2022 年度の「開発許可 DX1.0」では、様々な都市空間情報を標準化された 3D 都市モデルに統合することにより自動概況診断機能及び事前相談機能を開発した。これにより事業者は、開発行為に必要な・不要な手続きの概要を、根拠となる地図情報と合わせてシステムから取得できるようになったほか、窓口で行っていた開発行為の事前相談のオンライン完結が可能となり、市役所窓口への訪問調整の手間や各課との協議時間の削減を実現した。行政職員としても、突発的な窓口相談対応を削減し、オンラインで受け付けた相談内容をまとめて回答する時間を設定できる等、業務効率化の可能性を見出すことができた。

2023 年度の「開発許可 DX2.0」では、要望の多かった道路幅員情報の自動提供について、3D 都市モデルの道路モデル（LOD2）及び地方公共団体保有の道路台帳要素を用いて対応したほか、申請書類をダウンロードせずにシステム上でコメントを追記可能とする、コミュニケーション機能の改良を実施した。

2024 年度の「[開発許可の DX3.0](#)」では、事前相談を対象としてきた「[開発許可申請管理システム](#)」に事前相談の情報を引継ぎ、開発行為の事前協議手続きや、公共施設管理者との都市計画法 32 条協議、そして 29 条に基づく開発許可までの手続きをワンストップで実現するシステムへ拡張したほか、地方公共団体の庁内環境に配慮して軽量データで利用可能とする 2D 表示機能を追加した。地方公共団体で日常の事務に利用する PC 及びインターネット接続環境は、3D データを伝送して描画するには、現状では性能が不足することが多い。2D モードの実装により日常的に事務で利用する PC からアクセスが可能となる。実証では、土地調査や申請情報の管理が効率化される効果が確認できた。また、実際の申請事務での運用経験により、今後の本格実装に向けた具体的な展開の見通しが得られた。

一方で、実証実験した地方公共団体以外へ横展開するためには、地方公共団体ごとに異なる手続きフローへの対応が必要となる。特に、都道府県が許可権者となる場合、都道府県下の複数の地方公共団体と事前相談や都市計画法 32 条協議等で連携が必要となるため、対応するためには仕組みの検討が必要である。また、都市計画法 29 条に基づく開発許可証の発行まで対応したが、その後、工事完了時には完了検査を行った上で完了検査済証の交付を行う。このような後続する手続きについても電子化が求められている。全国の地方公共団体への展開にあたっては、これらの課題に対応するシステム要件の定義が必要となる。

1-1-3. 既存業務フロー

開発許可手続きは、一般的には以下の業務フローによって示される。

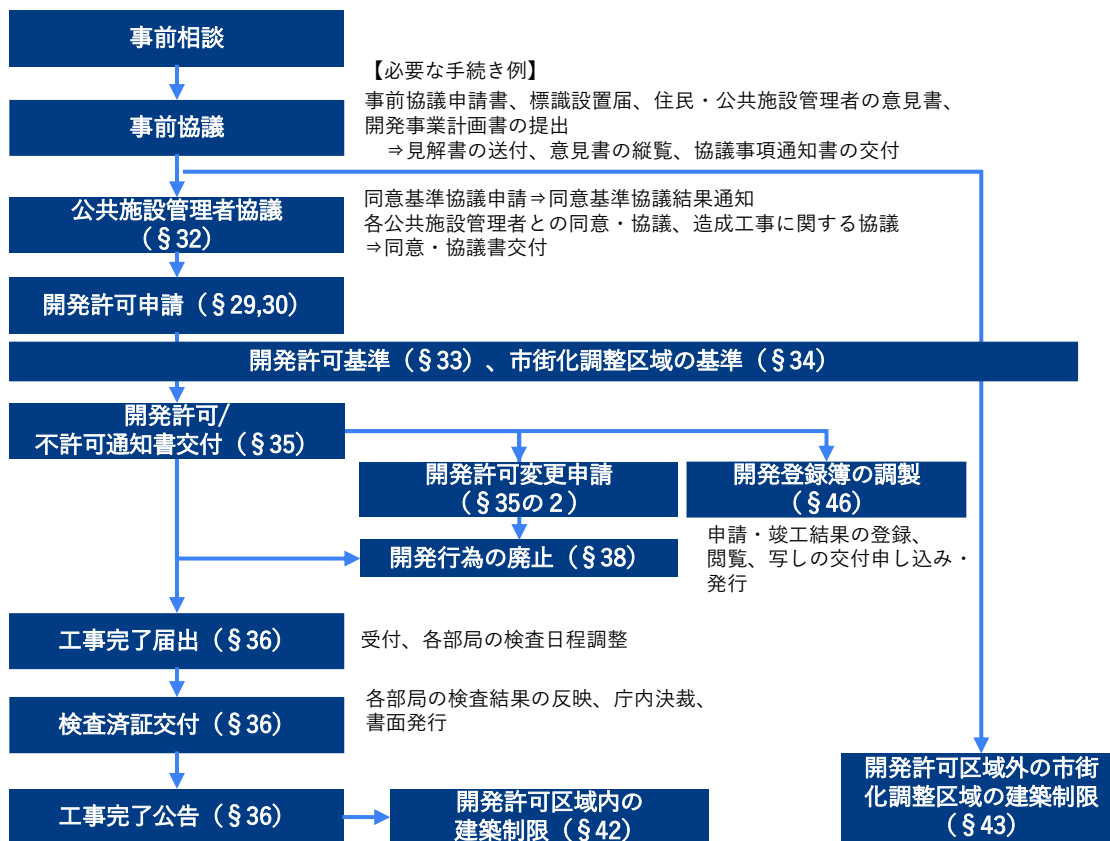


図 1-1 一般的な既存業務フロー

表 1-1 一般的な既存業務概要

実施項目		実施主体	業務概要
事前相談		市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が開発許可担当部局に開発許可にあたり事前に協議すべきことや開発許可の要否、必要な協議先の確認を行う
事前協議		市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 景観やまちづくり条例といった事前相談すべき事項を関係する担当部局と開発事業者が協議を行う
公共施設管理者協議		市町村/都道府県、公共施設管理者、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が道路管理者や上下水道管理者といった複数の公共施設管理者と協議し、同意書を得る
開発許可申請	開発許可申請 開発許可/不許可通知書交付	市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が開発許可の申請を行い、開発許可担当部局が許可基準を審査し、許可書を交付する
工事の完了・ 廃止・変更	工事完了届出 検査済証交付 工事完了広告	市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が許可を受けた開発行為の工事の完了届を提出 開発許可担当部局は工事の完了検査を行い、検査済証を交付のうえ、当該工事が完了した旨を公告する
	開発許可変更申請	市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が許可を受けた開発行為の変更届を提出し、承認を得る
	開発行為の廃止	市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が許可を受けた開発行為の工事の廃止届を提出し、承認を得る
開発許可区域の建築制限		市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が開発行為の工事が完了した後に建築物等の用途変更等の際、開発許可担当部局から建築の許可を受ける
開発許可区域外の市街化調整区域の建築制限		市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者が開発行為を伴わない市街化調整区域内の建築物について、開発許可担当部局から建築の許可を受ける
開発登録簿	開発登録簿の調製	市町村/都道府県、事業者	<ul style="list-style-type: none"> 個人・事業者が開発許可担当部局に開発登録簿の閲覧を申込、開発許可担当部局窓口や庁内端末から閲覧 個人・事業者が本人確認書類を提出、手数料を納付し、開発許可担当部局から開発登録簿の写しの発行を受ける

開発許可にかかわる各手続きに関係する主体は、開発許可権者に該当する市町村と都道府県において異なる。開発許可権者に該当する市町村と都道府県における各関係者と主な役割を表 1-2、表 1-3 に示す。

表 1-2 主な関係者と主な役割（開発許可権者に該当する市町村の場合）

関係者名	主な役割
開発事業者	開発行為を行う主体であり、開発行為に必要な各種申請を実施する
開発許可担当部局 (市町村)	開発事業者からの各種開発許可に係る申請を受け付ける主体であり、事業者からの各種申請の窓口になるとともに、必要に応じて関係部局及び公共施設管理者との調整を実施する
関係部局（市町村）	開発事業者からの各種申請について、開発許可担当部局と調整し、申請の確認及び許諾等を実施する
公共施設管理者	開発事業者からの各種申請について、市町村の開発許可担当部局と調整し、申請の確認及び許諾等を実施する
民間事業者等	上記関係者に含まれない民間事業者であり、必要に応じて各種申請を確認する

表 1-3 主な関係者と主な役割（開発許可権者に該当する都道府県の場合）

関係者名	主な役割
開発事業者	開発行為を行う主体であり、開発行為に必要な各種申請を実施する
開発許可担当部局 (都道府県)	開発事業者からの各種開発許可に係る申請を受け付ける主体であり、事業者からの各種申請の窓口になるとともに、必要に応じて関係部局、公共施設管理者及び開発許可権限を有さない開発区域の市町村との調整を実施する
関係部局（都道府県）	事業者からの各種申請について、都道府県の開発許可担当部局と調整し、申請の確認及び許諾等を実施する
開発許可担当部局 (開発区域の市町村)	開発許可権限を有していないが、開発事業者からの事前相談等の開発許可申請手続きの前の窓口になるとともに、担当部局、都道府県及び公共施設管理者との調整を実施する
公共施設管理者	開発事業者からの各種申請について、都道府県または開発区域に市町村の開発許可担当部局と調整し、申請の確認及び許諾等を実施する
民間事業者等	上記関係者に含まれない民間事業者であり、必要に応じて各種申請を確認する

業務フロー上の課題を以下に示す。



図 1-2 既存業務フロー上の課題

表 1-4 課題詳細

No.	主体	課題詳細
①	事業者	<ul style="list-style-type: none"> 市役所や建設事務所への物理的な訪問による時間の損失が発生している 窓口対応までの待ち時間が発生し、負担が発生している
	地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> 窓口対応のための時間確保や他作業が中断され、負担が発生している 事前相談・協議用書類の必要性を調査する必要がある、負担が発生している
②	地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> システム化が事前相談等への対応のみでは、後続の審査業務への情報が引き継がれず、業務効率化が限定的となる
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> システム化が事前相談等への対応のみでは、開発許可申請にあたり情報の再入力等の手間が発生する

1-2. 課題解決のアプローチ

開発許可 DX システム v3.0 で対応する開発許可申請までの業務に加え、開発登録簿の調製まで含めた一連の手続きを網羅できるよう、開発許可権者に該当する地方公共団体を対象にアンケート・ヒアリング調査を実施し、全国の地方公共団体で共通の業務フローを整理したうえで、汎用的に求められる要件と実装すべき機能を整理した。

なお、過年度開発した開発許可 DX の OSS については、2024 年度の実証で得られている改善要望を基に追加及び修正機能を整理した。

本システムの導入で期待される改善点を以下の表に示す。

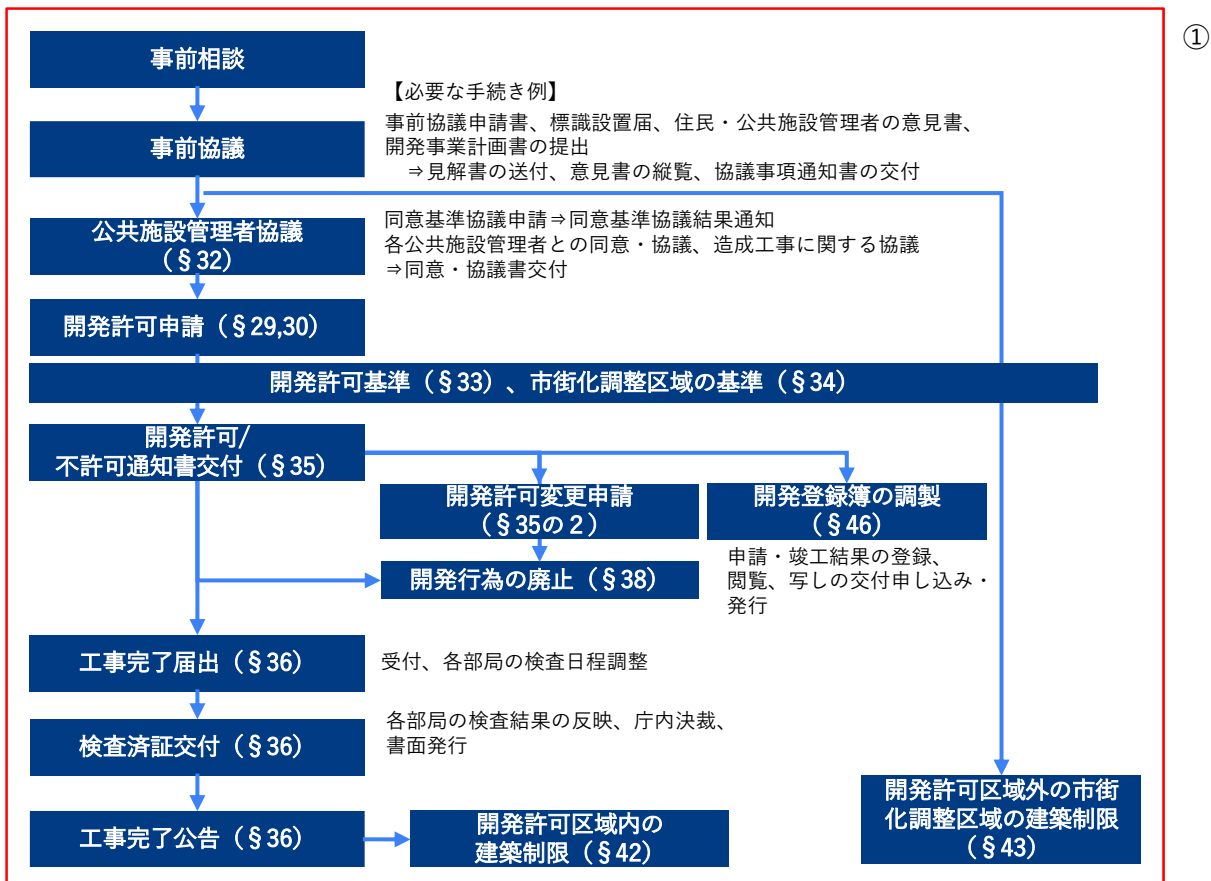


図 1-3 改善後の業務フロー

表 1-5 本システム導入による改善点

実施項目	実施主体	本システム導入による改善点
①手続き全体の電子化の実現	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業所から概況診断を行うことが可能になるため、移動時間が削減される ● 提出に必要な書類をシステムにより自動判別するため、必要書類確認の時間が削減される ● システム内の機能により各課へ問い合わせを行うことが可能になるため、移動時間が削減される ● 確認したい事項に対して、担当課へ自動で問い合わせ内容が送信されるため、問い合わせ先の選別が不要になる ● 事業所から提出書類の差替えを対応でき、移動時間が削減される ● 後続の申請業務での画面入力/確認作業負担が削減される
	行政担当者	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用目的別に土地状況の確認結果が自動で出力されるため、確認時間が削減される ● 提出に必要な書類が揃っているかの確認時間が削減される ● システム内の機能で問い合わせ対応が可能のため、窓口対応にあてていた時間をまとめることができ、時間効率があがる ● 対応を要する事項についてリマインドが自動送信され、手続き漏れを防止できる ● 事業者の書類差替え期間の短縮、庁内関係課の手続き漏れ防止により、手続き期間全体が短縮される ● 回答の知見がデータベース化されることにより、ノウハウを継承できる。テンプレート化により、回答の効率化も期待される ● 後続の審査業務も含めた情報連携、画面入力/確認作業が削減される

1-3. 創出価値

- 事前相談から申請後の開発登録簿の調製まで含めた、一連の開発許可関係手続きをシステム化対象とすることにより、情報の一元管理を実現し、情報連携、画面入力/確認作業の削減による業務効率化を図る
- 地方公共団体ごとに許可権限の有無、手続きフロー、申請資料、協議先等が異なることを踏まえて、各地方公共団体が自団体に適合する機能を実装できるよう、様々な地方公共団体に適合できる汎用性・柔軟性の高い機能構成としている。これにより、特定地方公共団体に限定せず幅広い地方公共団体での社会実装を通じた業務効率化を促進する

1-4. 想定事業機会

表 1-6 想定事業機会

項目	内容
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ● 都道府県、市町村（行政） ● 不動産事業者、デベロッパー（事業者）
サービス仮説	<ul style="list-style-type: none"> ● 都道府県、市町村向け業務支援サービス
提供価値	<p>行政の業務効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相談対応時間集約（窓口対応時間の削減）による時間効率の向上 ● 多数の担当部署が関わる審査における主管部門（都市計画課）の管理負担の軽減 ● 手続き間での情報連携による、画面入力/確認作業の削減 <p>事業者の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開発にあたっての情報収集、複数部署との事前相談、公共施設管理者との協議、開発許可申請等での窓口訪問の軽減、協議時間の短縮 ● 手続き間での情報連携による、再入力作業等の削減

2. 調査・検討の進め方

2-1. 価値仮説

【業務効率化】

- 適合業務範囲拡大による効率化効果
 - 事前相談から申請後の開発登録簿の調製までを一連でシステム化し情報を一元管理することにより、部門間での情報共有が円滑化され、重複入力や転記作業を削減できる
- 複数地方公共団体における効率化効果の適合
 - 地方公共団体ごとの制度・運用差異に対応可能な柔軟かつ汎用性の高い機能構成とすることにより、特定団体固有の運用に依存せず他団体にも適用できる
 - 団体ごとの違いを吸収可能な設計とすることにより、複数の地方公共団体において業務効率化効果を再現できる

2-2. 価値仮説のポイント

【業務効率化】

1. 事前相談から開発登録簿の調製までの一連の業務に関するシステム化ニーズが存在するか
2. 事前相談から開発登録簿の調製までの一連の業務において申請情報の転記や重複作業が発生しているか
3. 複数地方公共団体の業務フローが、過年度調査結果を基にしたパターン仮説（詳細は「3-1-2.システム化に向けた業務フローの前提情報」参照）に基づく内容となっているか
4. 特定団体固有の運用に依存せず、同様の業務フローに対するシステム化ニーズが複数地方公共団体に対しても存在するか（同様の効率化効果が見込まれるか）

2-3. 調査・検討フロー

実施事項	内容
<p>現状分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度の調査結果も踏まえた開発許可手続きの一般的な業務フローの整理 ・各手続きにおける申請書類・図面の整理
<p>ヒアリング調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開発許可権者に該当する地方公共団体へのヒアリングにより、業務フローの精査、必要な機能ニーズの整理
<p>システムの要求事項 (案)の整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの機能(案)、システムの利用データ(案)の整理
<p>アンケート調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の開発許可権者に該当する地方公共団体へのアンケートにより、機能ニーズ、データの整備状況、導入可能性を確認 ・共通して必要となる機能を特定
<p>要件定義 ・外部設計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能要件、非機能要件、外部設計を整理 ・要件定義書の作成

図 2-1 調査・検討実証フロー

2-4. 調査・検討体制

表 2-1 調査・検討体制

役割	主体	詳細
全体管理	国土交通省 都市局	● プロジェクト全体ディレクション
	アクセンチュア株式会社	● プロジェクト全体マネジメント
調査・検討事業者	株式会社三菱総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体総括 ● プロジェクト・ビジョンの定義 ● プロジェクト・スコープの定義（機能要件、非機能要件、外部設計） ● ドキュメンテーション ● 情報発信業務との連携 ● 業務報告書の作成等
	アジア航測株式会社	● プロジェクト・スコープの定義、ドキュメンテーション、業務報告書等の作成のうち、開発許可 DX 3.0 の拡張検討に関するもの

2-5. 調査対象

1) ヒアリング対象

- 対象都市数
 - 開発許可申請件数、電子化の状況（システムの導入）、3D 都市モデルの整備有無の観点から抽出した 5 団体
- 対象部門
 - 開発許可担当部署

2) アンケート対象

- 対象都市数
 - 開発許可権者に該当する地方公共団体（都道府県、政令指定都市、中核市、施行時特例市並びに事務処理委任を受けている市町村）のうち、526 団体
- 対象部門
 - 開発許可担当部署

2-6. スケジュール

表 2-2 スケジュール

実施事項	2025 年									2026 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1. 現状分析	←→											
2. ヒアリング調査			←→									
3. システムの要求事項(案)整理				←→								
4. アンケート調査						←→						
5. 要件定義、外部設計								←→				
6. 成果とりまとめ										←→		

3. 調査の概要

3-1. 調査概要・方法

3-1-1. 調査方法

本調査は、開発許可関連手続きに係る申請/審査の電子化の方向性を検討するに当たり、地方公共団体における業務実態の多様性を把握し、システム化にあたり共通する業務フロー及びシステムの機能を整理することを目的として実施したものである。

過年度調査において、開発許可権者に該当する地方公共団体であっても、条例、組織体制、関係部局との連携方法等の違いにより、業務フローや協議方法に一定の差異が存在する可能性が示唆されていた。他方で、システム導入の容易さの観点からは、可能な限り共通的な業務運用を前提とした汎用的な要件が整理されることで、自団体の業務運用、組織体制、既存システム環境等を踏まえたシステムの検討がしやすくなる。

汎用的な要件の検討にあたり、その前提となる業務実態の把握を行うため、まず、開発許可権者に該当する地方公共団体 5 都市を対象に、対面又はオンライン形式によるヒアリング調査を実施した。本ヒアリングでは、開発許可業務の全体的な業務フロー、審査及び手続きの詳細、関係部局との連携方法、書類及び情報の管理方法、既存システムの導入状況及び活用範囲、業務上の課題認識等について聴取し、業務運用の共通点及び相違点を把握することを目的とした。対象団体の選定に当たっては、開発許可申請件数、電子化の状況、3D 都市モデルの整備有無の観点を踏まえ、一定の多様性が確保されるよう配慮した。

その上で、ヒアリングを通じて業務運用の実態及び多様性に関する具体的な論点を踏まえ、本調査で検討システムの業務フロー及びそれを実現するためのシステム機能の案を整理した。さらに、開発許可権者に該当する地方公共団体を対象としたアンケート調査を実施し、各団体での業務フロー、現行システムの利用状況、デジタル化に当たり必要と考える機能要件等について確認することで、共通的な業務フロー及びシステムの機能を整理した。

3-1-2. システム化に向けた業務フローの前提情報

「令和6年度開発許可申請等のデジタル化に向けた課題分析・調査検討業務」において全国の開発許可権者に該当する地方公共団体に実施したアンケート調査の結果から、開発許可申請に関する業務フローの主なパターンは表3-1の通りに整理される。これらをもとに、開発許可の権限を有する市町村及び都道府県での汎用的な業務フローを整理した。なお、業務フローで登場する既存システムの概要は表3-2の通りである。

表 3-1 開発許可申請に係る業務フローの主なパターン

区分	パターン名	主な特徴
開発許可の権限を有する市町村	市町村①	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設管理者協議に関する書類は、各公共施設管理者へ直接提出 ● 開発許可担当と各公共施設管理者の間で書類の回付なし
	市町村②	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設管理者協議に関する書類は市町村の開発許可担当部局が一元的に受理 ● 開発許可担当から各公共施設管理者へ書類を回付
開発許可の権限を有する都道府県	都道府県①	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前相談及び事前協議は開発区域の市町村の開発許可担当部局で実施 ● 公共施設管理者協議に関する書類は、各公共施設管理者へ直接提出 ● 開発許可申請に関する書類は開発区域の市町村の開発許可担当部局に申請。可否の判断や基準の適合の判断を都道府県で行うために開発区域の市町村から都道府県へ書類を回付
	都道府県②	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前相談及び事前協議は都道府県で実施 ● 公共施設管理者協議に関する書類は、各公共施設管理者へ直接提出 ● 開発許可申請に関する書類は、開発区域の市町村に申請。可否の判断や基準の適合の判断を都道府県で行うために開発区域の市町村から都道府県へ書類を回付
	都道府県③	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前協議を都道府県で実施 ● 公共施設管理者協議は、都道府県や県下市町村の公共施設管理者へ直接書類を提出 ● 開発許可申請に関する書類は都道府県に申請。可否の判断や基準の適合の判断を都道府県で実施

表 3-2 既存システムの概要

システム名	概要
予約システム	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者は相談や協議の日時をシステムにて予約し、指定の窓口を訪問。開発許可担当部局・協議先は予約を承認し、予約日時に窓口で対応
決済システム	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者はシステムを介して手数料を振り込み ● 開発許可担当部局は納付された手数料を確認、行政発行書類を交付

なお、以下業務フローにおける凡例は図 3-1 の通り。

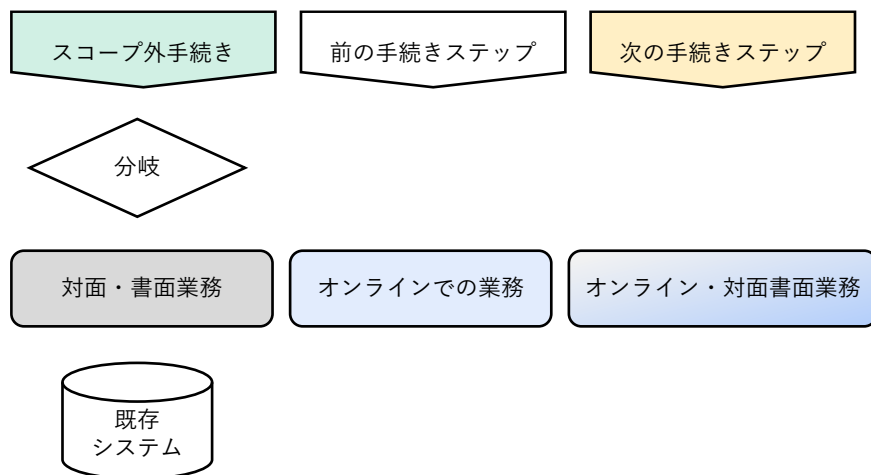


図 3-1 業務フローの凡例

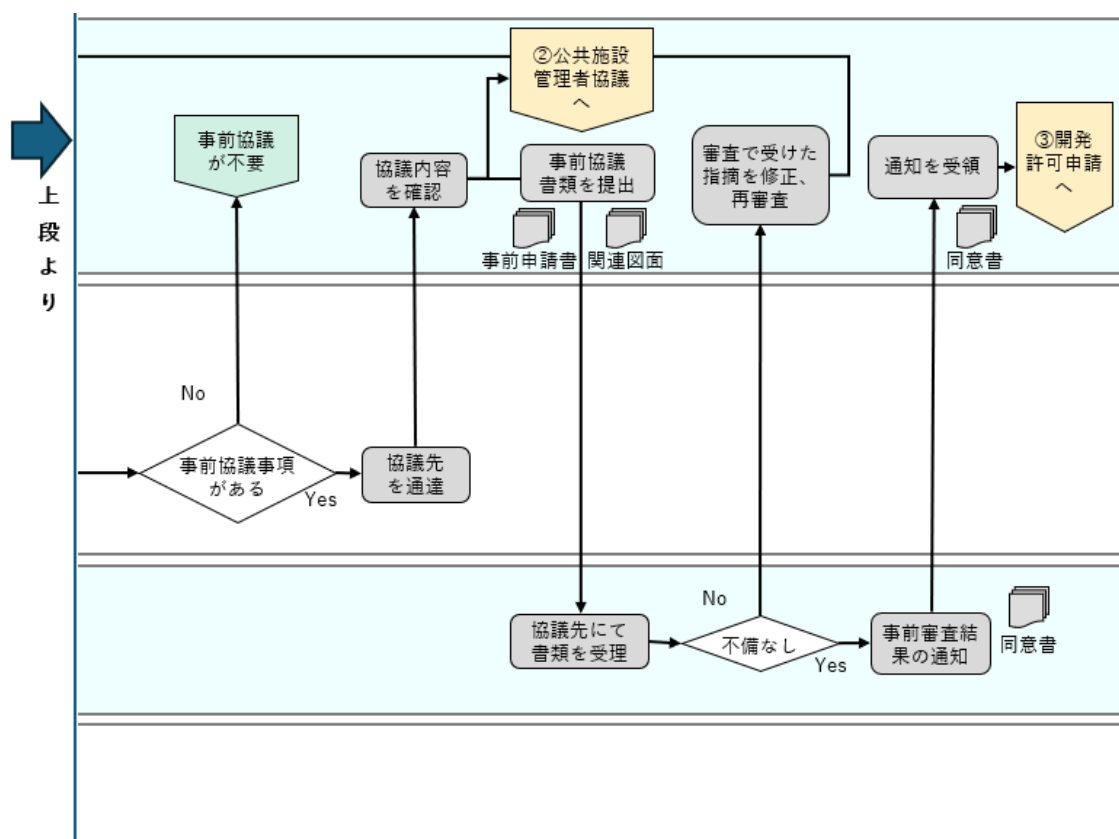
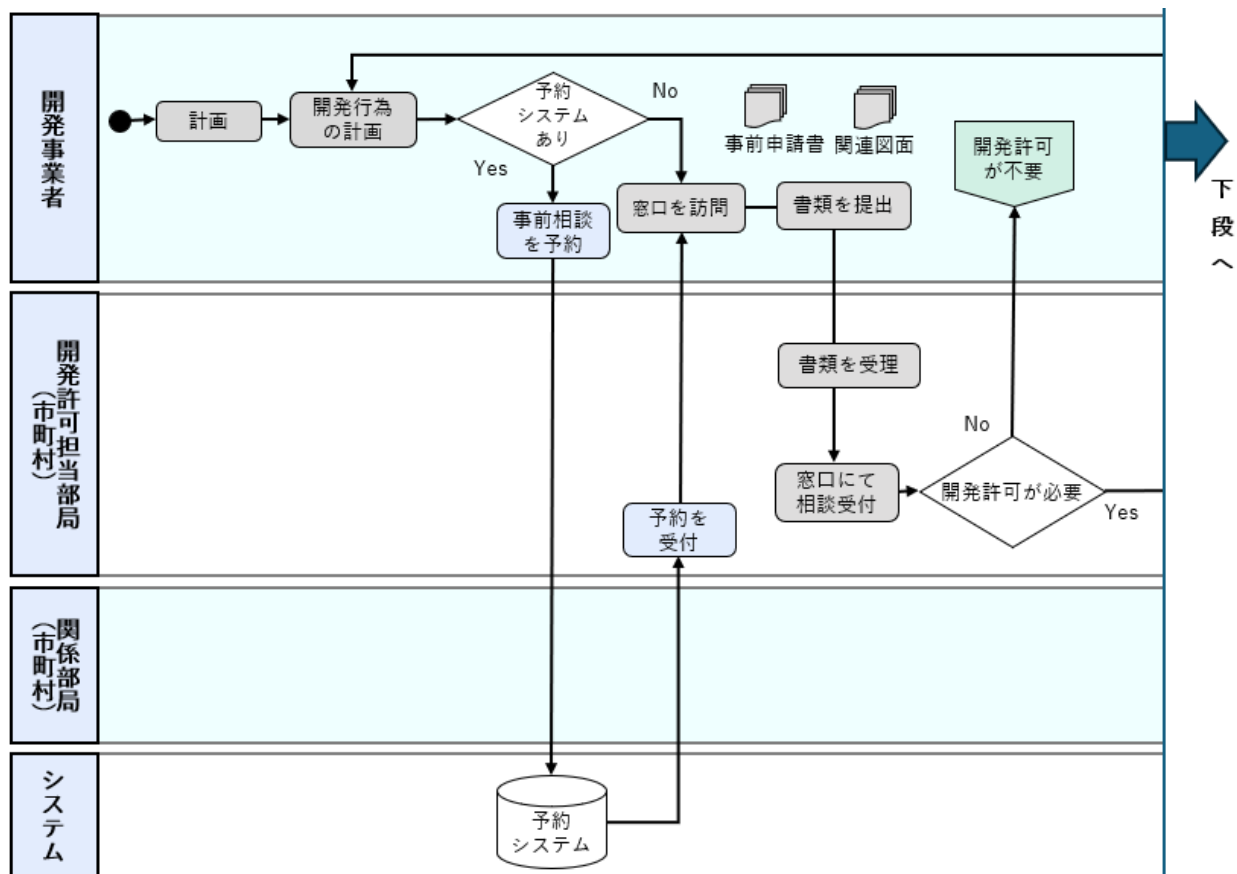


図 3-2 事前相談・事前協議の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する市町村の場合）

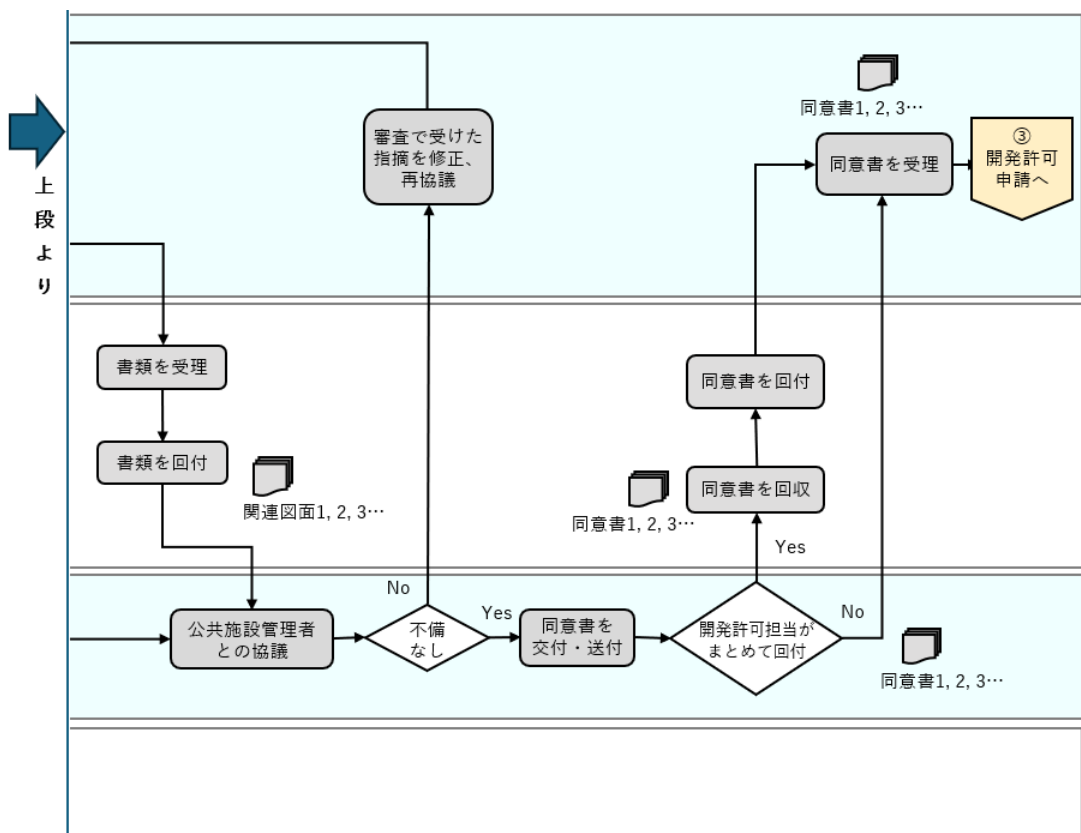
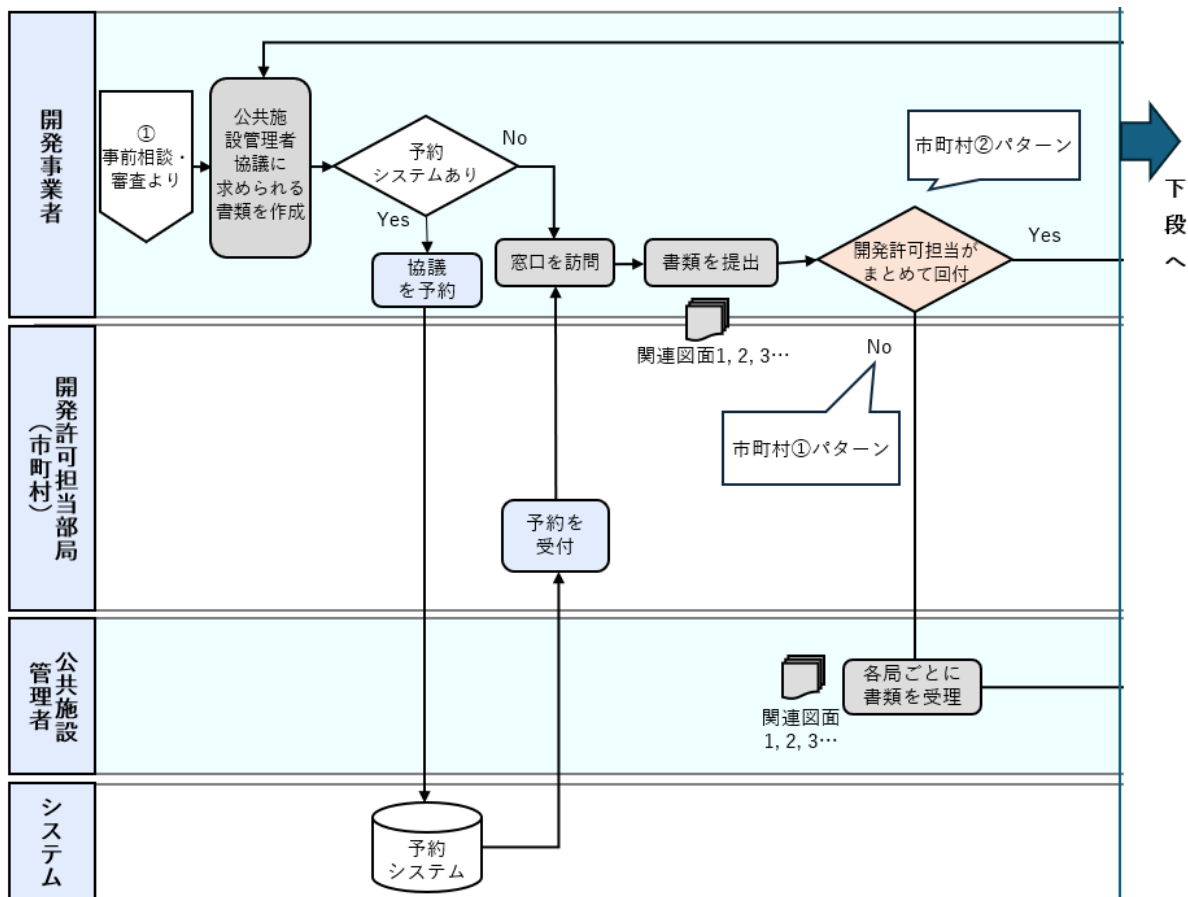


図 3-3 公共施設管理者協議の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する市町村の場合）

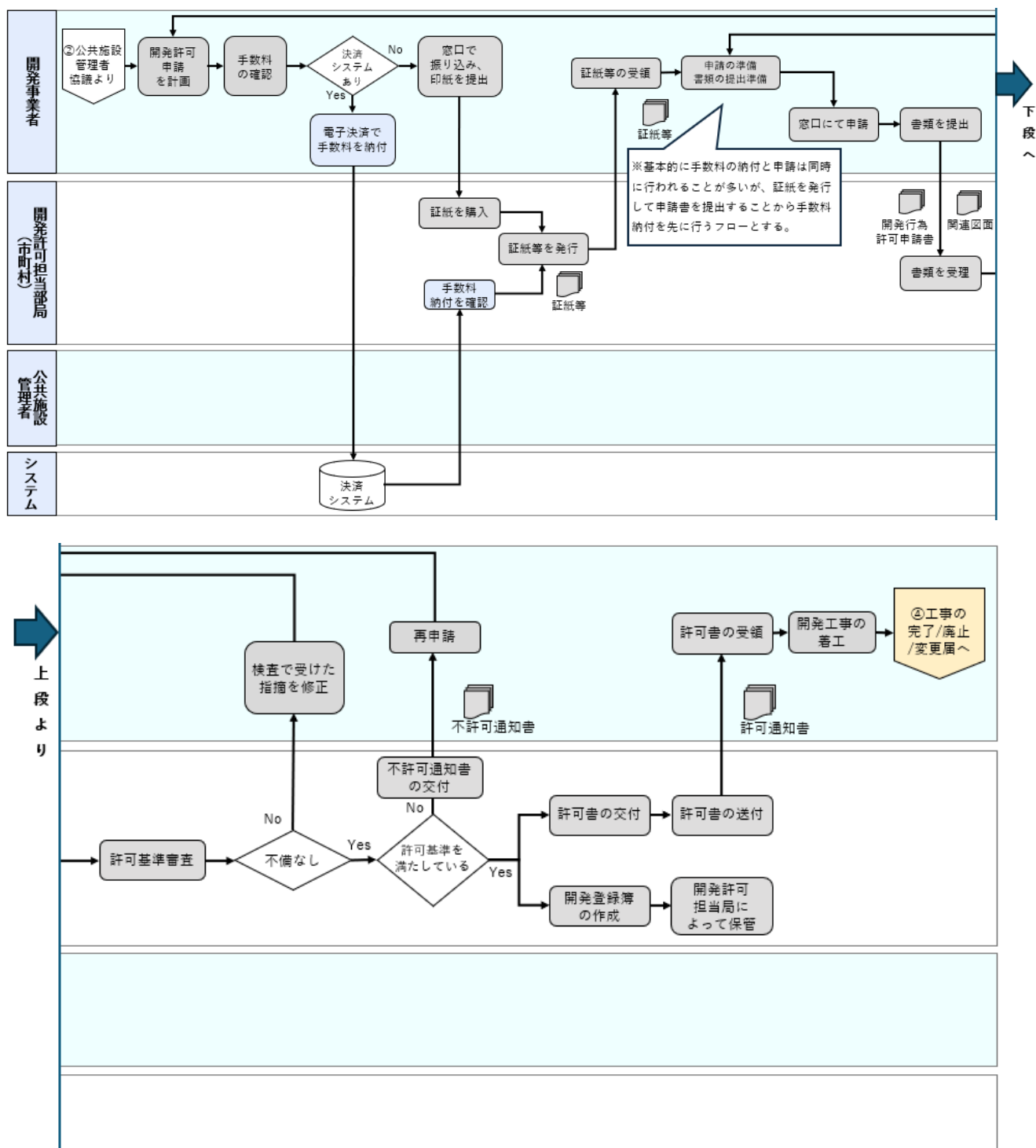


図 3-4 開発許可申請の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する市町村の場合）

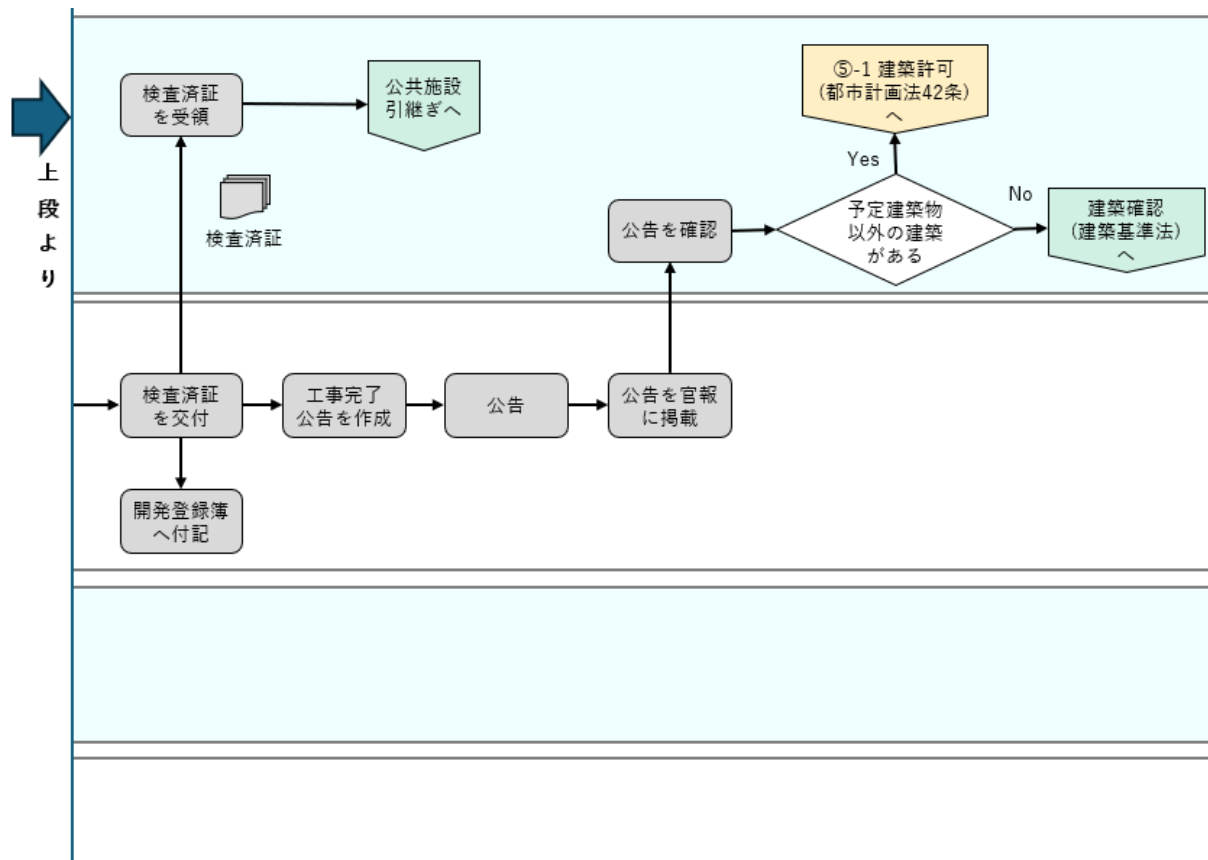
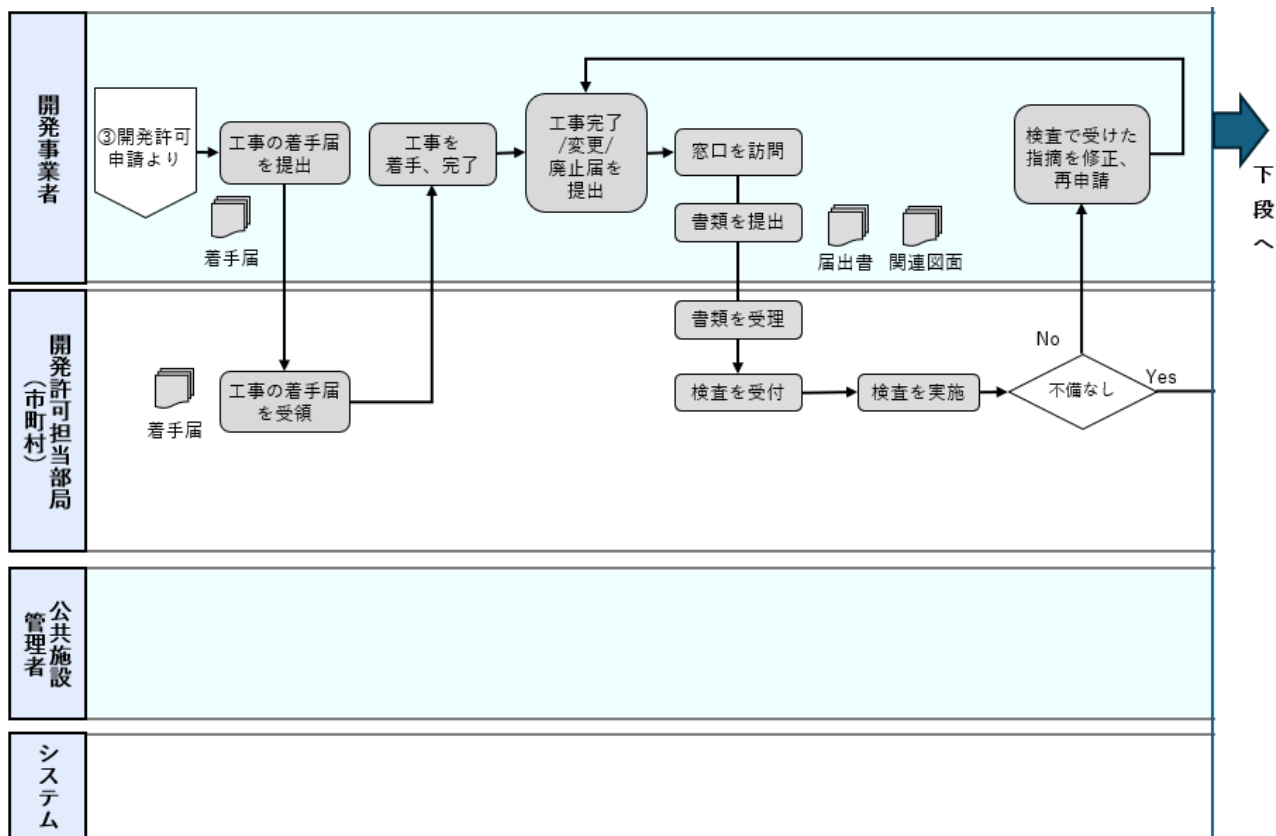


図 3-5 工事の完了・廃止・変更の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する市町村の場合）

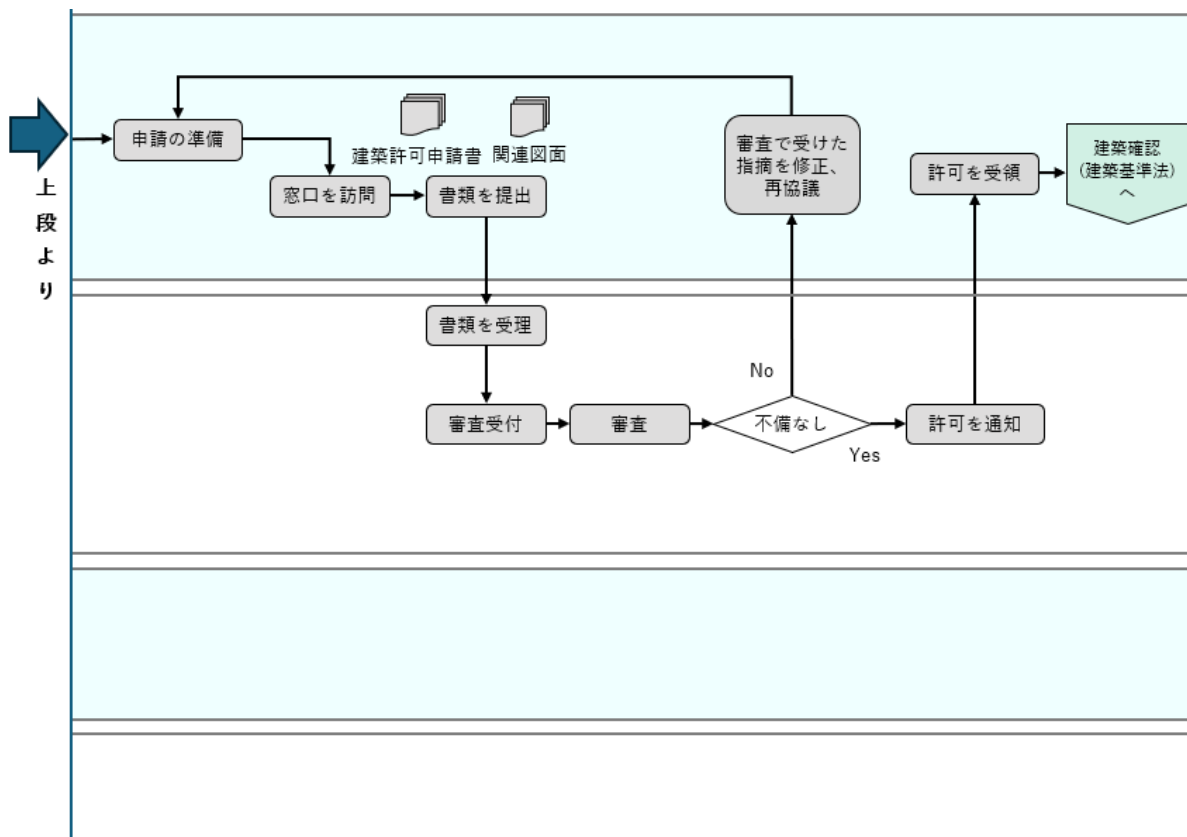
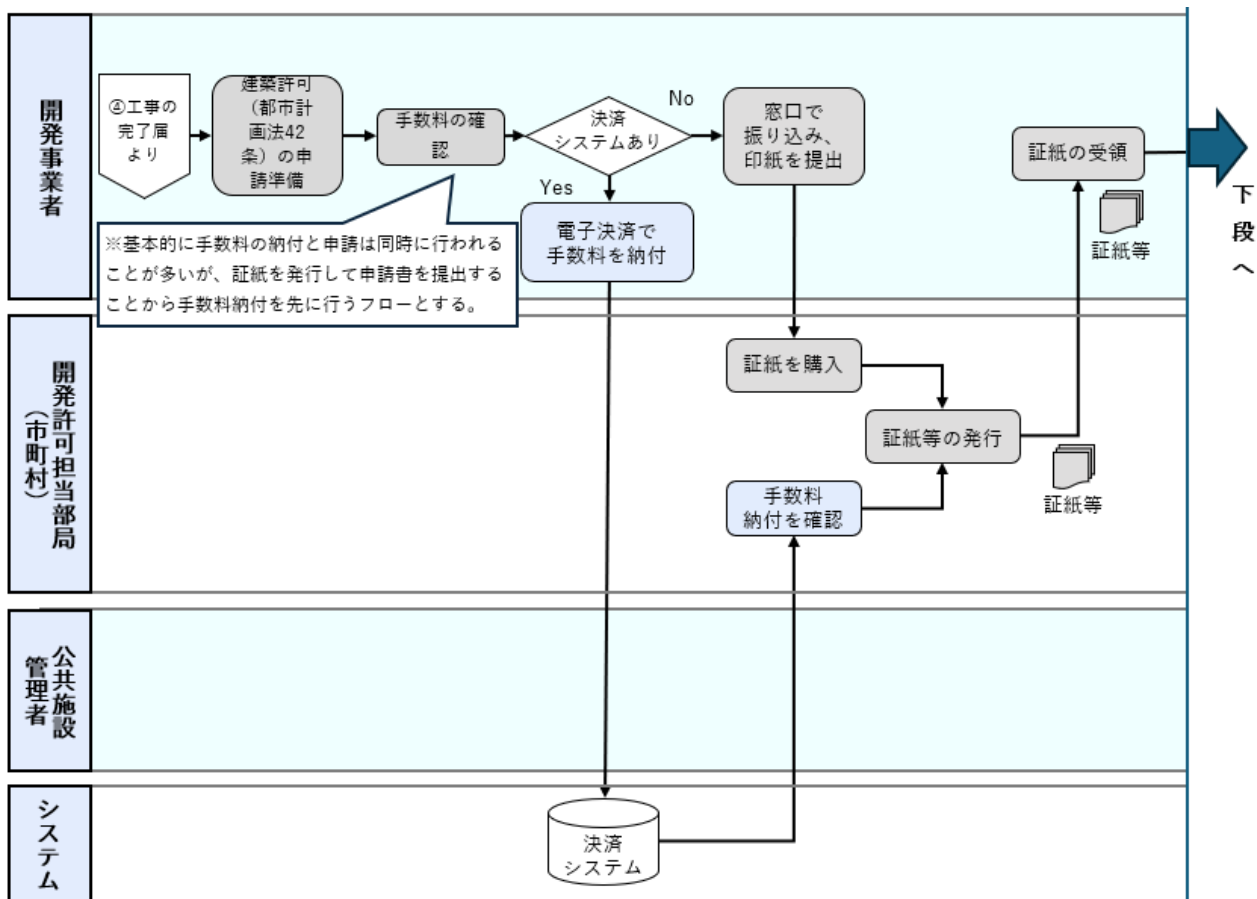


図 3-6 建築許可（都市計画法 42 条）の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する市町村の場合）

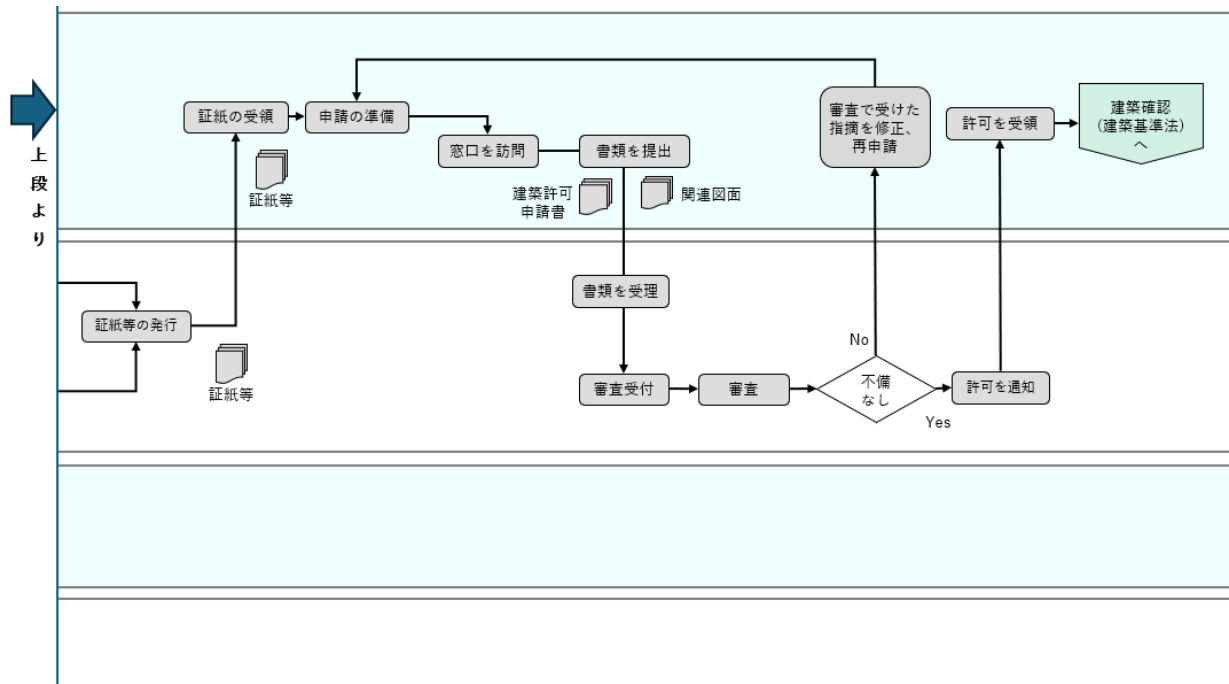
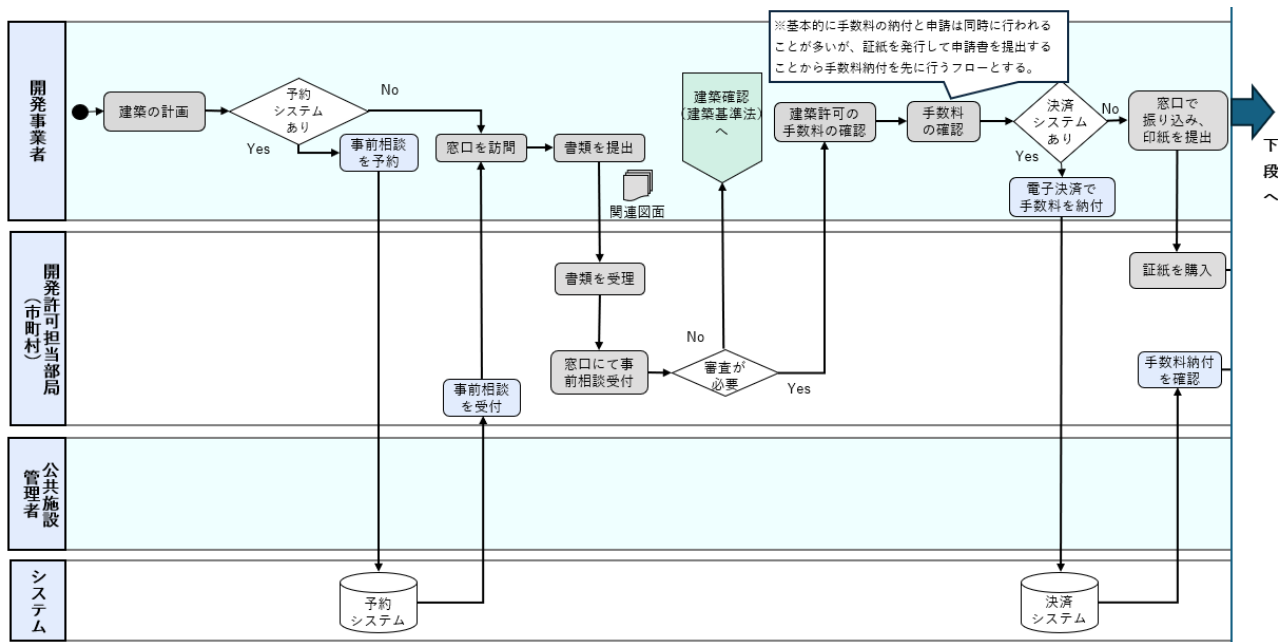


図 3-7 建築許可（都市計画法 43 条）の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する市町村の場合）

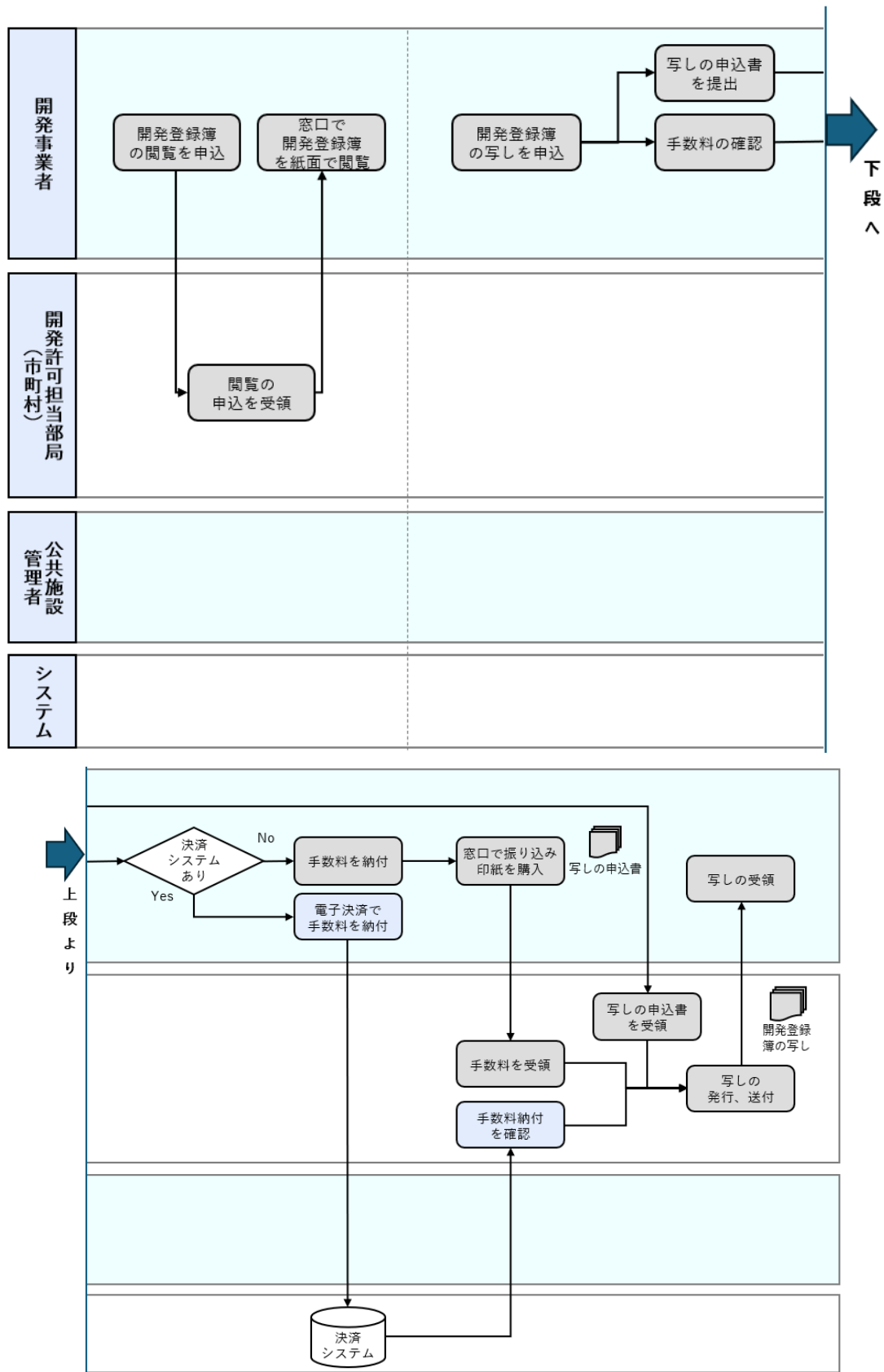


図 3-8 開発登録簿の閲覧・写しの発行の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する市町村の場合）

都道府県が開発許可権者に該当する場合の一般的な既存業務フローを記す。

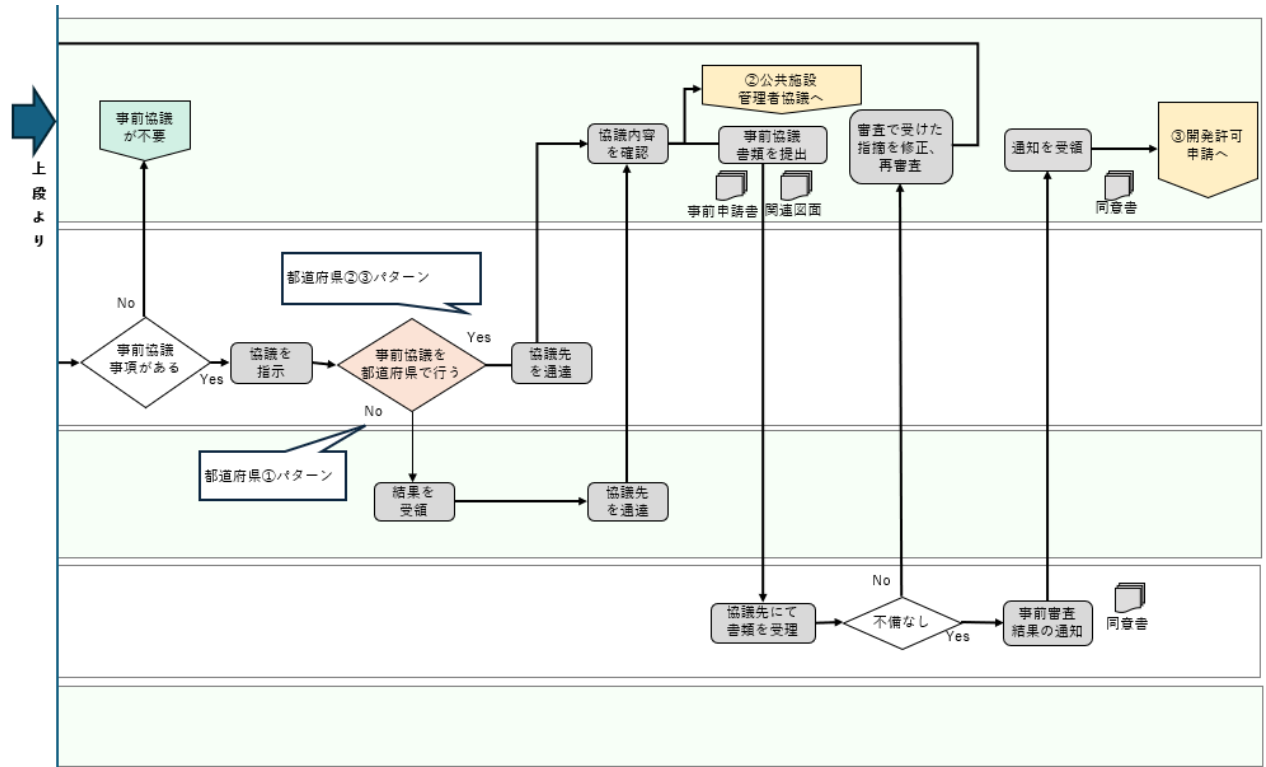
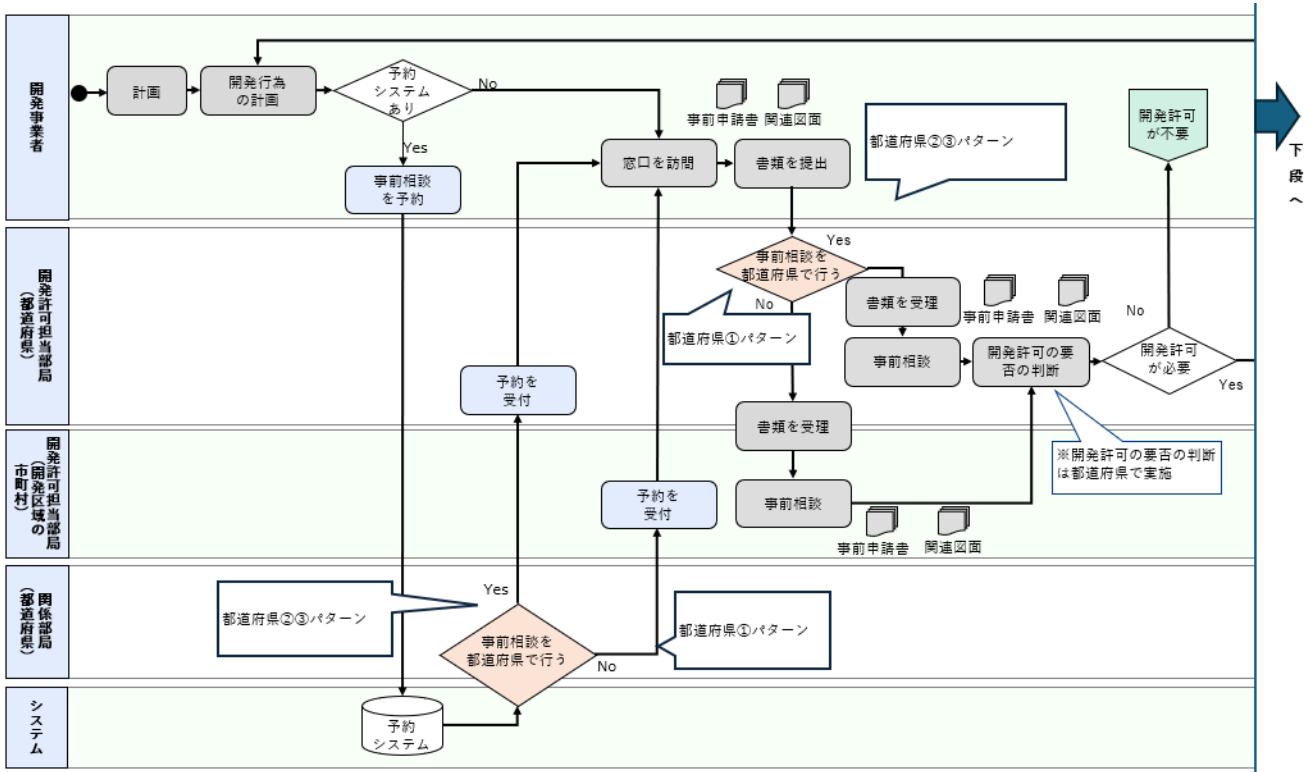


図 3-9 事前相談・事前協議の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する都道府県の場合）

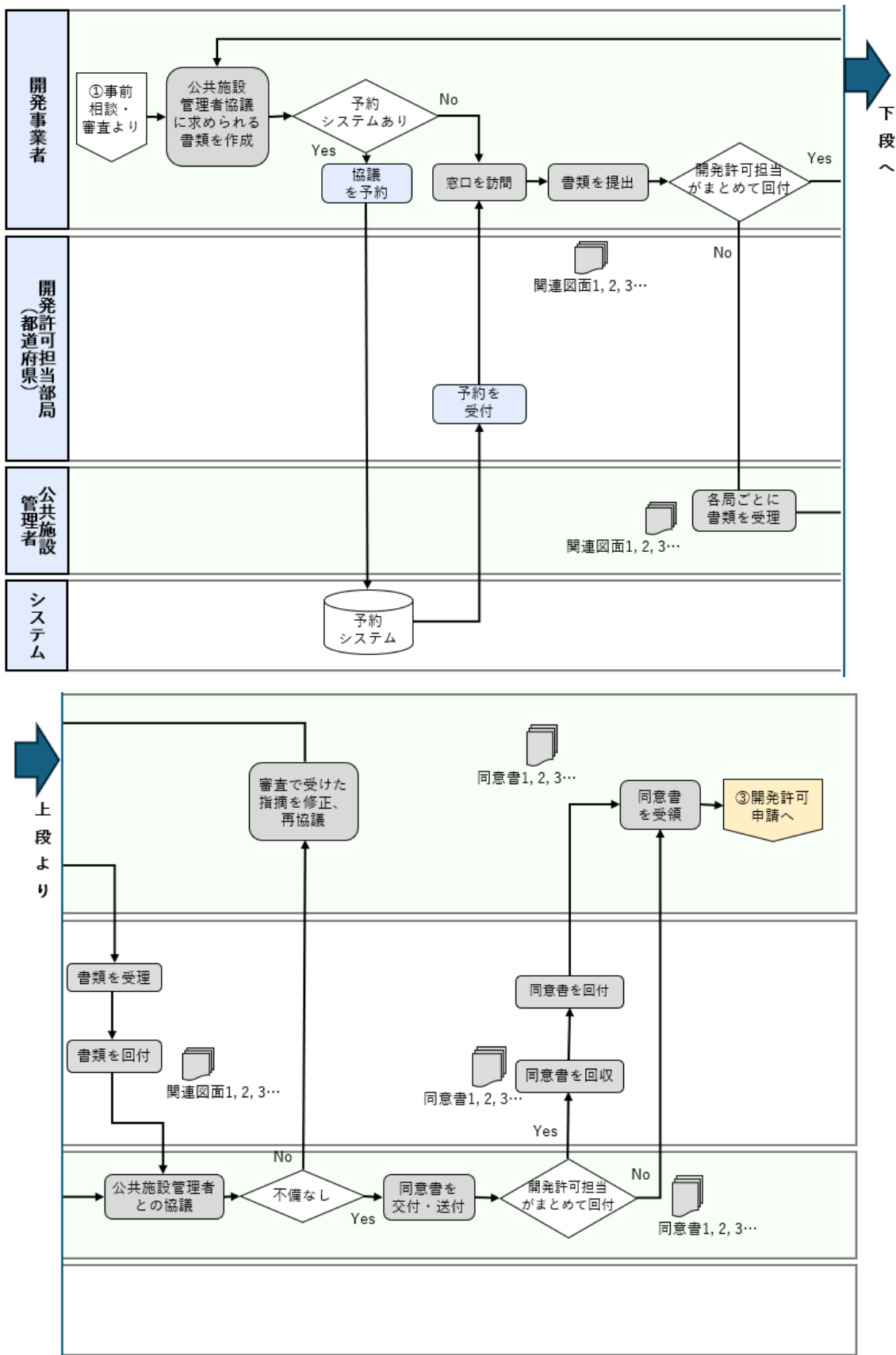


図 3-10 公共施設管理者協議の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する都道府県の場合）

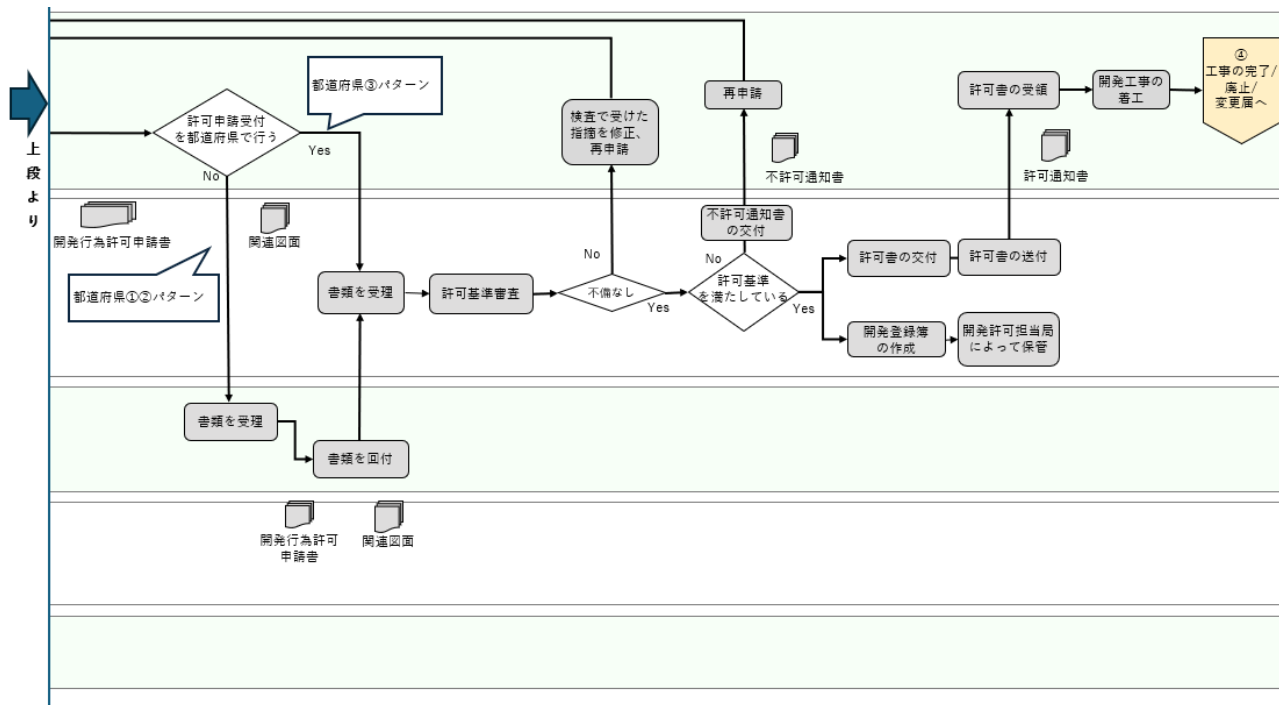
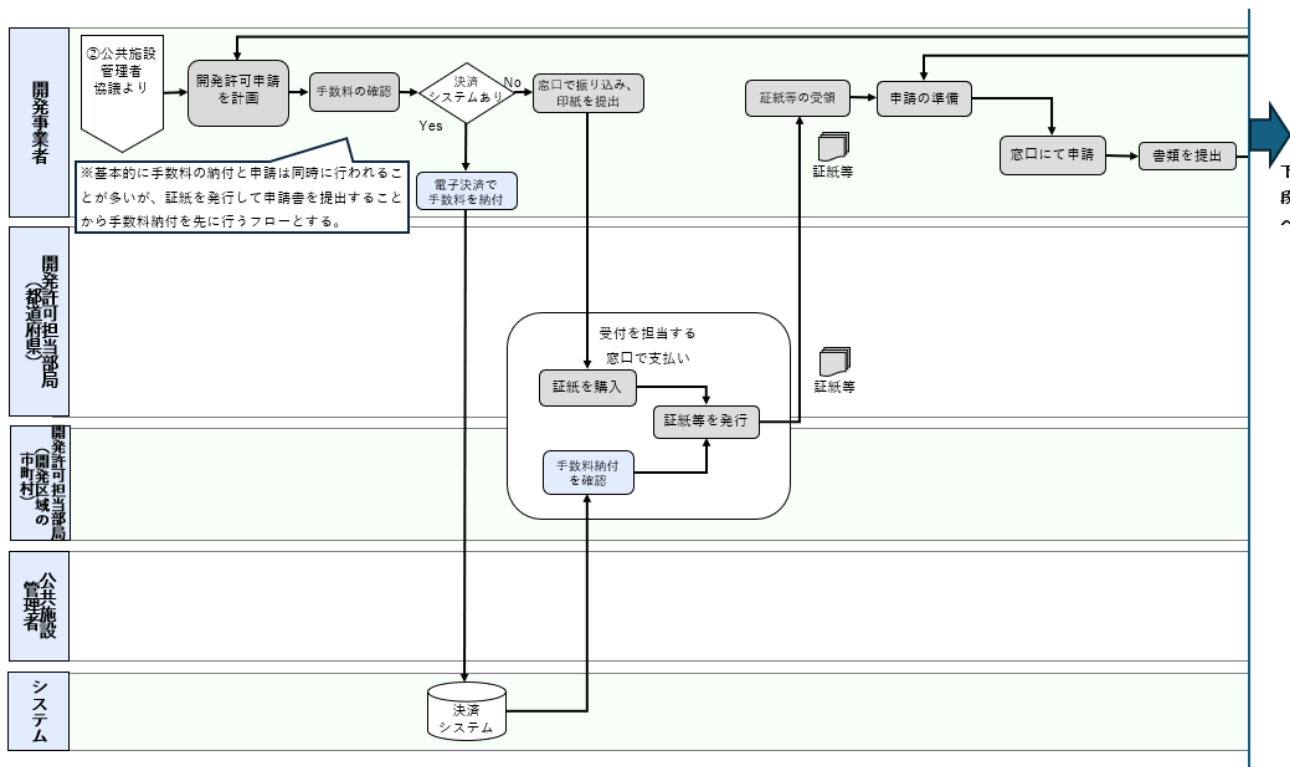


図 3-11 開発許可申請の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する都道府県の場合）

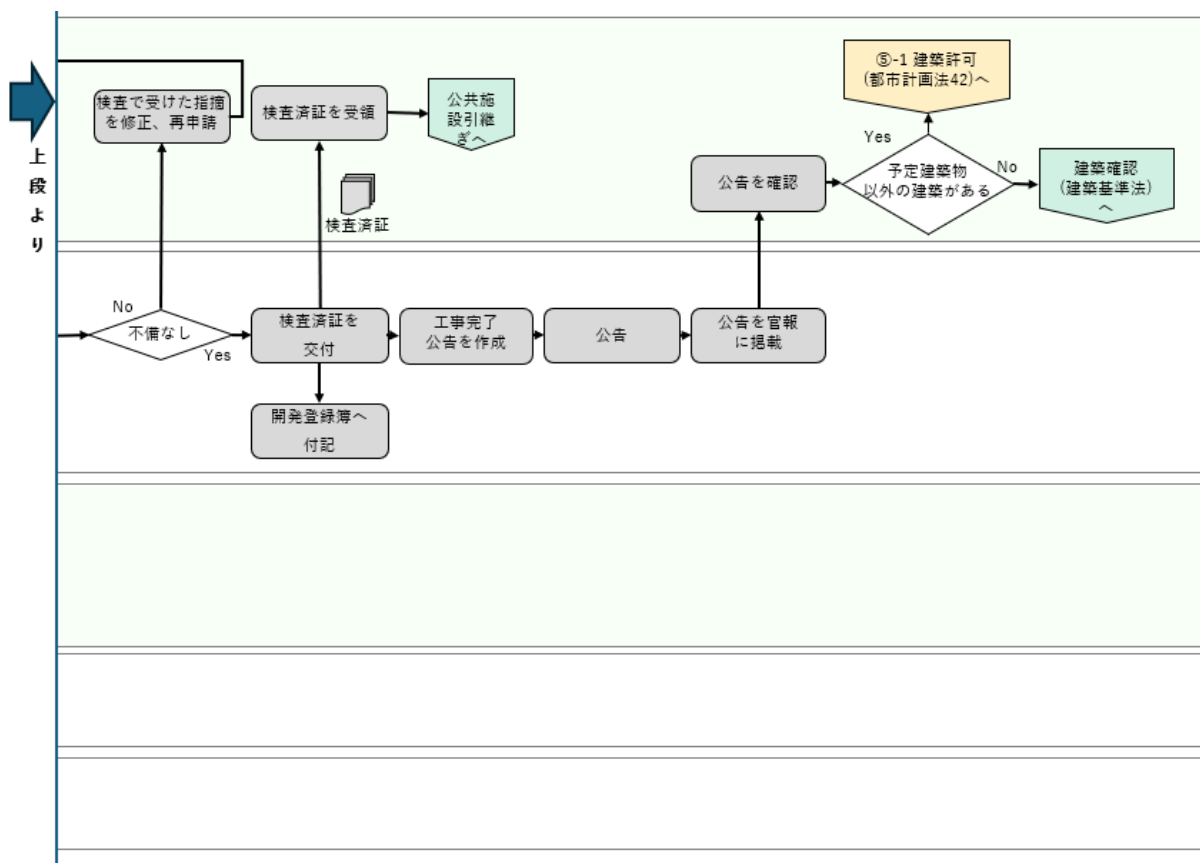
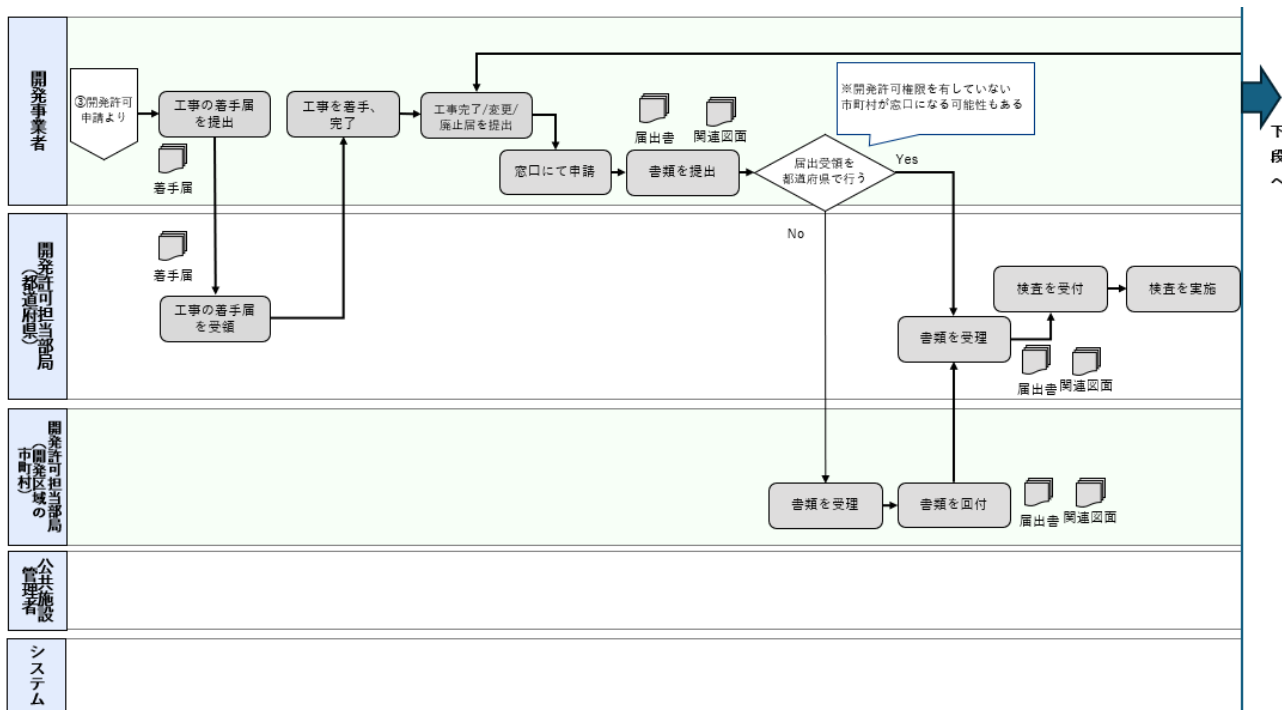


図 3-12 工事の完了・廃止・変更の一般的な既存業務フロー（開発許可権者に該当する都道府県の場合）

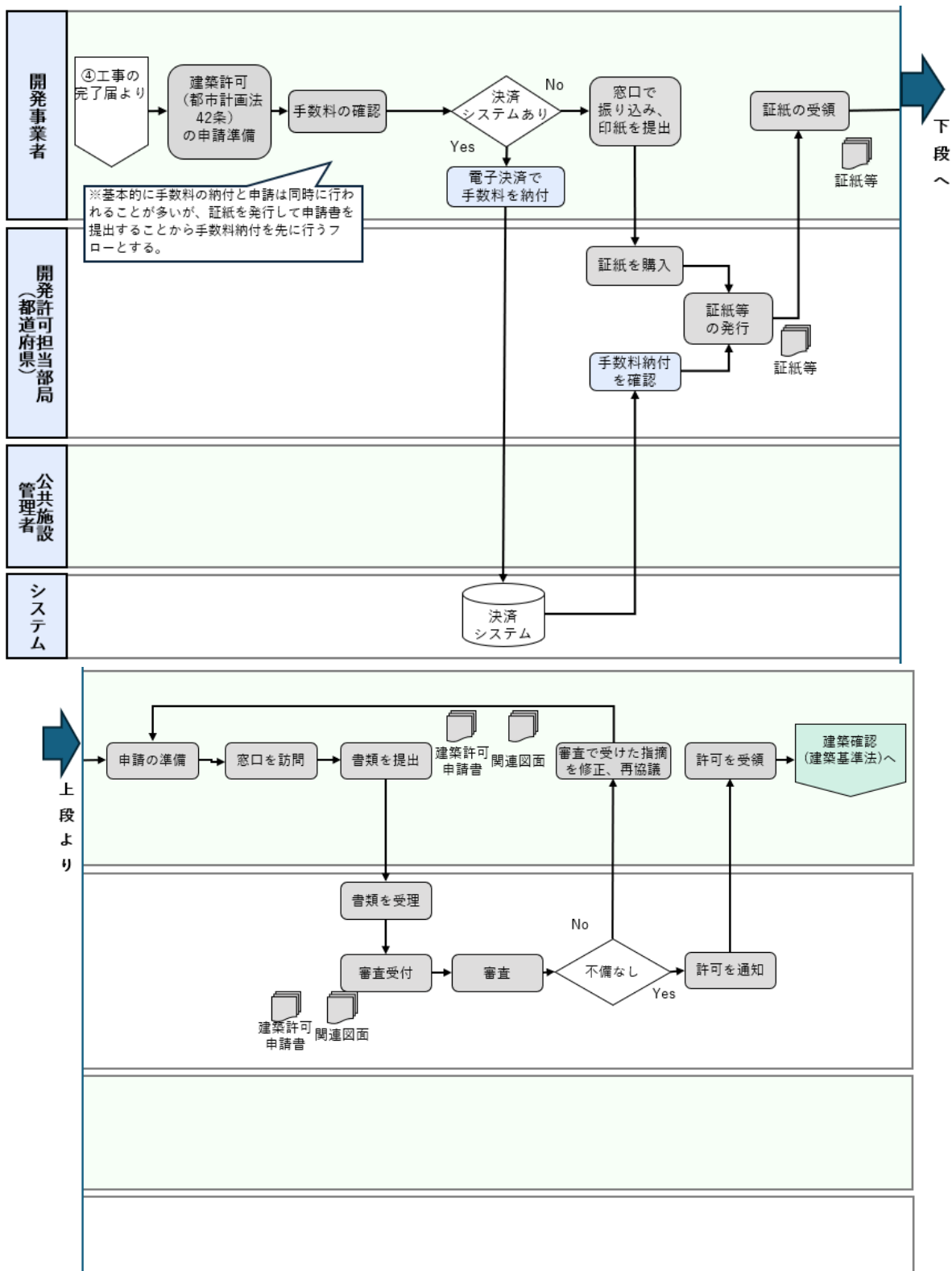


図 3-13 建築許可（都市計画法 42 条）の一般的な既存業務フロー
（開発許可権者に該当する都道府県の場合）

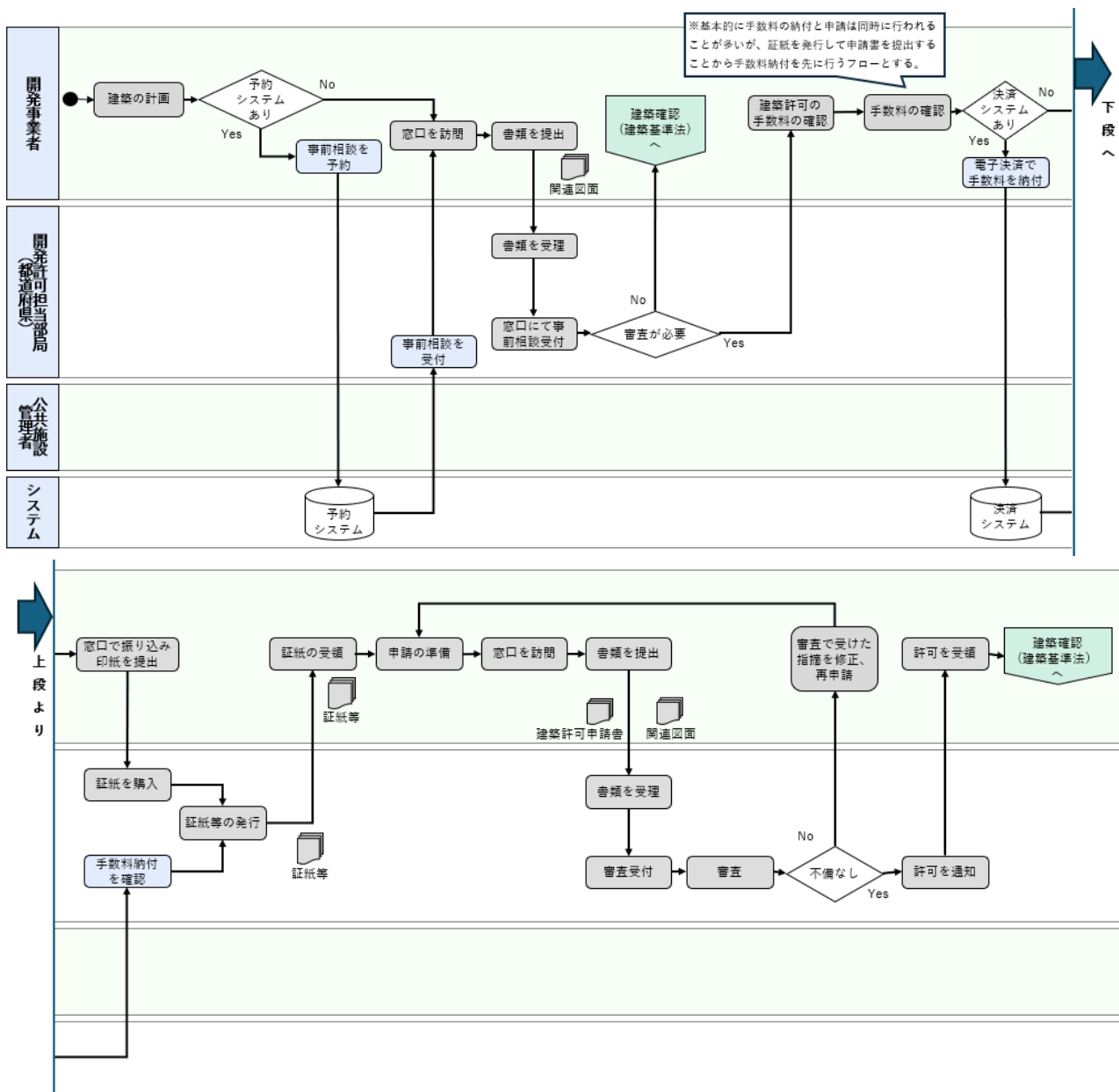


図 3-14 建築許可（都市計画法 43 条）の一般的な既存業務フロー
（開発許可権者に該当する都道府県の場合）

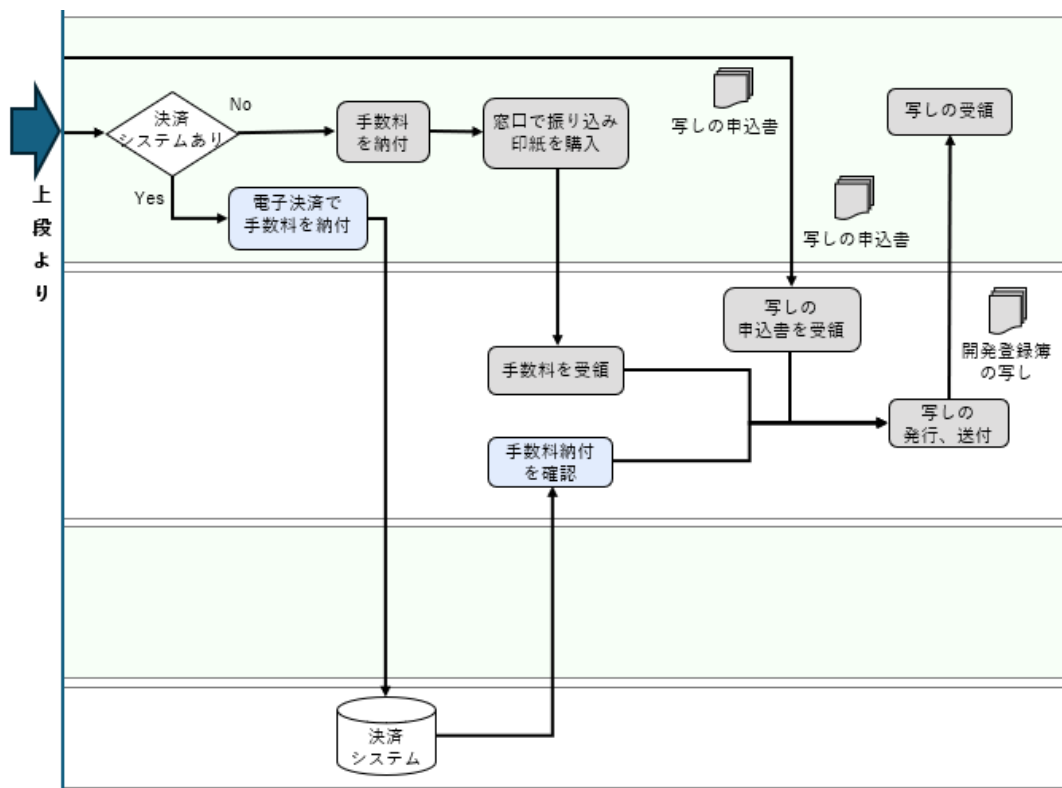
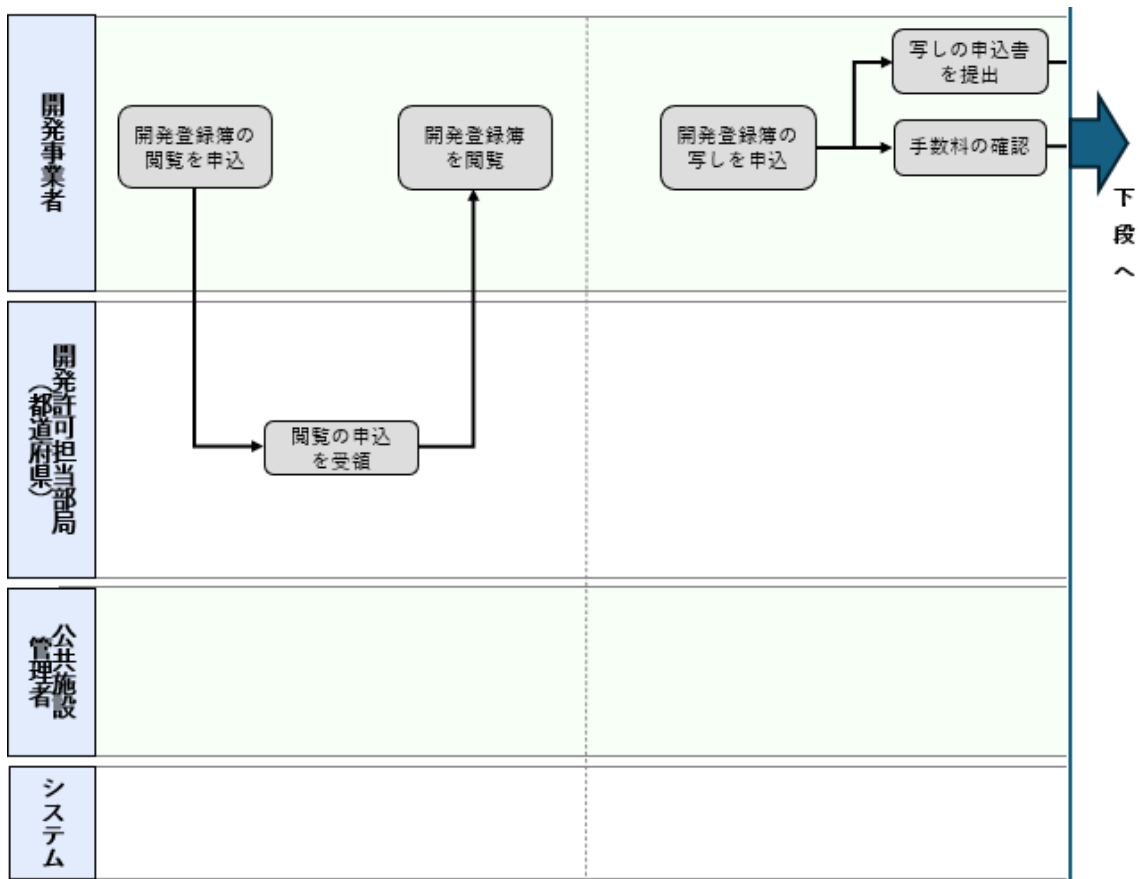


図 3-15 開発登録簿の閲覧・写しの発行の一般的な既存業務フロー
(開発許可権者に該当する都道府県の場合)

3-1-3. ヒアリング・アンケートの詳細

3-1-3-1. ヒアリング概要

表 3-3 ヒアリング概要

項目	内容
目的	全国的に活用可能となる共通的なシステムの検討にあたり、その前提となる業務実態の把握を行う
調査対象	開発許可申請件数、電子化の状況、3D都市モデルの整備有無を考慮し選定した開発許可権者に該当する5つの地方公共団体
実施方法	対面またはオンラインにて1時間程度
実施日時	2025年7月～8月

3-1-3-2. ヒアリングでの確認事項

表 3-4 ヒアリングでの主な確認事項

項目	主な内容
開発許可申請の手続フロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状の手続きの概要、運用状況 ● 導入済のシステムの概要、運用状況 ※システム導入済団体のみ
システムの導入により想定される手続きフロー	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入後に想定される手続フローの変化の有無 ● 導入済のシステムとの連携の課題 ※システム導入済団体のみ
システムの導入可能性	<ul style="list-style-type: none"> ● システムの利用意向 ● システムの導入条件

3-1-3-3. ヒアリングでの検証項目と評価方法

業務要件の妥当性及び機能要件の妥当性を検証項目とし、定性的に評価する。

表 3-5 検証項目と評価方法

検証観点	検証項目	定量評価	定性評価
業務効率化	事前相談から開発登録簿の調製までの一連の業務フローにおいて、システムのニーズがあるか	● -	● 表3-4の確認事項をヒアリングのうえ、業務運用の共通点及び相違点を把握
	事前相談から開発登録簿の調製までの一連の業務フローは地方公共団体ごとに異なっているか		
	事前相談から開発許可申請に至るまでに申請情報の転記や重複作業が発生しているか		

3-1-3-4. アンケート概要

表 3-6 アンケート概要

項目	内容
追記	各団体での業務フロー、現行システムの利用状況、デジタル化に当たり必要と考える機能を把握し、汎用的な要件を整理する
調査対象	開発許可権者に該当する 604 の地方公共団体
実施方法	国土交通省都市局都市計画課よりメールにて送付した調査票への回答
実施日時	2025 年 11 月～12 月
回収結果	526/604 自治体（回収率：87%）

3-1-3-5. アンケートでの確認事項

表 3-7 アンケートでの確認事項

項目	内容
システムのニーズ・利用主体・利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル化の対象となる業務フローの確認 ● 開発許可システムに必要な機能 ● システムの利用主体 ● システムの利用環境
システムに利用するデータの整備状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子化状況とデータ形式 ● データの管理方法 ● データの更新頻度 ● データ整備主体
システムの利用意向	<ul style="list-style-type: none"> ● 手続きのデジタル化の検討状況 ● システムの利用意向 ● システムの利用にあたっての課題

3-1-3-6. アンケートでの検証項目と評価方法

システム化の対象とする業務フローの妥当性及び汎用的に必要となる機能の妥当性を検証項目とし、検討した業務フロー及び機能案について定量的に評価を行う。

表 3-8 検証項目と評価方法

検証観点	検証項目	定量評価	定性評価
業務効率化	ヒアリング調査をふまえて整理した一連の業務フローは地方公共団体ごとに異なっている点はないか	-	● 回答を集計し、対象業務の「不要」の回答が「必要」より多い場合、対象業務をシステム化の範囲外とする。
	ヒアリング調査をふまえて整理したシステムの機能ニーズは複数地方公共団体に対しても存在するか		● 回答を集計し、対象機能の「不要」の回答が「必要」より多い場合、対象機能をシステム化の範囲外とする

3-2. 検証結果

3-2-1. ヒアリング調査結果

システム化のスコープ及び情報連携について、要件定義検討にあたっての示唆が得られた。

システムは事前相談から開発登録簿の閲覧までを含む一連に対応していることが望ましいものの、開発許可申請から活用できるようにする等、必要な手続きに対応する機能群として扱えることも重要であることが確認された。また、関連する決済、予約などの機能は外部システムと連携が望ましい。

フローだけでなく、開発許可申請からでも活用可能な UI/機能の拡張が必要となることが明らかになった。

システム上の情報連携については、申請した情報は入力負担軽減のため、各手続き間での引継ぎを実施できることが望ましいことが確認された。一方、検査済証の交付などは外部との連携が難しい内部システムを活用しているもののあり、システムから直接情報を組み込むことを前提とするのではなく、必要に応じた情報連携とすることが望ましい。

1) システム化のスコープ

ヒアリング調査の結果から、システム化のスコープの検討にあたっては以下の示唆が得られた。

システム化のスコープは、事前相談から開発登録簿の閲覧までを含む一括システムが望ましいものの、開発許可申請からでも活用可能な UI/機能の必要性が指摘された。

また、開発許可申請手続きに関連する予約や手数料納付について、決済機能へのニーズはあるものの、全庁的な導入判断が必要な団体も存在することからシステム内の機能として組み込むのではなく、外部連携とすることが望ましい。また、予約機能へのニーズは確認されたものの、職員数・申請件数に応じて要否が異なることが確認され、システム内の機能として組み込むのではなく、外部連携とすることが望ましい。

表 3-9 ヒアリングで確認できたシステム化のスコープに関する現状・課題

項目	ヒアリングで確認できた現状・課題
情報入力	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前相談から開発登録簿の閲覧まで一つのシステムにできれば理想であるが、最低限、工事完了届、開発行為の変更許可申請など完了検査の手前までを実装できるとよい ● 各課で独立して利用できるのであれば、職員側の負担は少ない ● 申請者の負担が減るのであれば、一部でも導入する意義がある
決済	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子決済は導入しておらず、窓口で支払い後、庁内にある金融機関窓口で発行される控えの写しを受理している ● 開発許可申請の際に申請手数料の納付書を作成し、出納部局に納付していただいたものを収納確認するという手順をとっている ● 会計システムで納付書を出力し、庁舎内の銀行で振り込み納付書を窓口へ提出という手順としている。また窓口ではキャッシュレス決済に対応している

予約	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当職員の予定が予約システムに反映されず、入力された予定をもとにそれぞれのシステムを確認する二度手間が発生している ● 現状での対応は開庁時間に限られている。原則、同じ職員が担当する運用になっているので、担当職員の空き状況に応じて予約ができれば負担軽減となる。完全予約のみであれば職員側の時間確保につながる ● 職員が少ないため予約システムがあると、かえって、各職員の業務が回らなくなってしまう可能性がある
----	---

2) 情報連携の仕組み

システム化にあたっての情報連携の仕組みの検討にあたっては以下の示唆が得られた。

行政内部のシステムのうち、特に公文書を発行するシステムは、インターネット上でのアクセスができない自治体内部で活用していることもあり、システム上での連携が難しい。そのため、内部システムとの連携を前提とするのではなく、必要に応じて外部連携とし、情報のみを連携することが望ましい。

また、申請される情報は開発案件ごとに情報を管理されており、入力負担軽減のため、事業者名等の基礎情報は、各手続き間での引継ぎを実施できることが望ましい。

開発登録簿閲覧については、ニーズはあるため、システム内の機能として組み込まれることが望ましいものの、過去の開発登録簿を電子化できていない場合には、利用が限定的となる可能性があることが確認された。

表 3-10 ヒアリングで確認できた情報連携の仕組みに関する現状・課題

項目	ヒアリングで確認できた現状・課題
申請情報	<ul style="list-style-type: none"> ● システム上において、自動で番号を付与し管理する。申請ごとに ID を付与しているため、許可と変更許可では異なる番号が付与される。最終的にはダウンロードして手元のフォルダで管理している ● システム上において、再度申請すると新たな番号が付与される。システムでは再申請を示すフラグもなく、一つの修正でも新たな申請として扱われてしまうため、すべての項目を確認することになる ● システム上では事前相談時に振り分けられた申請 ID が許可を交付するまで継続する
自治体内部システム	<ul style="list-style-type: none"> ● データベースソフトに登録された許可番号、申請日、申請者の情報から検査済証用紙を発行。交付は紙で実施 ● 許可番号、申請日、申請者の情報から検査済証の交付もシステムで自動的に様式に入力されるとよい ● システム上では事前相談時に振り分けられた申請 ID が許可を交付するまで継続するが、公文書の発行システムと連動していないので別途台帳へ番号を登録する運用としている ● システムに開発の受付番号の情報があるので、番号を控えて探すことが可能

開発登録簿	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発区域、開発登録簿、盛土規正法の調書をシステムで閲覧できるようにしたことで、写しの交付件数が5割減少している ● 開発登録簿は県から市に許可権限移譲される以前の紙面の図面を引き継いでいるが電子化ができていない。そうした図面も全て電子化できれば、有意義である ● 開発登録簿をインターネット上で公開し、閲覧できるようにしたい
-------	--

3-2-2. アンケート調査結果

業務フロー及び必要機能について、本業務では標準的な業務フローを整理・公表することが目的の一つであること、詳細な開発範囲は各地方公共団体の調達時における判断になることをふまえ、業務フロー及び必要機能のいずれも著しく低い回答がなかったことから、システム化の対象とする業務フローを図 3-2～図 3-15、必要機能も表 5-2 の通りとすることとした。なお、地方公共団体によってはシステム化が不要な業務も確認されたため、各地方公共団体が自業務フローやニーズにあわせて個別に実装範囲や必要機能の選択を可能とする方針とした。

1) 業務フロー

対象業務の不要の回答が必要より多い場合、単一のシステム構築であれば本システムのスコープ外とすることの検討も必要であるが、本業務では事前相談含む開発許可手続きに係る標準的な業務フローを整理・公表することが目的の一つであること、またどの範囲をスコープとするかは各地方公共団体の調達時における判断になることから、業務フローとしては削除しない方針とした。

一般的な業務フローの協議先については、都市計画法施行令第 23 条に基づき民間事業者等が関係する可能性があり、この場合、庁外組織の民間事業者がシステム利用をするフローを確認する必要があることから、外部組織も含むことを明示する方針とした。

表 3-11 各手続きの実施状況

対象手続き		実施状況	
		実施している	実施していない
事前相談	事業者からの相談の受付・予約・申請 (N=526)	78.9%	21.1%
	相談 (N=526)	92.8%	7.2%
事前協議	事業者からの協議の受付・予約・申請 (N=525)	83.2%	16.8%
	相談 (N=525)	87.8%	12.2%
	行政による事前協議段階での同意・許可不要等の文書の発行 (N=525)	62.3%	37.7%
公共施設管理者協議	事業者からの協議の受付・予約・申請 (N=526)	81.6%	18.4%
	協議 (N=526)	86.9%	13.1%

	行政による同意・協議文書の発行 (N = 526)	85.6%	14.4%
開発許可申請	許可申請 (N = 525)	94.5%	5.5%
	通知書交付 (N = 525)	93.9%	6.1%
工事の完了・廃止・変更	完了の届出 (N = 525)	94.3%	5.7%
	廃止の届出 (N = 525)	93.9%	6.1%
	変更届の提出 (N = 525)	94.1%	5.9%
	検査済証の交付 (N = 525)	94.1%	5.9%
開発許可区域の建築制限	予定建築物以外の建築許可申請 (N = 524)	85.7%	14.3%
	上記の建築許可証の発行 (N = 524)	84.9%	15.1%
開発許可区域外の市街化 調整区域の建築制限	開発許可区域外の建築許可申請 (N = 524)	71.4%	28.6%
	上記の建築許可証の発行 (N = 524)	71.0%	29.0%
開発登録簿	開発登録簿の調製 (N = 526)	94.1%	5.9%
	閲覧の受付・予約 (N = 526)	89.7%	10.3%
	写しの交付申請 (N = 526)	93.5%	6.5%
	写しの発行 (N = 526)	94.1%	5.9%

2) 必要機能

開発許可手続きにおける基本的な機能については、全機能について必要の回答が不要の回答より多いため、現在整理している機能は削除しない方針とした。一方、追加機能（予約、決済、電子申請）については、窓口訪問の予約機能のみ、不要の回答が必要より多かったが、あるとよいを含めて 71%と他に比べて著しく低いものではないため、機能要件へ追加する方針とした。

表 3-12 必要機能のニーズ

対象手続き	機能名	必要	あるとよい	不要
事前相談	概況把握機能 (N = 516)	41.5%	35.3%	23.3%
	事前相談申請機能 (N = 516)	40.7%	34.7%	24.6%
	事前相談申請回答機能 (N = 515)	38.6%	37.9%	23.5%
事前協議	事前協議申請機能 (N = 515)	48.0%	28.5%	23.5%
	事前協議申請回答機能 (N = 515)	45.8%	31.3%	22.9%
公共施設管理者協議	32 条協議申請機能 (N = 516)	49.6%	27.7%	22.7%
	32 条協議申請回答機能 (N = 516)	48.8%	29.7%	21.5%
開発許可申請	開発許可申請機能 (N = 515)	66.8%	17.7%	15.5%
	開発許可申請回答機能 (N = 515)	64.9%	20.2%	15.0%
工事の完了・廃止・変更	許可変更/廃止申請機能 (N = 515)	65.0%	19.8%	15.1%
	工事完了/廃止届提出機能 (N = 515)	66.2%	18.6%	15.1%
	許可変更/廃止申請回答機能 (N = 515)	63.9%	21.4%	14.8%

	工事完了/廃止届出回答機能 (N=515)	64.7%	20.6%	14.8%
開発許可区域の建築制限 開発許可区域外の市街化 調整区域の建築制限	建築許可申請機能 (N=511)	57.5%	21.7%	20.7%
	建築許可回答機能 (N=511)	56.0%	23.9%	20.2%
開発登録簿	開発登録簿写し交付申請機能 (N=516)	59.7%	25.2%	15.1%
	開発登録簿写し交付機能 (N=516)	59.3%	25.8%	14.9%
	開発登録簿の作成機能 (N=516)	56.8%	29.1%	14.1%
	開発登録簿の閲覧機能 (N=515)	54.6%	31.5%	14.0%
予約	事業者の窓口訪問の予約を行う機能 (N=515)	28.2%	42.9%	28.9%
決済	開発許可手数料等の支払いを行う機能 (N=515)	37.3%	39.6%	23.1%
電子署名	システム上で電子署名を行う機能 (N=515)	37.3%	40.6%	22.1%

各手続きにおけるシステム化のニーズについては、表 3-5 の通り、システム化が不要の業務も確認された。今回は、様々な地方公共団体が後続の詳細なシステム設計・構築を進められるよう、汎用的な要件定義内容として整理を行っているが、実際は各地方公共団体が自団体の条例、業務フローに応じたニーズにあわせて、個別に実装範囲や必要機能を選択し、詳細な検討を行う必要があることがうかがえる。

表 3-13 各手続きのシステム化のニーズ

対象手続き		システム要否		
		必要	あるとよい	不要
事前相談	事業者からの相談の受付・予約・申請 (N=515)	30.5%	32.8%	36.7%
	相談 (N=518)	27.4%	31.7%	40.9%
事前協議	事業者からの協議の受付・予約・申請 (N=512)	38.3%	28.3%	33.4%
	相談 (N=514)	29.2%	29.8%	41.1%
	行政による事前協議段階での同意・許可 不要等の文書の発行 (N=510)	32.4%	26.3%	41.4%
公共施設管理者協議	事業者からの協議の受付・予約・申請 (N=513)	37.4%	29.0%	33.5%
	協議 (N=514)	34.0%	29.4%	36.6%
	行政による同意・協議文書の発行 (N=514)	41.1%	27.4%	31.5%
開発許可申請	許可申請 (N=517)	59.6%	16.8%	23.6%
	通知書交付 (N=517)	57.6%	18.4%	24.0%

工事の完了・廃止・変更	完了の届出 (N = 517)	58.6%	18.8%	22.6%
	廃止の届出 (N = 517)	56.5%	19.3%	24.2%
	変更届の提出 (N = 517)	57.1%	19.1%	23.8%
	検査済証の交付 (N = 517)	56.7%	19.5%	23.8%
開発許可区域の建築制限	予定建築物以外の建築許可申請 (N = 510)	52.2%	18.6%	29.2%
	上記の建築許可証の発行 (N = 509)	51.1%	19.8%	29.1%
開発許可区域外の市街化 調整区域の建築制限	開発許可区域外の建築許可申請 (N = 507)	45.6%	17.9%	36.5%
	上記の建築許可証の発行 (N = 507)	44.6%	18.5%	36.9%
開発登録簿	開発登録簿の調製 (N = 518)	56.8%	22.8%	20.5%
	閲覧の受付・予約 (N = 517)	47.8%	27.5%	24.8%
	写しの交付申請 (N = 518)	55.4%	23.6%	21.0%
	写しの発行 (N = 518)	55.4%	23.7%	20.8%

4. 要件定義スコープ

4-1. 概要

市街地等において一定規模以上の開発行為を行う場合、都市計画法に基づく開発許可が必要となり、全国で毎年約2万件の申請が行われている。開発許可制度は、申請のあった開発行為が対象エリアの技術基準や立地基準に適合しているかの審査を行うものだが、審査項目は多岐にわたるため、事業者は多くの窓口を訪問する必要があり、行政職員は多数の相談対応、事業者は時間と手間を要し、双方大きな負担となっている。

2023年度に開発されたオープンソースソフトウェア「[開発許可申請管理システム](#)」に対して、2024年度の「[開発許可 DX v3.0](#)」の取組において追加開発を行った。具体的には、事前相談、開発行為の事前協議手続き、公共施設管理者との都市計画法32条協議、そして29条に基づく開発許可までの手続きをワンストップで実現するための機能の追加している。これにより、開発許可事務を行う地方公共団体において、開発許可主管部署の管理負担軽減、事業者と行政各課の協議効率化による審査期間短縮を実現する。

一方で、2024年度の「開発許可 DX v3.0」での実証実験や、Project PLATEAU 以外の国土交通省主導の取組である「令和6年度開発許可申請等のデジタル化に向けた課題分析・調査検討業務」の調査結果を踏まえて、社会実装の促進を阻む残課題が2点存在することが明らかとなった。具体的には、①地方公共団体ごとに許可権者の有無や業務フローが異なるため、現状の機能では各地方公共団体ごとの手続きフローが網羅できていないこと、②実業務における申請/審査負担を軽減するには、事前協議から開発許可申請までの部分的なDX化ではなく、後続業務も含む一貫した管理が必要であること、が挙げられる。

上記の点を踏まえて、本プロジェクトでは、開発許可権者へのヒアリング等も実施の上、開発許可権者の意見も踏まえながら、2024年度に開発した概況診断から事前相談までの機能に加え開発許可関係手続きを含む、支援システムのソフトウェア及びハードウェア要件を定義した。

地方公共団体ごとの業務フローの差分を把握し、システムの汎用性向上に必要な機能を整理すべく、約500都市を対象に、アンケート/ヒアリング調査を実施し、共通性の高い要件と実装すべき機能を整理している。さらに、「開発許可 DX v3.0」で支援可能な開発許可申請までの業務に留まらず、その後の開発登録簿の調製まで含めた一連の手続きを支援することで、申請手続き全体での業務の効率化を図る。

本年度新規で要件定義を行っている機能としては、事前協議申請、公共施設管理者協議申請、許可変更/廃止申請、工事完了/廃止届提出、建築許可申請及び開発登録簿写し交付申請の申請及び回答が対象となる。

具体的には、各申請及び回答に係る(1)申請内容の登録、(2)申請資料の添付、(3)申請内容の参照、(4)申請資料の参照、(5)申請内容の合意もしくは差し戻し、(6)差し戻し時の再申請、(7)申請ステータスの管理、及び(8)各申請情報の参照、の機能の要件定義を実施した。また、当該機能の構築において推奨するアーキテクチャ、アルゴリズム、データインタフェース、利用データ及びユーザーインタフェースの技術的な仕様を整理した。なお、本要件定義の内容については、その妥当性及び後続開発の実現可能性・開発容易性を確認する観点から、開発を主業とする複数のシステム事業者ヒアリングを実施し、その結果を本要件定義に反映済みである。

5. 開発システム

5-1. アーキテクチャ

5-1-1. システムアーキテクチャ

本資料の記載事項を基にしたシステムアーキテクチャの構築例を以下に示す。

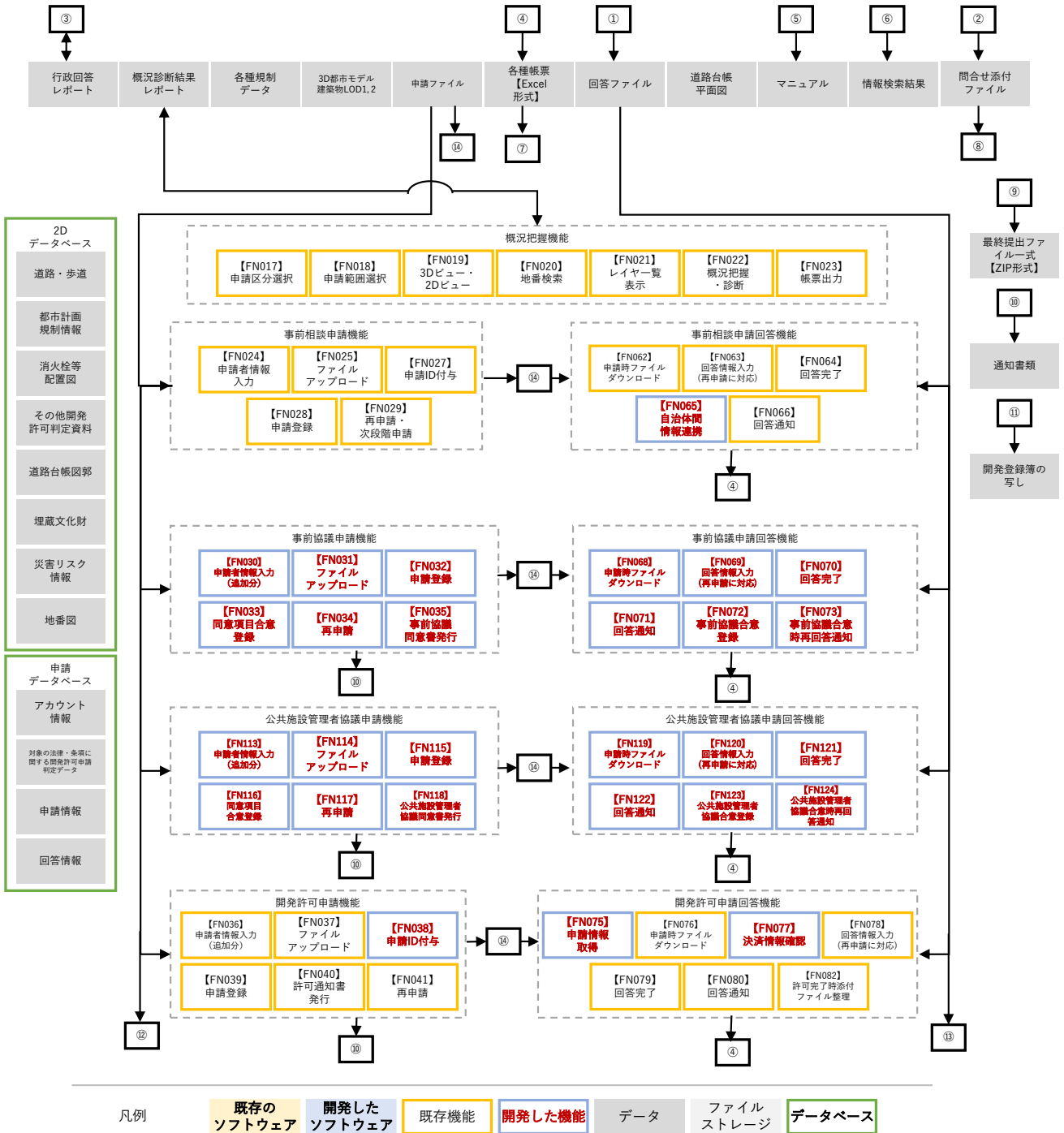


図 5-1 システムアーキテクチャ

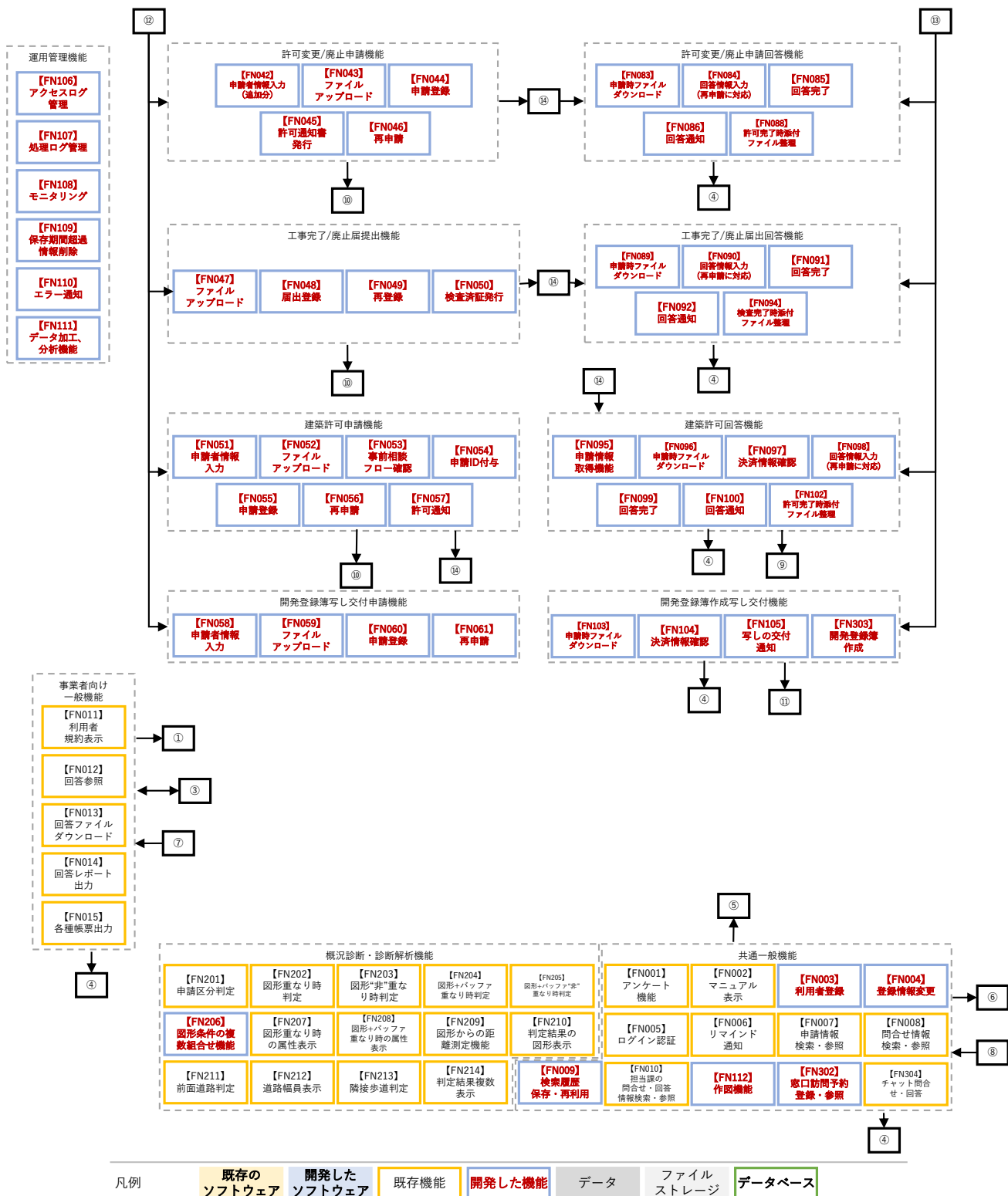


図 5-2 システムアーキテクチャ (続き)

5-1-2. データアーキテクチャ

本資料の記載事項を基にしたデータテクチャの構築例を以下に示す。

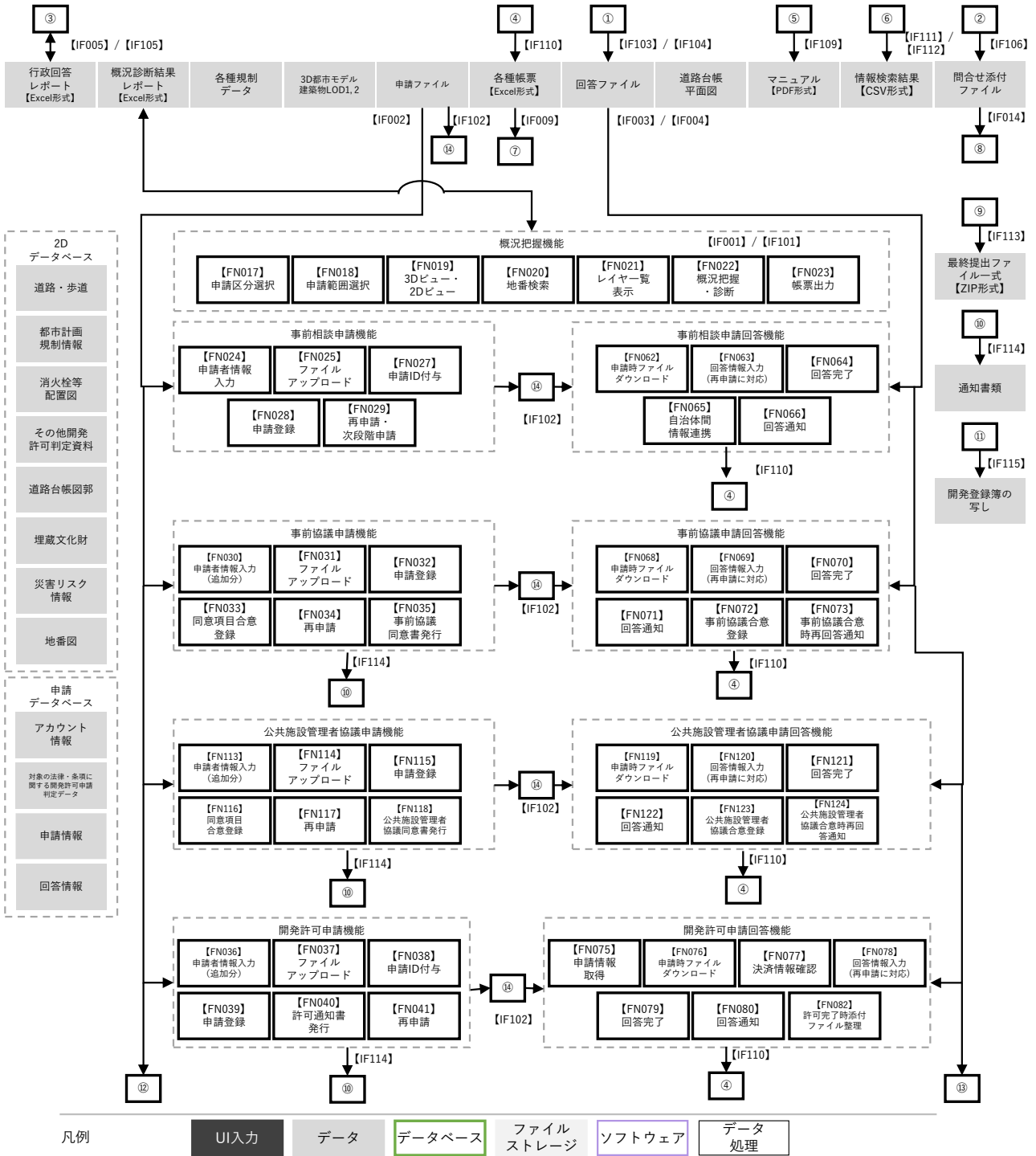


図 5-3 データアーキテクチャ

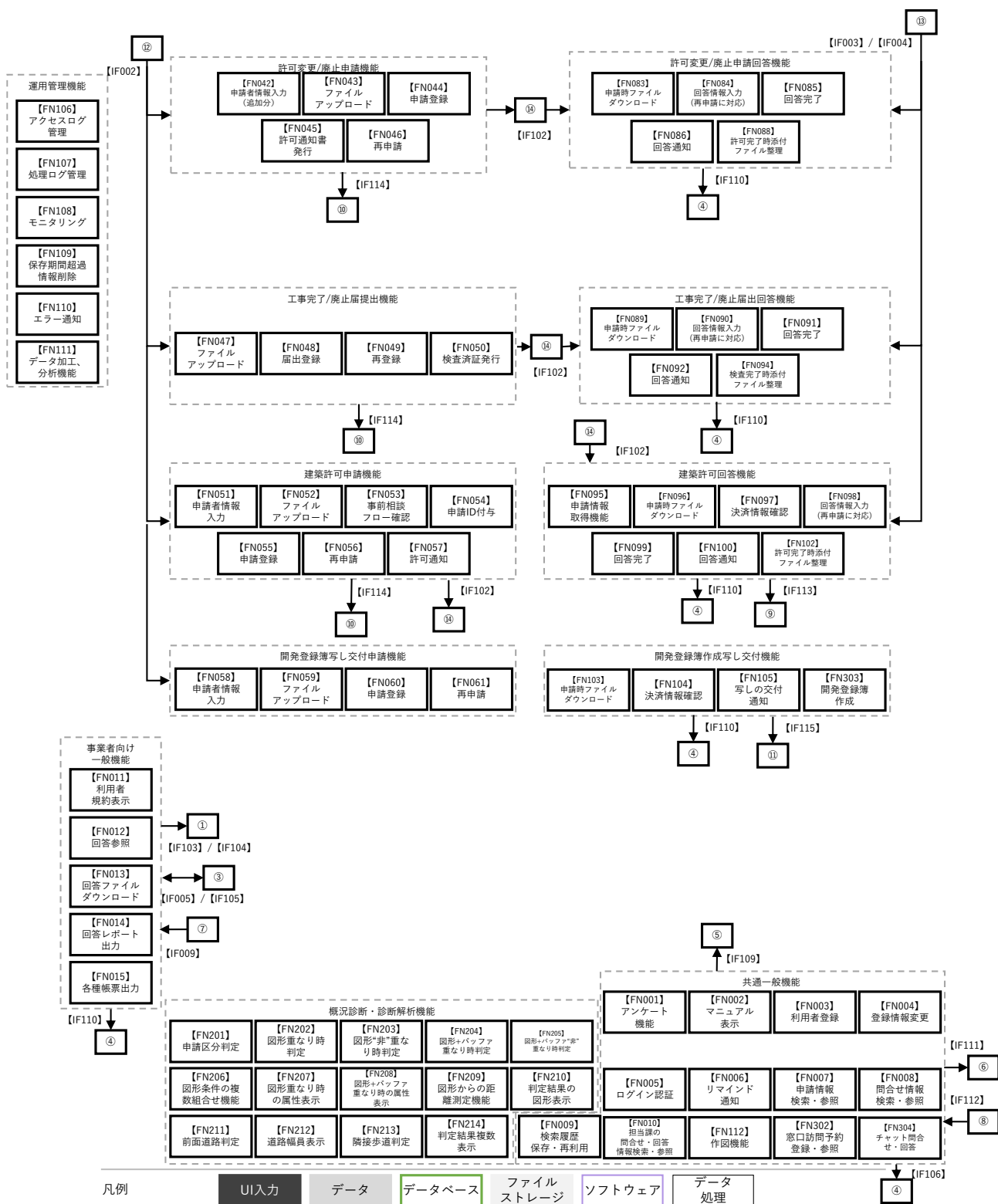


図 5-4 データアーキテクチャ (続き)

5-1-3. ハードウェアアーキテクチャ

5-1-3-1. 利用するハードウェア一覧

本資料の記載事項を基にしたハードウェアアーキテクチャの構築例を以下に示す。
 本システムのアーキテクチャはクラウドサービスの利用を前提とする。

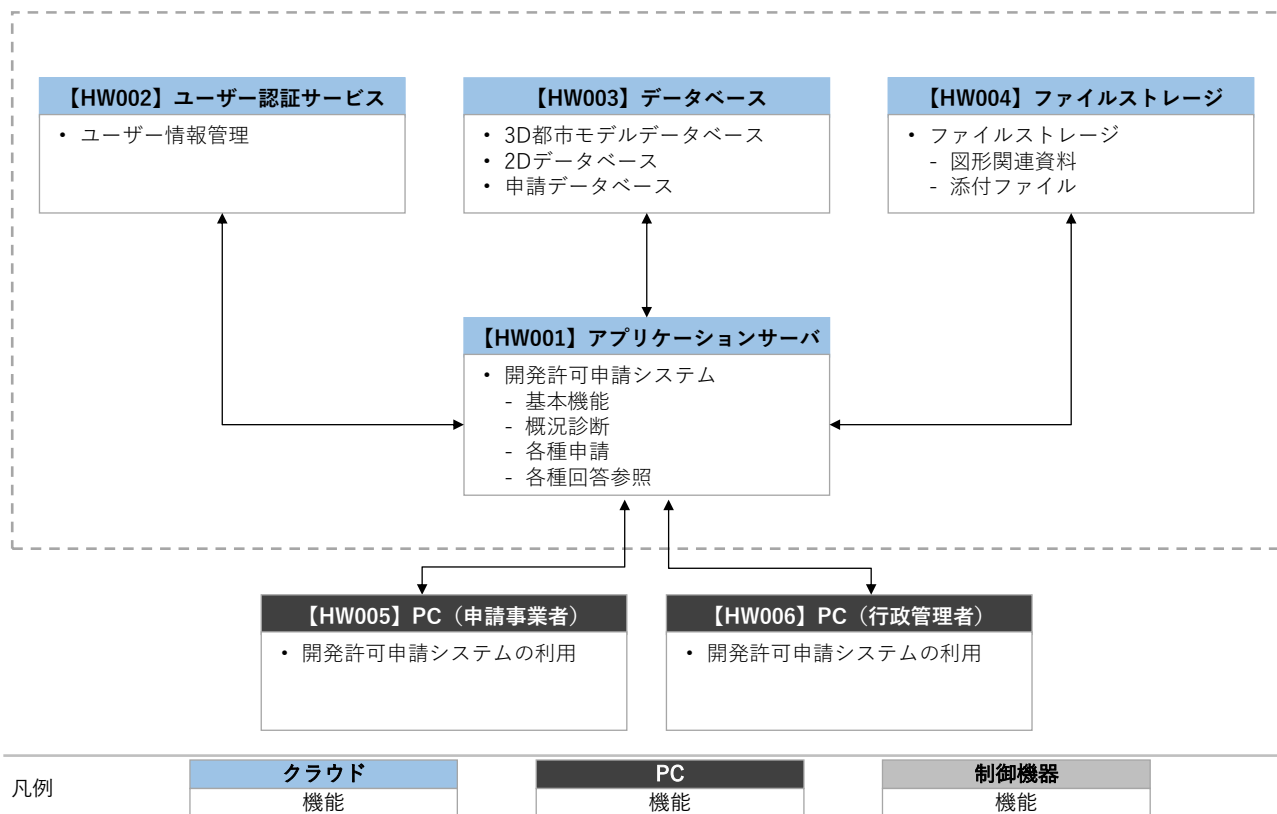


図 5-5 ハードウェアアーキテクチャ

表 5-1 利用するハードウェア一覧

ID	種別	用途
HW001	アプリケーションサーバ	● 本システムの稼働
HW002	ユーザー認証サービス	● ユーザー情報管理
HW003	データベース	● データベース
HW004	ファイルストレージ	● ファイルストレージ ➤ 図形関連資料 ➤ 申請時添付ファイル
HW005	PC (申請事業者)	● 本システムの利用
HW006	PC (行政管理者)	● 本システムの利用

5-1-3-2. 利用するハードウェア詳細

本レポートにおいては本システムの外部設計までを整理しており、【HW001】から【HW004】の必要なスペックや品番の選定は、システムを導入する地方公共団体の規模等を踏まえた内部設計後に実施する必要があるため、【HW005】及び【HW006】に汎用的に求められる仕様・スペックのみを以下に記載した。

1) 【HW005】 PC（申請事業者用）

- 選定理由
 - 申請事業者が利用する PC として、一般的なスペックの PC を選定
- 仕様・スペック
 - 筐体：A4 ノート
 - CPU：Core i5-10210U（1.6 GHz）
 - 実装メモリ：8GB
 - 想定ブラウザ：Microsoft Edge, Google Chrome

2) 【HW006】 PC（行政管理者用）

- 選定理由
 - 行政管理者が利用する PC として、一般的なスペックの PC を選定
- 仕様・スペック
 - HW005 と同様

5-2. システム機能

5-2-1. システム機能一覧

開発許可関係手続きの支援システムの機能一覧は以下とする。なお、機能一覧に記載した機能を既に地方公共団体に整備・導入済みのシステムにて実現している場合は、開発許可関係手続きの支援システムでの実装を必須として求めるものではなく、整備・導入済みのシステムを活用することは妨げない。

表 5-2 の凡例は以下の通りである。また、機能は事業者、行政担当者及び両者共通の 3 つの大分類に区分し、さらに大区分内で開発許可手続きの手順に沿った機能分類を小分類として区分している。

A：表 3-1 市町村①及び②の場合の市町村（許可権者）。

市町村が許可権者である場合、当該市町村の本機能の使用可否を記載した。詳細は表 3-1 を参照。

B：表 3-1 都道府県①、②及び③の場合の都道府県（許可権者）

都道府県が許可権者である場合、当該都道府県の本機能の使用可否を記載した。詳細は表 3-1 を参照。

C：表 3-1 都道府県①、②及び③の場合の市町村（非許可権者）

都道府県が許可権者である場合、当該都道府県における市町村の本機能の使用可否を記載した。詳細は表 3-1 を参照。

○：当該ユーザーが主に使用する機能

●：開発許可の DX v3.0 に包含される機能

表 5-2 開発許可申請に係るシステム機能一覧

※朱文字：新規開発・既存改修

大分類	小分類	ID	機能名	機能説明	A	B	C
事業者・行政担当者共通機能	一般機能	FN001	アンケート機能	● アンケートシステムのアンケート収集画面を開く	●	○	○
		FN002	マニュアル表示	● 事業者用・行政担当者用操作マニュアルを表示する	●	○	○
		FN003	利用者登録	● 事業者・行政担当者を登録しアカウントを発行する	○	○	○
		FN004	登録情報変更	● アカウントに登録された情報を変更する	○	○	○
		FN005	ログイン認証	● ログインしようとする事業者・行政担当者の ID・パスワードを認証する	●	○	○

		FN112	作図機能	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が申請した地番を結合したポリゴン、また申請した図面による開発範囲を参照し、職員が GIS 上で開発範囲を作図する 	○	○	○
		FN006	リマインド通知	<ul style="list-style-type: none"> 期限残り日数・超過状況を課ごとにメールで取りまとめ、指定時刻にメール通知する 	●	○	○
		FN007	申請情報検索・参照	<ul style="list-style-type: none"> 申請情報を検索する 	●	○	○
		FN008	問合せ情報検索・参照	<ul style="list-style-type: none"> 問合せ情報を検索する 	●	○	○
		FN009	検索履歴保存・再利用	<ul style="list-style-type: none"> 検索履歴を保存し、同条件もしくは一部条件を変更して再検索を可能とする 	○	○	○
		FN010	担当課の問合せ・回答情報検索・参照	<ul style="list-style-type: none"> ログインユーザーの部署を検索条件として、未回答の問合せ、事前相談申請、事前協議申請、公共施設管理者協議申請、許可申請情報を検索する 	●	○	○
		FN304	チャット問合せ・回答	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの回答に対して、事業者からチャット形式で問合せを行う 事業者からの相談の申請に対して、チャット形式でメッセージを送信する 	●	○	○
	窓口訪問予約機能	FN302	窓口訪問予約登録・参照	<ul style="list-style-type: none"> 各種申請に係る相談において事業者が行政担当者に実施する窓口訪問の予約の登録及び参照を可能とする 	○	○	○
事業者向け機能	一般機能	FN011	利用者規約表示	<ul style="list-style-type: none"> システム利用規約を表示し、同意の意思を確認する 	●	○	○
		FN012	回答参照	<ul style="list-style-type: none"> 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を確認する 	●	○	○
		FN013	回答ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答添付ファイルをダウンロードする 	●	○	○

		FN014	回答レポート出力	<ul style="list-style-type: none"> 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を帳票様式で Excel 出力する 	●	○	○
		FN015	各種帳票出力	<ul style="list-style-type: none"> 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で、各種帳票を自動生成する 生成された各種帳票データをダウンロードする 	●	○	○
概況把握機能		FN017	申請区分選択	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為の区分を選択させる 	●	○	○
		FN018	申請範囲選択	<ul style="list-style-type: none"> 地番情報検索又は地図上から筆界を選択することにより、開発行為を予定している地番を選択させる 	●	○	○
		FN019	3D ビュー・2D ビュー	<ul style="list-style-type: none"> 地図の 2D・3D 表現を切り替える 2D 及び 3D 地図の基本操作を行う 	●	○	○
		FN020	地番検索	<ul style="list-style-type: none"> 対象の地番位置（筆界）を検索する 検索結果筆界をクリックすると、対象の位置に地図表示箇所を移動する 	●	○	○
		FN021	レイヤー一覧表示	<ul style="list-style-type: none"> カタログに設定した GIS レイヤーを一覧表示し、表示・非表示を切り替える 	●	○	○
		FN022	概況把握・診断	<ul style="list-style-type: none"> 選択した申請区分及び申請範囲情報から、FN201～214 の解析機能を用い、各法律・条項に関連する事前相談必要可否・事業者への対応助言内容など、事業者以案内すべき内容を表示する 対象行を選択することで申請地番と判定データのレイヤーを地図上に表示する 	●	○	○

		FN023	帳票出力	<ul style="list-style-type: none"> 概況把握・診断の表示結果を帳票様式で Excel 出力する 対象範囲周辺の地図画像（2D 表現）を帳票に引用する 帳票作成はサーバ側で行い、ダウンロード準備出来次第、利用者へ通知する 	●	○	○
事前相 談申請 機能		FN024	申請者情報入力	<ul style="list-style-type: none"> アカウントに紐づく情報以外に、10 項目程度を設定可能とする 	●	○	○
		FN025	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする 	●	○	○
		FN027	申請 ID 付与	<ul style="list-style-type: none"> 受付が完了した申請へ一意の ID を付与する 	●	○	○
		FN028	申請登録	<ul style="list-style-type: none"> 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請 ID と回答予定日数を記載する 	●	○	○
		FN029	再申請・次段階申請	<ul style="list-style-type: none"> 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う 申請ごとに、書類は版番号で管理する 事前相談の内容が完了（全て再申請不要）となった段階で事前協議申請への申請となる 	●	○	○
事前協 議申請 機能		FN030	申請者情報入力（追加分）	<ul style="list-style-type: none"> 事前協議申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する 入力項目は 20 種程度を設定可能とする 	○	○	○
		FN031	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする 	○	○	○
		FN032	申請登録	<ul style="list-style-type: none"> 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、回答予定日数を記載する 	○	○	○

	FN033	同意項目合意登録	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政が回答した開発行為における各種条件内容について、合意を登録する 	○	○	○
	FN034	再申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う ● 申請ごとに、書類は版番号で管理する 	○	○	○
	FN035	事前協議同意書発行	<ul style="list-style-type: none"> ● 合意が登録された項目を記載した事前協議同意書を発行する 	○	○	○
公共施設管理者協議申請機能	FN113	申請者情報入力（追加分）	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設管理者協議申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する ● 入力項目は 20 種程度を設定可能とする 	○	○	○
	FN114	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> ● 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする 	○	○	○
	FN115	申請登録	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。 	○	○	○
	FN116	同意項目合意登録	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政が回答した開発行為における各種条件内容について、合意を登録する 	○	○	○
	FN117	再申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う ● 申請ごとに、書類は版番号で管理する 	○	○	○
	FN118	公共施設管理者協議同意書発行	<ul style="list-style-type: none"> ● 合意が登録された項目を記載した公共施設管理者協議同意書を出力する 	○	○	○
開発許可申請機能	FN036	申請者情報入力（追加分）	<ul style="list-style-type: none"> ● 許可申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する ● 入力項目は 20 種程度を設定可能とする ● 申請区分は変更不可とする 	●	○	○

	FN037	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> ● 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする 	●	○	○
	FN038	申請 ID 付与	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前協議以前を本システムで実施していない場合、受付が完了した申請へ一意の ID を付与する 	○	○	○
	FN039	申請登録	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請 ID と回答予定日数を記載する 	●	○	○
	FN040	許可通知書発行	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可通知書を出力する 	●	○	○
	FN041	再申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う ● 申請ごとに、書類は版番号で管理する 	●	○	○
許可変更 / 廃止申請機能	FN042	申請者情報入力 (追加分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 許可申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する ● 入力項目は 20 種程度を設定可能とする ● 申請区分は変更不可とする 	○	○	○
	FN043	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> ● 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする 	○	○	○
	FN044	申請登録	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、回答予定日数を記載する 	○	○	○
	FN045	許可通知書発行	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可通知書を発行する 	○	○	○
	FN046	再申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う ● 申請ごとに、書類は版番号で管理する 	○	○	○
工事完了 / 廃	FN047	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> ● 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする 	○	○	○

止届提出機能	FN048	届出登録	<ul style="list-style-type: none"> 届出が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、回答予定日数を記載する 	○	○	○
	FN049	再登録	<ul style="list-style-type: none"> 回答を踏まえて、届出条件及び添付書類を変更して再届出を行う 申請ごとに、書類は版番号で管理する 	○	○	○
	FN050	検査済証発行	<ul style="list-style-type: none"> 検査済証を出力する 	○	○	○
建築許可申請機能	FN051	申請者情報入力	<ul style="list-style-type: none"> アカウントに紐づく情報以外に、10項目程度を設定可能とする 	○	○	○
	FN052	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする 	○	○	○
	FN053	事前相談フロー確認	<ul style="list-style-type: none"> 事前相談フロー（都道府県・市町村）のパターンを確認し、事業者へ通知する 	○	○	○
	FN054	申請 ID 付与	<ul style="list-style-type: none"> 受付が完了した申請へ一意の ID を付与する 	○	○	○
	FN055	申請登録	<ul style="list-style-type: none"> 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請 ID と回答予定日数を記載する 	○	○	○
	FN056	再申請	<ul style="list-style-type: none"> 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う 申請ごとに、書類は版番号で管理する 	○	○	○
	FN057	許可通知	<ul style="list-style-type: none"> 建築許可の通知を受ける 	○	○	○
開発登録簿写し交付申請機能	FN058	申請者情報入力	<ul style="list-style-type: none"> 申請者情報を入力する 入力項目は氏名・メールアドレスを必須とし、10項目程度を設定可能とする 	○	○	○
	FN059	ファイルアップロード	<ul style="list-style-type: none"> 提出ファイルをアップロードする 	○	○	○

		FN060	申請登録	<ul style="list-style-type: none"> 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請時 ID・パスワードと回答予定日数を記載する 	○	○	○
		FN061	再申請	<ul style="list-style-type: none"> 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う 申請ごとに、書類は版番号で管理する 	○	○	○
行政担当者向け機能	事前相談申請	FN062	申請時ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	●	○	○
	回答機能	FN063	回答情報入力（再申請に対応）	<ul style="list-style-type: none"> 申請情報に対し、回答を記載する 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする 	●	○	○
		FN064	回答完了	<ul style="list-style-type: none"> 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する 	●	○	○
		FN065	自治体間情報連携	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県・市町村間で連携が必要なデータが存在する場合、審査完了時点でデータを連携する 	○	○	○
		FN066	回答通知	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	●	○	○
	事前協議申請	FN068	申請時ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	○	○	○

回答機能	FN069	回答情報入力（再申請に対応）	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請情報に対し、同意書に印字する回答を記載する ● 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする ● 公共施設管理者協議の必要有無について、登録できる ● 事業者が合意するまで修正できる 	○	○	○
	FN070	回答完了	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する 	○	○	○
	FN071	回答通知	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	○	○	○
	FN072	事前協議合意登録	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前協議の登録内容に対し、事業者が合意回答をした場合、対象の条項に対し、行政同意日を登録する ● 事前協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータが入力された Excel データをダウンロードし、修正後、PDF 形式で、アップロードする 	○	○	○
	FN073	事前協議合意時再回答通知	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	○	○	○
公共施設管理	FN119	申請時ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	○	○	○

者協議 申請回 答機能	FN120	回答情報入力（再申請 に対応）	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請情報に対し、同意書に印字する回答を記載する ● 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする ● 公共施設管理者協議の必要有無について、登録できる ● 事業者が合意するまで修正できる 	○	○	○
	FN121	回答完了	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する 	○	○	○
	FN122	回答通知	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	○	○	○
	FN123	公共施設管理者協議合 意登録	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設管理者協議の登録内容に対し、事業者が合意回答をした場合、対象の条項に対し、行政同意日を登録する ● 公共施設管理者協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータが入力された Excel データをダウンロードし、修正後、PDF 形式で、アップロードする 	○	○	○
	FN124	公共施設管理者協議合 意時再回答通知	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	○	○	○
開発許 可申請 回答機 能	FN075	申請情報取得機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体個別システムから申請情報を取得し、申請 ID を付与する 	○	○	○
	FN076	申請時ファイルダウン ロード	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	●	○	○
	FN077	決済情報確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発手数料の決済情報を確認又は登録する 	○	○	○

	FN078	回答情報入力（再申請に対応）	<ul style="list-style-type: none"> 申請情報に対し、回答を記載する 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする 	●	○	○
	FN079	回答完了	<ul style="list-style-type: none"> 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する 	●	○	○
	FN080	回答通知	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 許可申請の回答に対して事業者から問合せがあった場合にチャット形式で返答する 	●	○	○
	FN082	許可完了時添付ファイル整理	<ul style="list-style-type: none"> 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038: 各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする 	●	○	○
許可変更 / 廃止申請 回答機能	FN083	申請時ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	○	○	○
	FN084	回答情報入力（再申請に対応）	<ul style="list-style-type: none"> 申請情報に対し、回答を記載する 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする 	○	○	○

		FN085	回答完了	<ul style="list-style-type: none"> 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する 	○	○	○
		FN086	回答通知	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	○	○	○
		FN088	許可完了時添付ファイル整理	<ul style="list-style-type: none"> 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038: 各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする 	○	○	○
工事完了 / 廃止届出 回答機能		FN089	申請時ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	○	○	○
		FN090	回答情報入力（再申請に対応）	<ul style="list-style-type: none"> 申請情報に対し、回答を記載する 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする 	○	○	○
		FN091	回答完了	<ul style="list-style-type: none"> 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する 	○	○	○
		FN092	回答通知	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	○	○	○

		FN094	検査完了時添付ファイル整理	<ul style="list-style-type: none"> 検査完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038: 各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする 	○	○	○
建築許可回答機能		FN095	申請情報取得機能	<ul style="list-style-type: none"> 自治体個別システムから申請情報を取得する 	○	○	○
		FN096	申請時ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	○	○	○
		FN097	決済情報確認	<ul style="list-style-type: none"> 開発手数料の決済情報を確認又は登録する 	○	○	○
		FN098	回答情報入力（再申請に対応）	<ul style="list-style-type: none"> 申請情報に対し、回答を記載する 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする 	○	○	○
		FN099	回答完了	<ul style="list-style-type: none"> 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する 	○	○	○
		FN100	回答通知	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する 	○	○	○
			FN102	許可完了時添付ファイル整理	<ul style="list-style-type: none"> 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038: 各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする 	○	○
開発登録簿作		FN103	申請時ファイルダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> 申請時に登録されたファイルをダウンロードする 	○	○	○

	成 / 写 し交付 機能	FN104	決済情報確認	● 開発手数料の決済情報を確認 又は登録する	○	○	○
		FN105	写しの交付通知	● 開発登録簿写しの交付許可を 通知する	○	○	○
		FN303	開発登録簿作成	● 承認した開発許可申請の開発 登録簿を閲覧する	○	○	○
全体管 理機能	運用管 理機能	FN106	アクセスログ管理	● システムへのアクセスログを 記録する	○	○	○
		FN107	処理ログ管理	● 処理の開始や終了を通知する 処理ログファイルを出力し、 正常終了、異常終了を判別可 能とする。また、異常終了の 際はどの処理でエラーとなっ たのか判別可能とする	○	○	○
		FN108	モニタリング	● データ連携処理の実行状況 (実行プログラム、実行日時、 ステータス(実行中、正常完 了、異常終了))を照会する	○	○	○
		FN109	保存期間超過情報削除	● 保存期間を経過した情報を物 理削除する	○	○	○
		FN110	エラー通知	● エラーが検出された場合に通 知する	○	○	○
		FN111	データ加工、分析機能	● 一般的な演算子 (+,=,>,!= 他、各種演算を表わす記号・ シンボル) 及び 一般的に流 通している表計算ソフトウェ アやデータベースソフトウェ アで用いられる関数を用い て、データを分析・加工する	○	○	○

概況把握・診断機能（FN022）で、各法律・条項に関連する事前相談必要可否等の判定に内部で用いる解析機能を表 5-3 に示す。

表 5-3 概況把握・診断の解析機能一覧

※朱文字：新規開発・既存改修

●：開発許可の DX v3.0 に包含される機能

分類	ID	機能名	機能説明	DX v3.0
申請区分判定	FN201	申請区分判定	「申請区分選択で選択した申請区分」が、対象の法律・条項に関する申請要件と該当したとき、事業者以案内すべき内容を表示する	●
空間判定	FN202	図形重なり時判定	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者以案内すべき内容を表示する	●
	FN203	図形“非”重なり時判定	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者以案内すべき内容を表示する	●
	FN204	図形+バッファ重なり時判定	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者以案内すべき内容を表示する	●
	FN205	図形+バッファ“非”重なり時判定	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者以案内すべき内容を表示する	●
	FN206	図形条件の複数組み合わせ判定	FN202~FN205 の空間解析結果を複数組み合わせた空間解析を行い、設定条件に該当したとき、事業者以案内すべき内容を表示する	-
	FN207	図形重なり時の属性表示	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する	●

	FN208	図形+バッファ 重なり時の属性 表示	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する	●
	FN209	図形からの距離 測定機能	「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、「申請範囲選択で選択した申請範囲」から一番近い「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の距離を表示する	●
	FN210	判定結果の図形 表示	「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」を、概況把握・診断の表示結果行をクリックすることで表示切替える	●
	FN211	前面道路判定	「申請範囲選択で選択した申請範囲」に隣接する道路を判定する。複数道路に面する場合がある	●
	FN212	道路幅員表示	道路の幅員を表示・案内する	●
	FN213	隣接歩道判定	隣接歩道の有無を表示・案内する	●
	FN214	判定結果複数表 示	判定結果が複数該当した際、判定結果の行を分けて表示する(用途地域がまたがる、前面道路が複数該当するなど)	●

5-2-2. 利用推奨ソフトウェア・ライブラリ

本要件定義資料の記載内容を満たすために必要なソフトウェア及びライブラリについて、本ユースケースにて検討した一例を以下に示す。ソフトウェア及びライブラリのバージョンについて、公式にサポートされているバージョンを採用することが望ましい。

表 5-4 利用推奨ソフトウェア一覧

※朱文字：新規開発・既存改修

ID	項目	バージョン	内容
SW001	Apache HTTP Server	2.4.63	● Apache ソフトウェア財団が保有する、Web アプリで配信を行うための Web サーバソフトウェア
SW002	Node.js	22.17.0	● Joyent 社が保有する、JavaScript 実行環境
SW003	Apache Tomcat	11.0.9	● Apache ソフトウェア財団が提供する、GeoServer、カスタムアプリを起動する J2EE の SDK
SW004	GeoServer	2.27.2	● OpenGeo, GeoSolutions, Refrations Research が保有する、各種データを WMS 及び WFS 等で配信するための GIS サーバ
SW005	PostgreSQL	17.5	● PostgreSQL Global Development Group が保有する、各種配信するデータを格納するリレーショナルデータベース
SW006	PostGIS	3.5.3	● Refrations Research が保有する、PostgreSQL で位置情報を扱うことを可能とする拡張機能

表 5-5 利用するライブラリー一覧

※朱文字：新規開発・既存改修

ID	項目	バージョン	内容
LB001	TerriaJS	8.10.0	● CSIRO が提供する、UI の提供及び UI を介して CesiumJS, Leaflet の描画機能を制御するためのライブラリ
LB002	CesiumJS	1.131.0	● Ansys Government Initiatives (AGI)が提供する、3D ビューワ上にデータを描画するためのライブラリ
LB003	Apache POI	5.4.1	● Apache ソフトウェア財団が提供する、帳票出力で、Excel 出力を行うライブラリ
LB004	Spring Boot	3.5.3	● VMware, Inc が提供する、Java で利用可能な Web アプリのフレームワーク
LB005	React.js	19.1.0	● Meta とコミュニティが提供する、JavaScript のフレームワーク内で機能する UI を構築するためのライブラリ ¹
LB006	marker.js	3.7.1	● markerjs.com が提供する、画像データへの図形や文字情報の書き込みをブラウザ上で行うライブラリ ²
LB007	tiff.js	7.0.0	● seikichi@kmc.gr.jp が提供する、Tiff ファイルをブラウザで閲覧・編集可能な PNG 形式に変換するライブラリ ³

¹ 公式 HP より抜粋：<https://ja.legacy.reactjs.org/>

² 公式 HP より抜粋：<https://markerjs.com/demos/all-defaults/>

³ 公式 HP より抜粋：<https://github.com/seikichi/tiff.js>

5-2-3. 開発機能の詳細要件

開発機能の詳細要件を記す。なお、本業務において新規開発した要素（機能名）を朱文字で示す。

※データ仕様は、基本方針としてシステム構築時での設計を想定。一部主要機能は代表的なデータ仕様例を記載している。

1. 【FN001】 アンケート機能

- 機能概要
 - アンケートシステムのアンケート収集画面を開く
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事業者がトップ画面で利用目的を選択して、アンケートシステムのアンケート収集画面を開く
 - 行政がログインするとともに、アンケートシステムのアンケート収集画面を開く
 - アンケート回答状況を一覧で表示する
 - 設問を表示する
 - 回答する（回答方法：単一選択、複数選択、自由記述等）
 - アンケート回答内容を確認する
 - アンケート回答を送信する
 - アンケート集計結果を Excel で出力する

2. 【FN002】 マニュアル表示

- 機能概要
 - 事業者用・行政担当者用操作マニュアルを表示する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ マニュアル PDF ファイル
 - 内容
 - ログインユーザーの種別に応じて表示する操作マニュアルファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF109】を参照
- 機能詳細
 - 事業者用及び行政担当者用操作マニュアルを個別に表示する

3. 【FN003】 利用者登録

- 機能概要
 - 事業者・行政担当者を登録しアカウントを発行する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事業者・行政担当者を新規に登録する
 - 登録時にアカウントを発行する
 - 登録完了時に確認メールを送信する

4. 【FN004】 登録情報変更

- 機能概要
 - アカウントに登録された情報を変更する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 既存アカウントの登録情報（氏名、所属、連絡先等）を変更する
 - 変更内容をシステムに反映する

5. 【FN005】 ログイン認証

- 機能概要
 - ログインしようとする事業者・行政担当者の ID・パスワードを認証する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - システム構築時の設定作業で設定した行政担当者の ID・パスワードを認証する
 - 認証結果に応じてシステムへのアクセスを許可または拒否する
 - 認証に失敗した場合にエラーメッセージを表示する
 - 認証後に利用者の権限に応じた機能を利用可能にする
 - パスワードを一定期間ごとに変更するように促す

6. 【FN112】 作図機能

- 機能概要
 - 事業者が申請した地番を結合したポリゴン、また申請した図面による開発範囲を参照し、職員が GIS 上で開発範囲を作図する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細
 - 事業者が申請した地番を結合したポリゴン、また申請した図面による開発範囲を参照し、職員が GIS 上で開発範囲を作図する
 - 地図上をクリックしてノードを連続して配置し、開始ノードまたはダブルクリックによりポリゴンを閉じて開発範囲とする
 - 入力したポリゴンに対して、ノードの追加・削除・移動による追加編集が可能とする
 - 作図した開発範囲は、申請情報と合わせて管理する。また、職員が別 GIS 等で参照できるよう GIS 形式での出力機能をもつ

7. 【FN006】 リマインド通知

- 機能概要
 - 期限残り日数・超過状況を課ごとにメールで取りまとめ、指定時刻にメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - FN015、FN063、FN064、FN069、FN070、FN072、FN078、FN079、FN304 において、期限残り日数、超過状況を課ごとにメールで取りまとめ、指定時刻にメール通知する
 - 各項目の期限開庁日時、リマインド通知閾値、リマインドメール通知日時は設定変更できるものとする
 - 通知対象者が複数いる場合に CC/BCC で送信する

8. 【FN007】 申請情報検索・参照

- 機能概要
 - 申請情報を検索する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 申請情報検索結果ファイル
 - 内容
 - 事業者申請時の入力情報、ステータスを検索条件として検索した申請情報の一覧ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF111】を参照
- 機能詳細
 - 事業者申請時の入力情報、ステータスを検索条件とし、申請情報を検索する
 - 検索条件に一致した申請情報検索結果を一覧表示する

<検索条件>

 - ◇ 申請時 ID
 - ◇ 申請者名

- ◇ 申請日（範囲指定）
- ◇ ステータス（未処理／承認済み等）
- 表示した検索結果の地図移動ボタンにより、対象の位置に移動する
- 申請情報の詳細情報を表示する
- 表示方法は、「地図上に表示されている申請区域（ハイライト図形）」「申請情報検索結果一覧の詳細ボタンを押下」の2種類とする
- 申請情報検索結果一覧の CSV 出力ボタンを押下すと、申請情報検索結果一覧を CSV ファイルで出力する

9. 【FN008】 問合せ情報検索・参照

- 機能概要
 - 問合せ情報を検索する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 問い合わせ情報検索結果ファイル
 - 内容
 - 事業者申請時の入力情報、ステータス、担当課、回答者を条件として検索した問い合わせ情報の一覧ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF112】を参照
- 機能詳細
 - 事業者申請時の入力情報、ステータス、担当課、回答者を検索条件とし、問合せ情報を検索する
 - 検索条件に一致した問合せ情報検索結果を一覧表示する
 - <検索条件>
 - ◇ 申請時 ID
 - ◇ 申請者名
 - ◇ 申請日（範囲指定）
 - ◇ ステータス（未処理／承認済み等）
 - 表示した検索結果の行をクリックすると、対象の位置に移動する
 - 検索結果一覧の詳細ボタンにより、問合せ情報の詳細情報を表示する
 - 事前相談・事前協議・公共施設管理者協議・許可申請それぞれの問合せを一連で管理し、フィルタで絞込む
 - 検索結果一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降または降順に並び替える
 - 検索結果一覧の CSV 出力ボタンから、問合せ情報一覧を CSV ファイルで出力する

10. 【FN009】 検索履歴保存・再利用

- 機能概要
 - 検索履歴を保存し、同条件もしくは一部条件を変更して再検索を可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 実行した検索条件を検索履歴として保存する
 - 保存した検索履歴を参照する
 - 保存した検索条件と同じ条件で再検索を実行する
 - 保存した検索条件の一部を変更して再検索を実行する
 - 検索履歴より検索条件を削除する

11. 【FN010】 担当課の問合せ・回答情報検索・参照

- 機能概要
 - ログインユーザーの部署を検索条件として、未回答の問合せ、事前相談申請、事前協議申請、公共施設管理者協議申請、許可申請情報を検索する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - ログインユーザーの部署を検索条件として、未回答の問合せ、事前相談申請、事前協議申請、32条協議申請、許可申請情報を検索する
 - 検索条件に一致した情報を一覧表示する
 - <検索条件>
 - ◇ 申請時 ID
 - ◇ 申請者名
 - ◇ 申請日（範囲指定）
 - ◇ ステータス（未処理／承認済み等）
 - 検索結果一覧の詳細ボタンから、各情報の詳細情報を表示する
 - 検索結果一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降または降順に並び替える

12. 【FN304】 チャット問合せ・回答

- 機能概要
 - 事業者からの許可申請に対して、チャット形式でメッセージを送信する
 - 許可申請の回答に対して事業者から問合せがあった場合にチャット形式で返答する
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 問合せ添付ファイル入力
 - 内容

- 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
- データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF014】を参照
- 出力
 - ◇ 問合せ添付ファイル出力
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイルをダウンロード
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
- 機能詳細
 - 事業者からの許可申請に対して、チャット形式でメッセージを送信する
 - 許可申請の回答に対して事業者から問合せがあった場合にチャット形式で返答する
 - 事業者がチャットにファイルを添付している場合、ファイルをダウンロードする
 - 問い合わせへの回答をほかの複数の部署に委任する
 - 問合せに回答すると回答を行った旨を事業者に通知する
 - 許可申請の申請段階で回答した属性を合わせて管理する

13. 【FN302】 窓口訪問予約登録・参照

- 機能概要
 - 各種申請に係る相談において事業者が行政担当者に実施する窓口訪問の予約の登録及び参照を可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事業者からの訪問予約に対して、行政担当者にて返答する。
 - 予約が承認された旨を申請を行った事業者に通知する。
 - 許可申請の申請段階で回答した属性を合わせて管理する

14. 【FN011】 利用者規約表示

- 機能概要
 - システム利用規約を表示し、同意の意思を確認する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - システム利用規約を表示する
 - 利用者に利用規約への同意を求める
 - 利用者の同意の意思を確認する
 - 利用者が同意しない場合にシステム利用を制限する

15. 【FN012】 回答参照

- 機能概要
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を確認する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を確認する
 - 回答日時、回答者、回答本文を表示する
 - 回答内容が更新された場合に履歴を保持する

16. 【FN013】 回答ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答添付ファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
 - 出力
 - ◇ 行政担当者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF103】を参照
 - ◇ 行政担当者による編集画像ファイル
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップされたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF104】を参照
- 機能詳細
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答添付ファイルをダウンロードする。
 - ファイルのダウンロード履歴を記録する

17. 【FN014】 回答レポート出力

- 機能概要
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を帳票様式で Excel 出力する
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 行政回答レポートテンプレート
 - 内容
 - 回答レポート出力に帳票作成処理でシステムが参照する、帳票レポートのテンプレートファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF005】を参照
 - 出力
 - ◇ 行政回答レポート
 - 内容
 - 回答レポート出力時に出力される帳票レポート
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF105】を参照
- 機能詳細
 - 申請時 ID 認証で照合した場合、申請内容に対する行政担当者からの回答内容を帳票様式で Excel 出力する。

18. 【FN015】 各種帳票出力

- 機能概要
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で、各種帳票を自動生成する
 - 生成された各種帳票データをダウンロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 帳票テンプレート
 - 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票のテンプレートファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF009】を参照
 - 出力
 - ◇ 出力帳票ファイル
 - 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票ファイル

- データ詳細
 - ファイル出力インターフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で、各種帳票を自動生成する
 - 自動生成対象の帳票は各申請段階で SE 設定可能とする
 - 行政が作成した各種帳票データをダウンロードする。また、各種帳票ダウンロード操作のタイミングで、データ受領日を自動登録するとともに、行政管理者へデータ取得が完了した旨をメール通知する
 - <事前協議申請時>
 - ◇ 事前協議同意書
 - ◇ 公共施設管理者協議同意書
 - ◇ その他地方公共団体に設定した様式（システム構築時に SE 設定できるようにする）
 - <許可申請時>
 - ◇ 開発許可証
 - ◇ その他地方公共団体に設定した様式（システム構築時に SE 設定できるようにする）
 - 帳票生成エラー時に管理者に通知する

19. 【FN017】 申請区分選択

- 機能概要
 - 開発行為の区分を選択させる
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - システム構築時の設定作業で設定した、開発行為の区分を選択させる
 - システム構築時の設定作業により、下記内容の設定ができるようになる
 - ◇ 選択させる区分の数（最大 10 個）
 - ◇ 選択させる区分のタイトル
 - ◇ 選択させる区分の説明文
 - ◇ 選択させる区分の概況診断タイプ
 - ◇ 区分の選択肢内容
 - ◇ 区分の選択方法（複数選択・単一選択）
 - 申請種類（SE 設定により複数設定可。本実証では開発許可のみ設定。）のプルダウンを選択することで、表示・判定に使用される申請区分リストを切り替える
 - 回答内容確認画面から遷移する場合、前回申請で選択された申請区分を選択中で初期表示する
 - 前項の選択内容に合わせて設問が連動で変わる
 - 前項の選択内容に合わせて次の選択条件の選択肢が自動で絞り込まれる（開発面積 500 m² → 建築面積の選択肢は 500 m²以下の内容に絞り込まれた状態で表示される 等）

20. 【FN018】 申請範囲選択

- 機能概要
 - 地番情報検索又は地図上から筆界を選択することにより、開発行為を予定している地番を選択させる
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 地番情報検索画面を表示し、開発行為を予定している地番を選択する
 - 選択方法は以下の3パターンとする
 - ◇ 地番文字情報の検索結果から選択
 - ◇ 地図上でクリックした地点に該当する筆界を選択
 - ◇ 地図上のドラッグした範囲に含まれる筆界を選択 (Alt キー押下+マウストラッグ)
 - 選択結果の表示：選択した筆界を地図上でハイライト表示する
 - 複数選択：複数の筆界を同時に選択できるようにする
 - 選択解除：選択済みの筆界をクリックすることで選択を解除する

21. 【FN019】 3D ビュー・2D ビュー

- 機能概要
 - 地図の2D・3D表現を切り替える
 - 2D及び3D地図の基本操作を行う
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 地図の画面上の切替ボタンで2D・3D表現を切り替える
 - システム初期画面は2Dビューを表示する
 - 3D地図で以下の基本操作を行う
 - ◇ 3次元地図を表示する
 - ◇ 3次元地図をマウスホイールで拡大・縮小する
 - ◇ 3次元地図をマウス操作で移動する
 - ◇ 3次元地図をマウス操作で視点変更する
 - 2D地図で以下の基本操作を行う
 - ◇ 2次元地図を表示する
 - ◇ 2次元地図をマウスホイールで拡大・縮小する
 - ◇ 2次元地図をマウス操作で移動する
 - 2D・3D切替時に現在の表示範囲を保持する

22. 【FN020】 地番検索

- 機能概要
 - 対象の地番位置（筆界）を検索する
 - 検索結果筆界をクリックすると、対象の位置に地図表示箇所を移動する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 対象の地番位置（筆界）を検索する
 - 地番を大字（選択肢から選択形式）→地番（手動入力）で入力し、入力した地番を「含む」検索を実行する
 - 一致した検索結果を筆界一覧として表示する（最大〇件）
 - <表示項目>
 - ◇ 筆界 ID
 - ◇ 大字
 - ◇ 地番
 - 一覧の行をクリックすると、対象の位置に移動する
 - 対象の筆界を地図上でハイライト表示する

23. 【FN021】 レイヤー一覧表示

- 機能概要
 - カタログに設定したGISレイヤを一覧表示し、表示・非表示を切り替える
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - カタログに事前にセット済みのレイヤを画面に一覧表示する
 - レイヤー一覧チェックボックスにより、地図上のレイヤ表示・非表示を切り替える
 - ドラッグアンドドロップでレイヤの表示順を並び替える

24. 【FN022】 概況把握・診断

- 機能概要
 - 選択した申請区分及び申請範囲情報から、FN201～214 の解析機能を用い、各法律・条項に関連する事前相談必要可否・事業者への対応助言内容など、事業者以案内すべき内容を表示する
 - 対象行を選択することで申請地番と判定データのレイヤを地図上に表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 「申請区分選択で選択した申請区分」＋「申請範囲選択で選択した申請範囲」＋「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」をもとにシステムで解析し、各法律・条項に関連する事前相談必

- 要可否・事業者への対応助言内容等、事業者以案内すべき内容を法律・条項ごとに分けて表示する
- 申請範囲が複数の概況診断結果に係る場合（例えば、複数の用途地域に係る等）、それぞれ結果を表示する
 - 対象行を選択することで申請地番と判定データのレイヤを地図上に表示する
 - 申請範囲が複数の概況診断結果に係る場合、表示するレイヤの凡例を表示する、またはレイヤの該当領域をハイライトする等により、結果との対比を可能とする

25. 【FN023】 帳票出力

● 機能概要

- 概況把握・診断の表示結果を帳票様式で Excel 出力する
- 対象範囲周辺の地図画像（2D 表現）を帳票に引用する
- 帳票作成はサーバ側で行い、ダウンロード準備出来次第、利用者へ通知する
- データ仕様
- 入力
 - ◇ 概況診断結果レポートテンプレート
 - 内容
 - 帳票出力時又は申請登録時に帳票作成処理でシステムが参照する、帳票レポートのテンプレートファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF001】を参照

➤ 出力

- ◇ 概況診断結果レポート
 - 内容
 - 各法律・条項に関連する事前相談必要可否・事業者への対応助言内容など、事業者以案内すべき内容が記載された Excel レポート
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF101】を参照

● 機能詳細

- 概況把握・診断の表示結果を帳票様式で Excel 出力する
- 対象範囲周辺の地図画像（2D 表現）を帳票に引用する
- 帳票作成はサーバ側で行い、ダウンロード準備出来次第、利用者へ通知する
- 帳票出力に失敗した場合に管理者へ通知する

26. 【FN024】 申請者情報入力

- 機能概要
 - アカウントに紐づく情報以外に、10 項目程度を設定可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請者情報を入力する
 - 入力項目は氏名・メールアドレス・電話番号・住所とし、氏名・メールアドレスは必須入力とする
 - その他事前相談で判断するために必要な項目を 10 項目程度、SE 作業で設定できるようにする
 - 入力項目の妥当性チェック（形式・文字数等）を行う
 - 必須項目未入力時にエラーメッセージを表示する
 - 入力したメールアドレスの正確性及び本人確認のため、次へ進む際に認証コードを記載した仮受付メールを送信し、画面に入力することでファイルアップロード画面へ遷移する
 - 認証コードは、○桁の数値とし、○分を有効期間とする

27. 【FN025】 ファイルアップロード

- 機能概要
 - 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
- 機能詳細
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の 3 種類が設定可能）
 - 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG を想定）
 - 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

28. 【FN027】 申請 ID 付与

- 機能概要
 - 受付が完了した申請へ一意の ID を付与する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細
 - 申請時の ID・パスワードをランダムで生成・発行する
 - 申請 ID・パスワード発行直後、対象申請 ID のステータスを「事前相談：未回答」に切り替える
※「回答自動入力」の機能が設定されている場合、申請 ID・パスワード発行直後、対象申請 ID のステータスを「事前相談：未完（回答準備中）」に切り替える
 - ID・パスワード発行履歴を記録する

29. 【FN028】 申請登録

- 機能概要
 - 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請 ID と回答予定日数を記載する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請が完了した旨をメールで通知する
 - 申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに記載する
 - 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 概況診断結果の Excel 帳票データを申請時 ID に関連付けする
 - 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する
※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「事前相談：未完（回答準備中）」となる
※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する
※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる
 - 申請登録時に必須ファイル・必須項目の未入力を検知する

30. 【FN029】 再申請・次段階申請

- 機能概要
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 申請ごとに、書類は版番号で管理する
 - 事前相談の内容が完了（全て再申請不要）となった段階で事前協議申請への申請となる
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - システムで版番号が管理する
 - システムで版番号は事前相談・事前協議・公共施設管理者協議・許可申請を区別して管理する
 - 申請段階について、事前相談の内容が完了した段階で事前協議申請が選択できるものとする

- 申請段階について、許可申請は選択できないものとする
- 変更履歴を保持し、前版の申請内容と差分が分かるようにする

31. 【FN030】 申請者情報入力（追加分）

- 機能概要
 - 事前協議申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は 20 種程度を設定可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事前協議申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は 20 種程度、SE で自由に設定項目を用意し、テキスト・数値・日付・選択肢型、入力桁数制限、入力必須設定ができるようにする
 - 事前相談で入力していた項目（氏名・メールアドレス・電話番号・住所・その他 10 種 SE 設定項目）は引継ぎし、氏名・メールアドレスは入力不可状態とする
 - 入力項目の妥当性チェック（形式・文字数等）を行う
 - 必須項目未入力時にエラーメッセージを表示する

32. 【FN031】 ファイルアップロード

- 機能概要
 - 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
- 機能詳細
 - 事前相談から区分を変更した場合、概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルの内容を自動変更する
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の 3 種類が設定可能）
 - 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG を想定）
 - 事前相談申請で登録していたファイルは、そのまま関連付けて登録されている状態とする（事前相談の最終版を、事前協議第 1 版、それ以前のファイルを事前相談第 N 版で管理する）

※アップロードしたファイルは事前相談第 1～N 版のファイルとして版管理する。事前相談の最終版ファイルは事前協議第 1 版にコピーして次の申請段階に引き継いで管理する（参照コピーのみでファイルの実体はコピーしない）。それ以前のファイルはコピーはせず事前相談第 N 版のファイルとしてのみ管理する

- 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

33. 【FN032】 申請登録

- 機能概要

- 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、回答予定日数を記載する

- データ仕様

- データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細

- 申請が完了した旨をメールで通知する
- 申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに記載する
- 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
- 事前相談から区分を変更した場合、概況診断結果の Excel 帳票データを再作成し、事前相談時の概況診断結果とは別のファイルで申請時 ID に関連付けする
- 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
- 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する
※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「事前協議：未完（回答準備中）」となる
※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する
※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる

34. 【FN033】 同意項目合意登録

- 機能概要

- 行政が回答した開発行為における各種条件内容について、合意を登録する

- データ仕様

- データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細

- 行政が回答した開発行為における各種条件内容について、承認/否認を登録する。否認の場合、否認理由を登録する
- 全ての項目に対して承認/否認を必要とし、登録した段階でステータスが「事前協議：未完（協議進行中）」となる
- 回答のうち、「否認」の登録をした条項については、行政担当課へメール通知する。「承認」の登録をした条項については、全条項がそろうまで通知を行わない
- 回答のうち全項目が「承認」の時は、行政管理者へメール通知する

35. 【FN034】再申請

- 機能概要
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 申請ごとに、書類は版番号で管理する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 版番号がシステムで管理される
 - 版番号は事前相談・事前協議・公共施設管理者協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - 申請段階について、事前協議の内容が完了した段階で公共施設管理者協議申請が選択できるものとする
 - 申請段階について事前相談申請は選択できないものとする

36. 【FN035】事前協議同意書発行

- 機能概要
 - 合意が登録された項目を記載した事前協議同意書を発行する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 通知書類
 - 内容
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知する書類
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF114】を参照
- 機能詳細
 - 合意が登録された項目を記載した事前協議同意書を発行する
 - 出力形式は PDF とする
 - 発行日時と発行者をシステムに記録する
 - 事前協議同意書が発行された旨を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

37. 【FN113】申請者情報入力（追加分）

- 機能概要
 - 公共施設管理者協議申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 公共施設管理者協議申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は 20 種程度、SE で自由に設定項目を用意し、テキスト・数値・日付・選択肢型、入力桁

数制限、入力必須設定ができるようにする

- 事前協議で入力していた項目（氏名・メールアドレス・電話番号・住所・その他 10 種 SE 設定項目）は引継ぎし、氏名・メールアドレスは入力不可状態とする
- 入力項目の妥当性チェック（形式・文字数等）を行う
- 必須項目未入力時にエラーメッセージを表示する

38. 【FN114】 ファイルアップロード

- 機能概要
 - 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
- 機能詳細
 - 事前相談から区分を変更した場合、概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルの内容を自動変更する
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の 3 種類が設定可能）
 - 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG を想定）
 - 事前協議申請で登録していたファイルは、そのまま関連付けて登録されている状態とする（事前協議の最終版を、公共施設管理者協議第 1 版、それ以前のファイルを事前協議第 N 版で管理する）
※アップロードしたファイルは事前協議第 1～N 版のファイルとして版管理する。事前相談の最終版ファイルは公共施設管理者協議第 1 版にコピーして次の申請段階に引き継いで管理する（参照コピーのみでファイルの実体はコピーしない）。それ以前のファイルはコピーはせず事前協議第 N 版のファイルとしてのみ管理する
 - 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

39. 【FN115】 申請登録

- 機能概要
 - 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細

- 申請が完了した旨をメールで通知する
 - 申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに記載する
 - 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 事前相談から区分を変更した場合、概況診断結果の Excel 帳票データを再作成し、事前相談時の概況診断結果とは別のファイルで申請時 ID に関連付けする
 - 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する
- ※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「公共施設管理者協議：未完（回答準備中）」となる
- ※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する
- ※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる

40. 【FN116】 同意項目合意登録

- 機能概要
 - 行政が回答した開発行為における各種条件内容について、合意を登録する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 行政が回答した開発行為における各種条件内容について、承認/否認を登録する。否認の場合、否認理由を登録する
 - 全ての項目に対して承認/否認を必要とし、登録した段階でステータスが「公共施設管理者協議：未完（協議進行中）」となる
 - 回答のうち、「否認」の登録をした条項については、行政担当課へメール通知する。「承認」の登録をした条項については、全条項がそろそろまで通知を行わない
 - 回答のうち全項目が「承認」の時は、行政管理者へメール通知する

41. 【FN117】 再申請

- 機能概要
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 申請ごとに、書類は版番号で管理する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 版番号がシステムで管理される
 - 版番号は事前相談・事前協議・公共施設管理者協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - 申請段階について、公共施設管理者協議の内容が完了した段階で許可申請が選択できるものとする
 - 申請段階について事前相談申請・事前協議申請は選択できないものとする

42. 【FN118】 公共施設管理者協議同意書発行

- 機能概要
 - 合意が登録された項目を記載した公共施設管理者協議同意書出力する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 通知書類
 - 内容
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知する書類
 - データ詳細
 - ファイル出力インターフェース【IF114】を参照
- 機能詳細
 - 合意が登録された項目を記載した公共施設管理者協議同意書を発行する
 - 出力形式は PDF とする
 - 発行日時と発行者をシステムに記録する
 - 公共施設管理者協議同意書が発行された旨を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

43. 【FN036】 申請者情報入力（追加分）

- 機能概要
 - 許可申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は 20 種程度を設定可能とする
 - 申請区分は変更不可とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 許可申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は、事前相談・事前協議・公共施設管理者協議とは別の項目を 20 種程度、SE で自由に設定項目を用意し、テキスト・数値・日付・選択肢型、入力桁数制限、入力必須設定ができるようにする
 - 事前相談・事前協議・公共施設管理者協議で入力していた項目（氏名・メールアドレス・電話番号・住所・その他 10 種 SE 設定項目・事前協議時の項目 20 種程度）は引継ぎし、氏名・メールアドレスは入力不可状態とする
 - 申請区分は変更不可とする
 - 入力項目の妥当性チェック（形式・文字数等）を行う
 - 必須項目未入力時にエラーメッセージを表示する

44. 【FN037】 ファイルアップロード

- 機能概要
 - 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
- 機能詳細
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の3種類が設定可能）
 - 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWGを想定）
 - 事前相談・事前協議・公共施設管理者協議申請で登録していたファイルは、そのまま関連付けて登録されている状態とする
（事前相談の最終版を、事前協議第1版、それ以前のファイルを事前相談第N版で管理する）
 - アップロードしたファイルは事前相談第1～N版のファイルとして版管理する
 - 事前相談の最終版ファイルは事前協議第1版にコピーして次の申請段階に引き継いで管理する（参照コピーのみでファイルの実体はコピーしない）。それ以前のファイルはコピーはせず事前相談第N版のファイルとしてのみ管理する
 - 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

45. 【FN038】 申請ID付与

- 機能概要
 - 事前協議以前を本システムで実施していない場合、受付が完了した申請へ一意のIDを付与する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事前協議以前を本システムで実施していない場合、受付が完了した申請へ一意のIDを付与する
 - システムにて自動で付与し、既存申請と重複しないようシステムで一意性を保証する
 - システムにてID付与日時、対象申請を記録する

46. 【FN039】 申請登録

- 機能概要
 - 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請 ID と回答予定日数を記載する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請が完了した旨をメールで通知する
 - 申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに記載する
 - 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 概況診断結果の Excel 帳票データを再作成し、事前相談時の概況診断結果とは別のファイルで申請時 ID に関連付けする
 - 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する
 - ※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「許可判定：未完（回答準備中）」となる
 - ※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する
 - ※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる

47. 【FN040】 許可通知書発行

- 機能概要
 - 開発許可通知書を出力する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 通知書類
 - 内容
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知する書類
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF114】を参照
- 機能詳細
 - 許可通知書を発行する
 - 出力形式は PDF とする
 - 発行日時と発行者をシステムに記録する
 - 許可通知書が発行された旨を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

48. 【FN041】再申請

- 機能概要
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 申請ごとに、書類は版番号で管理する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 版番号がシステムで管理される
 - 版番号は事前相談・事前協議・公共施設管理者協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - 申請段階について事前相談申請・事前協議・公共施設管理者協議は選択できないものとする

49. 【FN042】申請者情報入力（追加分）

- 機能概要
 - 許可申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は 20 種程度を設定可能とする
 - 申請区分は変更不可とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 許可申請で新たに必要となる申請追加情報を入力する
 - 入力項目は、事前相談・事前協議・公共施設管理者協議とは別の項目を 20 種程度、SE で自由に設定項目を用意し、テキスト・数値・日付・選択肢型、入力桁数制限、入力必須設定ができるようにする
 - 事前相談・事前協議・公共施設管理者協議で入力していた項目（氏名・メールアドレス・電話番号・住所・その他 10 種 SE 設定項目・事前協議時の項目 20 種程度）は引継ぎし、氏名・メールアドレスは入力不可状態とする
 - 申請区分は変更不可とする
 - 入力項目の妥当性チェック（形式・文字数等）を行う
 - 必須項目未入力時にエラーメッセージを表示する

50. 【FN043】ファイルアップロード

- 機能概要
 - 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容

- 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
- データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
- 機能詳細
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の3種類が設定可能）
 - 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWGを想定）
 - 事前相談・事前協議・公共施設管理者協議申請で登録していたファイルは、そのまま関連付けて登録されている状態とする
（事前相談の最終版を、事前協議第1版、それ以前のファイルを事前相談第N版で管理する）
 - アップロードしたファイルは事前相談第1～N版のファイルとして版管理する
 - 事前相談の最終版ファイルは事前協議第1版にコピーして次の申請段階に引き継いで管理する（参照コピーのみでファイルの実体はコピーしない）。それ以前のファイルはコピーはせず事前相談第N版のファイルとしてのみ管理する
 - 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

51. 【FN044】申請登録

- 機能概要
 - 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、回答予定日数を記載する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請が完了した旨をメールで通知する
 - 申請時ID・パスワードと回答予定日数をメールに記載する
 - 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 概況診断結果のExcel帳票データを再作成し、事前相談時の概況診断結果とは別のファイルで申請時IDに関連付けする
 - 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する

※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「許可判定：未完（回答準備中）」となる

※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する

※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる

52. 【FN045】 許可通知書発行

- 機能概要
 - 開発許可通知書を発行する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 通知書類
 - 内容
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知する書類
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF114】を参照
- 機能詳細
 - 許可通知書を発行する
 - 出力形式は PDF とする
 - 発行日時と発行者をシステムに記録する
 - 許可通知書が発行された旨を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

53. 【FN046】 再申請

- 機能概要
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 申請ごとに、書類は版番号で管理する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 版番号がシステムで管理される
 - 版番号は事前相談・事前協議・公共施設管理者協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - 申請段階について事前相談申請・事前協議・公共施設管理者協議は選択できないものとする

54. 【FN047】 ファイルアップロード

- 機能概要
 - 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF002】を参照

- 機能詳細

- 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の3種類が設定可能）
- 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWGを想定）
- 事前相談・事前協議・公共施設管理者協議申請で登録していたファイルは、そのまま関連付けて登録されている状態とする
（事前相談の最終版を、事前協議第1版、それ以前のファイルを事前相談第N版で管理する）
- アップロードしたファイルは事前相談第1～N版のファイルとして版管理する
- 事前相談の最終版ファイルは事前協議第1版にコピーして次の申請段階に引き継いで管理する（参照コピーのみでファイルの実体はコピーしない）。それ以前のファイルはコピーはせず事前相談第N版のファイルとしてのみ管理する
- 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

55. 【FN048】届出登録

- 機能概要

- 届出が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、回答予定日数を記載する

- データ仕様

- データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細

- 届出が完了した旨を申請者及び行政担当者へシステム内通知及びメールで通知する
- 回答予定日数を記載する
- 通知日時、送信先、届出内容をシステムに記録する

56. 【FN049】再登録

- 機能概要

- 回答を踏まえて、届出条件及び添付書類を変更して再届出を行う
- 申請ごとに、書類は版番号で管理する

- データ仕様

- データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細

- 回答を踏まえて、届出条件及び添付書類を変更して再届出を行う
- 申請ごとに、書類は版番号で管理する
- 再登録のたびに連番で自動付与し、前版との関連を保持する
- 再届出日時、届出者、変更内容をシステムに記録する

57. 【FN050】 検査済証発行

- 機能概要
 - 検査済証を出力する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 通知書類
 - 内容
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知する書類
 - データ詳細
 - ファイル出力インターフェース【IF114】を参照
- 機能詳細
 - 検査済証を発行する
 - 出力形式は PDF とする
 - 発行日時と発行者をシステムに記録する
 - 検査済証が発行された旨を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

58. 【FN051】 申請者情報入力

- 機能概要
 - アカウントに紐づく情報以外に、10 項目程度を設定可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請者情報を入力する
 - 入力項目は氏名・メールアドレス・電話番号・住所とし、氏名・メールアドレスは必須入力とする
 - その他事前相談で判断するために必要な項目を 10 項目程度、SE 作業で設定できるようにする
 - 入力項目の妥当性チェック（形式・文字数等）を行う
 - 必須項目未入力時にエラーメッセージを表示する

59. 【FN052】 ファイルアップロード

- 機能概要
 - 法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インターフェース【IF002】を参照

- 機能詳細
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の3種類が設定可能）
 - 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWGを想定）
 - 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

60. 【FN053】 事前相談フロー確認

- 機能概要
 - 事前相談フロー（都道府県・市町村）のパターンを確認し、事業者へ通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事前相談フロー（都道府県・市町村）のパターンを確認する
＜表示内容＞
 - ◇ 相談フローのステップ
 - ◇ 必要書類
 - ◇ 申請時の留意点
 - ◇ 問合せ担当窓口
 - 確認したフローの内容を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

61. 【FN054】 申請 ID 付与

- 機能概要
 - 受付が完了した申請へ一意の ID を付与する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請時の ID・パスワードをランダムで生成・発行する
 - 申請 ID・パスワード発行直後、対象申請 ID のステータスを「事前相談：未回答」に切り替える
※「回答自動入力」の機能が設定されている場合、申請 ID・パスワード発行直後、対象申請 ID のステータスを「事前相談：未完（回答準備中）」に切り替える

62. 【FN055】 申請登録

- 機能概要
 - 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請 ID と回答予定日数を記載する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請が完了した旨をメールで通知する
 - 申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに記載する
 - 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 概況診断結果の Excel 帳票データを申請時 ID に関連付けする
 - 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する
 - ※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「事前相談：未完（回答準備中）」となる
 - ※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する
 - ※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる

63. 【FN056】 再申請

- 機能概要
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 申請ごとに、書類は版番号で管理する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 版番号がシステムで管理される
 - 版番号は事前相談・事前協議・公共施設管理者協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - 申請段階について事前相談申請・事前協議・公共施設管理者協議は選択できないものとする

64. 【FN057】 許可通知

- 機能概要
 - 建築許可の通知を受ける
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 通知書類
 - 内容
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知する書類

- データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF114】を参照
- 機能詳細
 - 建築許可を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

65. 【FN058】 申請者情報入力

- 機能概要
 - 申請者情報を入力する
 - 入力項目は氏名・メールアドレスを必須とし、10項目程度を設定可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請者情報を入力する
 - 入力項目は氏名・メールアドレス・電話番号・住所とし、氏名・メールアドレスは必須入力とする
 - その他事前相談で判断するために必要な項目を10項目程度、SE作業で設定できるようにする
 - 入力項目の妥当性チェック（形式・文字数等）を行う
 - 必須項目未入力時にエラーメッセージを表示する

66. 【FN059】 ファイルアップロード

- 機能概要
 - 提出ファイルをアップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 申請ファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF002】を参照
- 機能詳細
 - 概況診断結果に関連付けられている、法律・条項に該当する提出ファイルをアップロードする（提出ファイルの制約は、必須登録・登録されていないときに注意喚起の上、任意登録（注意文は任意設定可能）、任意登録の3種類が設定可能）
 - 登録可能なファイル拡張子は、申請ファイルで定義するファイルとする（PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWGを想定）
 - 不正なファイル形式や破損ファイルのアップロード時に警告を表示する

67. 【FN060】 申請登録

- 機能概要
 - 申請が完了した旨、申請者及び行政担当者へメールで通知する。その際、申請時 ID・パスワードと回答予定日数を記載する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請が完了した旨をメールで通知する。その際、申請時 ID・パスワードと回答予定日数をメールに記載する
 - 行政担当者に対しても、申請が行われた旨、各アカウントにメール通知する
 - 概況診断結果の Excel 帳票データを申請時 ID に関連付けする
 - 事業者に対し、行政担当者からの回答通知予定日を通知する
 - 申請情報に対し、あらかじめ設定した固定文言で自動回答登録する
 - ※この設定を行う場合は、事業者が申請完了した段階で、ステータスが「事前相談：未完（回答準備中）」となる
 - ※自動回答を行う対象の法律・条項は、システム構築時の設定作業において設定する
 - ※自動回答で登録された文言は、登録可能アカウントで内容の修正ができる

68. 【FN061】 再申請

- 機能概要
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 申請ごとに、書類は版番号で管理する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 回答を踏まえて、申請条件及び添付書類を変更して再申請を行う
 - 版番号がシステムで管理される
 - 版番号は事前相談・事前協議/公共施設管理者協議・許可申請で区別した内容でシステム管理される
 - 申請段階について事前相談申請・事前協議/公共施設管理者協議は選択できないものとする

69. 【FN062】 申請時ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル

- データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
- ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする

70. 【FN063】 回答情報入力（再申請に対応）

- 機能概要
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答入力の際、事業者が入力した情報（地番、申請区分）を引用できる
 - 回答入力の際、各条項で SE 作業により設定されている回答テンプレート文を引用できる
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「事前相談：未完（回答準備中）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
 - 申請情報に対し、回答に関連する画像データ（図での説明資料）をアップロードする
 - 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカー等で添削・修正箇所を Web 上で追記できる
 - 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
 - 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ（所管）・ユーザー名で管理する
 - 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
 - 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容

- 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
- データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
- ◇ 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイルデータ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF004】を参照

71. 【FN064】 回答完了

- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを「事前相談：未完（回答精査中）」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

72. 【FN065】 自治体間情報連携

- 機能概要
 - 都道府県・市町村間で連携が必要なデータが存在する場合、審査完了時点でデータを連携する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 都道府県・市町村間で連携が必要なデータが存在する場合、審査完了時点でデータを連携する
 - API 連携またはファイル連携（CSV/XML）でファイル連携を実施する
 - 連携失敗時は管理者へ通知し、再送信できる仕組みを提供する
 - 連携日時、対象データ、送信先を記録する
 - データ連携成功/失敗のログを保存し、履歴参照できるようにする

73. 【FN066】 回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様

- ◇ 出力帳票ファイル
 - 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「事前相談：完了」に自動変更する
 - 回答項目に「要再申請」の項目が 1 つでもある場合、事業者に対し再申請が必要な旨をメール通知し、対象申請 ID のステータスを「事前相談：未完（要再申請）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

74. 【FN068】申請時ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
 - ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照

75. 【FN069】 回答情報入力（再申請に対応）

- 機能概要
 - 申請情報に対し、同意書に印字する
 - 回答を記載する回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - 公共施設管理者協議の必要有無について、登録できる
 - 事業者が合意するまで修正できる
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請情報に対し、同意書に印字する回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「事前協議：未完（回答準備中）」自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
 - 申請情報に対し、回答に関連する画像データ（図での説明資料）をアップロードする
 - 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカー等で添削・修正箇所を Web 上で追記できる
 - 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
 - 公共施設管理者協議の必要有無について、登録できる
 - 公共施設管理者協議が必要な場合、公共施設管理者協議同意書に印字する記載文を登録する
 - 各条項の初回回答登録時に、回答のステータスを「承認待ち」に自動変更する
 - 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ（所管）・ユーザー名で管理する
 - 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
 - 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
 - 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
 - ◇ 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイルデータ詳細

- ファイル入力インターフェース【IF004】を参照

76. 【FN070】 回答完了

- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを「事前協議：未完（回答精査中）」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

77. 【FN071】 回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「事前協議：未完（協議進行中）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

78. 【FN072】 事前協議合意登録

- 機能概要
 - 事前協議の登録内容に対し、事業者が合意回答をした場合、対象の条項に対し、行政同意日を登録する
 - 事前協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータが入力された Excel データをダウンロードし、修正後、PDF 形式で、アップロードする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
 - データ詳細

- ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
- ◇ 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイルデータ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF004】を参照
- 出力
 - ◇ 出力帳票ファイル
 - 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - 事前協議の登録内容に対し、事業者が承認回答をした場合、対象の条項に対し、行政同意日を登録する
 - 全ての条項の同意日登録完了後、対象申請 ID のステータスを「事前協議：未完（協議進行中）」のまま、全ての条項の回答ステータスが「同意済み」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 行政担当者：管理アカウントで、事前協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータが入力された Excel データをダウンロードする（Excel データに印字されている内容は、担当課ごとにグルーピングされた状態とする）
 - 事前協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータを行政担当者が Office 製品で修正・PDF データに変換し、本システムにアップロードする

79. 【FN073】事前協議合意時再回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを通知済みの回答の行政確定ステータスから、「事前協議：未完（協議進行中）」又は、「事前協議：未完（要再申請）」、「事前協議：完了」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

80. 【FN119】申請時ファイルダウンロード

- 機能概要

- 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
 - ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする

81. 【FN120】 回答情報入力（再申請に対応）

- 機能概要
 - 申請情報に対し、同意書に印字する回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - 公共施設管理者協議の必要有無について、登録できる
 - 事業者が合意するまで修正できる
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
 - ◇ 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイルデータ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF004】を参照
- 機能詳細
 - 申請情報に対し、同意書に印字する回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする

- 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「公共施設管理者協議：未完（回答準備中）」自動変更する
- 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
- 申請情報に対し、回答に関連する画像データ（図での説明資料）をアップロードする
- 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカー等で添削・修正箇所を Web 上で追記できる
- 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
- 公共施設管理者協議の必要有無について、登録できる
- 公共施設管理者協議が必要な場合、公共施設管理者協議同意書に印字する記載文を登録する
- 各条項の初回答登録時に、回答のステータスを「承認待ち」に自動変更する
- 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ（所管）・ユーザー名で管理する
- 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
- 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる

82. 【FN121】 回答完了

- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを「公共施設管理者協議：未完（回答精査中）」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

83. 【FN122】 回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「公共施設管理者協議：未完（協議進行中）」に自動変更

する

- 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

84. 【FN123】 公共施設管理者協議合意登録

● 機能概要

- 公共施設管理者協議の登録内容に対し、事業者が合意回答をした場合、対象の条項に対し、行政同意日を登録する
- 公共施設管理者協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータが入力された Excel データをダウンロードし、修正後、PDF 形式で、アップロードする

● データ仕様

- 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
 - ◇ 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイルデータ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF004】を参照
- 出力
 - ◇ 出力帳票ファイル
 - 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF110】を参照

● 機能詳細

- 公共施設管理者協議の登録内容に対し、事業者が承認回答をした場合、対象の条項に対し、行政同意日を登録する
- 全ての条項の同意日登録完了後、対象申請 ID のステータスを「公共施設管理者協議：未完（協議進行中）」のまま、全ての条項の回答ステータスが「同意済み」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
- 行政担当者：管理アカウントで、公共施設管理者協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータが入力された Excel データをダウンロードする（Excel データに印字されている内容は、担当課ごとにグルーピングされた状態とする）
- 公共施設管理者協議同意書、その他同意時に通知する様式のデータを行政担当者が Office 製品で修

正・PDF データに変換し、本システムにアップロードする

85. 【FN124】 公共施設管理者協議合意時再回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを通知済みの回答の行政確定ステータスから、「公共施設管理者協議：未完（協議進行中）」又は、「公共施設管理者協議：未完（要再申請）」、「公共施設管理者協議：完了」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

86. 【FN075】 申請情報取得機能

- 機能概要
 - 自治体個別システムから申請情報を取得し、申請 ID を付与する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 自治体個別システムから申請情報を取得する
 - 取得した申請情報にシステムで申請 ID を付与する
 - 取得日時、取得元、取得件数、申請 ID を記録する

87. 【FN076】 申請時ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
 - ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル

- データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする

88. 【FN077】 決済情報確認

- 機能概要
 - 開発手数料の決済情報を確認又は登録する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 開発手数料の決済情報を確認する
 - <確認事項>
 - ◇ 決済日時
 - ◇ 決済者
 - ◇ 決済金額
 - ◇ 決済手段
 - ◇ 決済ステータス
 - 必要に応じて決済情報をシステムに登録する
 - 確認日時、登録者、登録内容を記録する

89. 【FN078】 回答情報入力（再申請に対応）

- 機能概要
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
 - ◇ 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイルデータ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF004】を参照

- 機能詳細

- 申請情報に対し、回答を記載する
- 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答準備中）」に自動変更する
- 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
- 申請情報に対し、回答に関連する画像データ（図での説明資料）をアップロードする
- 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカー等で添削・修正箇所を Web 上で追記できる
- 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
- 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ（所管）・ユーザー名で管理する
- 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
- 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる

90. 【FN079】 回答完了

- 機能概要

- 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する

- データ仕様

- データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細

- 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答精査中）」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
- 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

91. 【FN080】 回答通知

- 機能概要

- 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- 許可申請の回答に対して事業者から問合せがあった場合にチャット形式で返答する

- データ仕様

- データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定

- 機能詳細

- 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：完了」に自動変更する

- 回答項目に「要再申請」の項目が 1 つでもある場合、事業者に対し再申請が必要な旨をメール通知し、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（要再申請）」に自動変更する
- 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

92. 【FN082】 許可完了時添付ファイル整理

- 機能概要
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を、以下のパターンで集約しファイル管理する
 - 全ての申請提出資料をまとめたフォルダ
 - 全資料の最終版資料をまとめたフォルダ
 - 開発登録簿として公開するフォルダ
（開発登録簿頭紙 PDF ファイル+土地利用計画図 PDF ファイル）
 - 上記 3 パターンのフォルダは ZIP ファイルとしてダウンロードが可能

93. 【FN083】 申請時ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
 - ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする

94. 【FN084】 回答情報入力（再申請に対応）

- 機能概要
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答準備中）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
 - 申請情報に対し、回答に関連する画像データ（図での説明資料）をアップロードする
 - 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカー等で添削・修正箇所を Web 上で追記できる
 - 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
 - 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ（所管）・ユーザー名で管理する
 - 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
 - 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
 - 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる

95. 【FN085】 回答完了

- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答精査中）」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

96. 【FN086】 回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様
 - ◇ 出力帳票ファイル
 - 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：完了」に自動変更する
 - 回答項目に「要再申請」の項目が 1 つでもある場合、事業者に対し再申請が必要な旨をメール通知し、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（要再申請）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

97. 【FN088】 許可完了時添付ファイル整理

- 機能概要
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を、以下のパターンで集約しファイル管理する
 - 全ての申請提出資料をまとめたフォルダ
 - 全資料の最終版資料をまとめたフォルダ
 - 開発登録簿として公開するフォルダ
(開発登録簿頭紙 PDF ファイル+土地利用計画図 PDF ファイル)
 - 上記 3 パターンのフォルダは ZIP ファイルとしてダウンロードが可能

98. 【FN089】 申請時ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル

- 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
- データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
- ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする

99. 【FN090】 回答情報入力（再申請に対応）

- 機能概要
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答準備中）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
 - 申請情報に対し、回答に関連する画像データ（図での説明資料）をアップロードする
 - 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカー等で添削・修正箇所を Web 上で追記できる
 - 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
 - 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ（所管）・ユーザー名で管理する
 - 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
 - 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
 - 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる

100. 【FN091】 回答完了

- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答精査中）」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

101. 【FN092】 回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様
 - ◇ 出力帳票ファイル
 - 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：完了」に自動変更する
 - 回答項目に「要再申請」の項目が 1 つでもある場合、事業者に対し再申請が必要な旨をメール通知し、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（要再申請）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

102. 【FN094】 審査完了時添付ファイル整理

- 機能概要
 - 検査完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 審査完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を、以下のパターンで集約しファイル管理する

- 全ての申請提出資料をまとめたフォルダ
- 全資料の最終版資料をまとめたフォルダ
- 開発登録簿として公開するフォルダ
(開発登録簿頭紙 PDF ファイル+土地利用計画図 PDF ファイル)
- 上記 3 パターンのフォルダは ZIP ファイルとしてダウンロードが可能

103. 【FN095】 申請情報取得機能

- 機能概要
 - 自治体個別システムから申請情報を取得する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 自治体個別システムから申請情報を取得する
 - 取得した申請情報にシステムで申請 ID を付与する
 - 取得日時、取得元、取得件数、申請 ID を記録する

104. 【FN096】 申請時ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
 - ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照
- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする

105. 【FN097】 決済情報確認

- 機能概要
 - 開発手数料の決済情報を確認又は登録する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 開発手数料の決済情報を確認する
 - <確認事項>
 - ◇ 決済日時
 - ◇ 決済者
 - ◇ 決済金額
 - ◇ 決済手段
 - ◇ 決済ステータス
 - 必要に応じて決済情報をシステムに登録する
 - 確認日時、登録者、登録内容を記録する

106. 【FN098】 回答情報入力（再申請に対応）

- 機能概要
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
- データ仕様
 - 入力
 - ◇ 回答ファイル
 - 内容
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル
 - データ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF003】を参照
 - ◇ 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）
 - 内容
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイルデータ詳細
 - ファイル入力インタフェース【IF004】を参照
- 機能詳細
 - 申請情報に対し、回答を記載する
 - 回答は、ログイン時アカウントに関連付けられた対象の法律・条項のみ、登録可能なものとする
 - 回答登録完了後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答準備中）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」と「回答対象の法律・条項」の関連付けは、システム構築時に設定する
 - 申請情報に対し、回答に関連する画像データ（図での説明資料）をアップロードする

- 事業者が登録したファイルを引用し、赤字・枠線・マーカー等で添削・修正箇所を Web 上で追記できる
- 登録可能なファイルは PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイルのみとする
※PDF ファイル、TIFF ファイルは編集時 PNG に変換して登録する
- 行政担当者の回答の際は、回答アカウントを内部保持し、誰がいつ回答したかを検索・管理できるようにする。その際、ログインアカウントは、グループ（所管）・ユーザー名で管理する
- 回答入力一覧で、ヘッダダブルクリックにより昇降並び替えができる
- 回答入力一覧で、入力管理する項目のみに絞込みができる
- 前回以前に回答した事前相談・事前協議の内容を参照できる

107. 【FN099】 回答完了

- 機能概要
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対してメール通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - 対象申請 ID の回答項目について、各アカウントでの回答が完了した場合、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（回答精査中）」に自動変更し、行政担当者：管理アカウント（通知アカウント）に対して申請情報への全回答が完了したことをメール通知する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

108. 【FN100】 回答通知

- 機能概要
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
- データ仕様
 - 出力帳票ファイル
 - ◇ 内容
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票ファイル
 - ◇ データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - 事業者に対し、回答が完了した旨をメール通知する
 - 回答通知後、対象申請 ID のステータスを「許可判定：完了」に自動変更する
 - 回答項目に「要再申請」の項目が 1 つでもある場合、事業者に対し再申請が必要な旨をメール通知し、対象申請 ID のステータスを「許可判定：未完（要再申請）」に自動変更する
 - 「ログイン時アカウント」について、管理アカウント（通知アカウント）はシステム構築時に設定する

る

109. 【FN102】 許可完了時添付ファイル整理

- 機能概要
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を集約しファイル管理、ダウンロードが可能とする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 最終提出書類一式ファイル
 - 内容
 - 事業者が提出した資料、システムで自動生成した帳票をまとめたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF113】を参照
- 機能詳細
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を、以下のパターンで集約しファイル管理する
 - 全ての申請提出資料をまとめたフォルダ
 - 全資料の最終版資料をまとめたフォルダ
 - 開発登録簿として公開するフォルダ
（開発登録簿頭紙 PDF ファイル+土地利用計画図 PDF ファイル）
 - 上記3パターンのフォルダは ZIP ファイルとしてダウンロードが可能

110. 【FN103】 申請時ファイルダウンロード

- 機能概要
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 事業者によるアップロードファイル
 - 内容
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF102】を参照
 - ◇ 問合せ添付ファイル
 - 内容
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF106】を参照

- 機能詳細
 - 申請時に登録されたファイルをダウンロードする
 - 個別ファイルのダウンロードのほか、一括で全ファイルをダウンロード可能とする

111. 【FN104】 決済情報確認

- 機能概要
 - 開発手数料の決済情報を確認又は登録する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 開発手数料の決済情報を確認する
 - <確認事項>
 - ◇ 決済日時
 - ◇ 決済者
 - ◇ 決済金額
 - ◇ 決済手段
 - ◇ 決済ステータス
 - 必要に応じて決済情報をシステムに登録する
 - 確認日時、登録者、登録内容を記録する

112. 【FN105】 写しの交付通知

- 機能概要
 - 開発登録簿写しの交付許可を通知する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 通知書類ファイル
 - 内容
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知するファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF110】を参照
- 機能詳細
 - 開発登録簿写しの交付許可を発行する
 - 出力形式は PDF とする
 - 発行日時と発行者をシステムに記録する
 - 開発登録簿写しが交付された旨を事業者へシステム内通知及びメールにて通知する

113. 【FN303】 開発登録簿作成

- 機能概要
 - 承認した開発許可申請の開発登録簿を閲覧する
- データ仕様
 - 出力
 - ◇ 開発登録簿の写しファイル
 - 内容
 - 開発許可情報が印字された頭・ファイル
 - データ詳細
 - ファイル出力インタフェース【IF115】を参照
- 機能詳細
 - 承認した開発許可申請の開発登録簿を表示する

114. 【FN106】 アクセスログ管理

- 機能概要
 - システムへのアクセスログを記録する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - システムへのアクセスログを記録する
 - <記録内容>
 - ◇ ユーザーID
 - ◇ アクセス日時
 - ◇ アクセス対象画面／機能
 - ◇ 操作内容
 - 一定期間保持後、削除またはアーカイブする

115. 【FN107】 処理ログ管理

- 機能概要
 - 処理の開始や終了を通知する処理ログファイルを出力し、正常終了、異常終了を判別可能とする。また、異常終了の際はどの処理でエラーとなったのか判別可能とする
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 処理の開始や終了を通知する処理ログファイルを出力する
 - 出力ファイル形式はテキストまたは CSV とする
 - 正常終了、異常終了を判別可能とする
 - 異常終了の際はどの処理でエラーとなったのか判別可能とする

116. 【FN108】 モニタリング

- 機能概要
 - データ連携処理の実行状況（実行プログラム、実行日時、ステータス（実行中、正常完了、異常終了））を照会する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - データ連携処理の実行状況を照会する
 - <照会内容>
 - ◇ 実行プログラム
 - ◇ 実行日時
 - ◇ ステータス（実行中、正常完了、異常終了）
 - 過去実行履歴を一定期間保持する

117. 【FN109】 保存期間超過情報削除

- 機能概要
 - 保存期間を超過した情報を物理削除する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 保存期間を超過した情報を物理削除する
 - <対象情報>
 - ◇ アクセスログ
 - ◇ 処理ログ
 - ◇ 申請データ
 - ◇ 添付ファイル

118. 【FN110】 エラー通知

- 機能概要
 - エラーが検出された場合に通知する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する想定
- 機能詳細
 - エラーが検出された場合にシステム内及びメールで通知する
 - <通知内容>
 - ◇ エラー発生日時
 - ◇ 処理名
 - ◇ エラー内容

119. 【FN111】 データ加工、分析機能

- 機能概要
 - 一般的な演算子（ +,=,>,!=他、各種演算を表わす記号・シンボル ）及び 一般的に流通している表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアで用いられる関数を用いて、データを分析・加工する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 一般的な演算子（ +,=,>,!=他、各種演算を表わす記号・シンボル ）及び 一般的に流通している表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアで用いられる関数を用いてデータを分析・加工する
<分析対象データ>
 - ◇ 申請情報
 - ◇ 届出情報
 - ◇ 回答情報
 - ◇ 決済情報
 - 実行日時、実行者、使用した処理や関数を記録する

120. 【FN201】 申請区分判定

- 機能概要
 - 「申請区分選択で選択した申請区分」が、対象の法律・条項に関する申請要件と該当したとき、事業者以案内すべき内容を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請区分選択で選択した申請区分」が、対象の法律・条項に関する申請要件と該当したとき、事業者以案内すべき内容を表示する

121. 【FN202】 図形重なり時判定

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者以案内すべき内容を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者以案内すべき内容を表示する
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、GIS データであり、ポイントまたはポリラインまたはポリゴン形式の図形と、属性情報から構成される

- 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、構成される属性の値により対象の図形を限定することができる

122. 【FN203】 図形“非”重なり時判定

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者以案内すべき内容を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者以案内すべき内容を表示する
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、GIS データであり、ポイントまたはポリラインまたはポリゴン形式の図形と、属性情報から構成される
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、構成される属性の値により対象の図形を限定することができる

123. 【FN204】 図形+バッファ重なり時判定

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者以案内すべき内容を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、事業者以案内すべき内容を表示する
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、GIS データであり、ポイントまたはポリラインまたはポリゴン形式の図形と、属性情報から構成される
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、構成される属性の値により対象の図形を限定することができる

124. 【FN205】 図形+バッファ“非”重なり時判定

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」 + 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者以案内すべき内容を表示する

- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部も重ならなかったとき、事業者以案内すべき内容を表示する
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、GIS データであり、ポイントまたはポリラインまたはポリゴン形式の図形と、属性情報から構成される
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」は、構成される属性の値により対象の図形を限定することができる

125. 【FN206】 図形条件の複数組み合わせ判定

- 機能概要
 - FN202~FN205 の空間解析結果を複数組み合わせた空間解析を行い、設定条件に該当したとき、事業者以案内すべき内容を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - FN202~FN205 の空間解析結果を複数組み合わせた空間解析を行い、設定条件に該当したとき、事業者以案内すべき内容を表示する
 - 条件 A かつ条件 B (AND 条件)、条件 A もしくは条件 B (OR 条件) が設定できるものとする
 - 対象データの量と複雑さにより複数組み合わせの処理には演算時間が必要となるため、本機能の使用にあたってはレスポンスに注意する
 - 上記の AND/OR 条件を組み合わせることで「(条件 A AND 条件 B) OR (条件 C AND 条件 D)」 「(条件 A OR 条件 B) AND 条件 C」等、複数条件の論理式を用いた判定条件を設定できるものとする

126. 【FN207】 図形重なり時の属性表示

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する

127. 【FN208】 図形+バッファ重なり時の属性表示

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ+バッファ XX m」の空間解析を行い、空間データが一部でも重なったとき、「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の属性情報を表示する

128. 【FN209】 図形からの距離測定機能

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、「申請範囲選択で選択した申請範囲」から一番近い「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の距離を表示する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」+「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の空間解析を行い、「申請範囲選択で選択した申請範囲」から一番近い「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」の距離を表示する

129. 【FN210】 判定結果の図形表示

- 機能概要
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」を、概況把握・診断の表示結果行をクリックすることで表示切替える
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 「対象の法律・条項に関する開発許可申請判定データ」を、概況把握・診断の表示結果行をクリックすることで表示切替える

130. 【FN211】 前面道路判定

- 機能概要
 - 「申請範囲選択で選択した申請範囲」に隣接する道路を判定する。複数道路に面する場合がある
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 都市計画法第 33 条第 1 項第 2 号に基づき、開発許可申請地に接する区域外の既存道路において幅員が十分確保された道路に接続する設計となっているかを判定するため、申請範囲に隣接する道路の有無・道路幅員を自動案内する。
 - 申請範囲選択で選択した申請範囲に隣接する道路の有無を判定する
 - 接する道路がある場合、概況診断結果とともに案内文言を表示する。FN212、FN213 についても併せて実行し、結果を案内する
 - 複数の道路に接する場合、複数行に分けて案内文言を表示する

131. 【FN212】 道路幅員表示

- 機能概要
 - 道路の幅員を表示・案内する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 申請地番に接する道路の道路部・車道部の最大・最小幅員を案内・表示する
 - 最大・最小幅員は道路との重なりで取得される区割り線レイヤの持つ幅員値から算出する

132. 【FN213】 隣接歩道判定

- 機能概要
 - 隣接歩道の有無を表示・案内する
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する
- 機能詳細
 - 前面道路に対して、隣接歩道の有無を判定し、結果を案内する
 - 隣接歩道と申請地番+バッファの重なる領域をレイヤ表示する

133. 【FN214】 判定結果複数表示

- 機能概要
 - 判定結果が複数該当した際、判定結果の行を分けて表示する（用途地域がまたがる、前面道路が複数該当するなど）
- データ仕様
 - データ仕様はシステム構築時に設計を実施する

- 機能詳細
 - 判定結果で複数の判定レイヤフィーチャが該当した際、判定結果の行を分けて表示する
 - 概況診断結果で判定レイヤを表示する際に、選択行のフィーチャのみをハイライト表示する

5-3. アルゴリズム

5-3-1. 利用推奨アルゴリズム

本要件定義資料の記載内容を満たすために必要なアルゴリズムについて、本ユースケースにて検討した一例を以下に示す。

表 5-6 利用したアルゴリズム一覧

ID	アルゴリズムを利用した機能	名称	説明	選定理由
AL001	FN022	概況把握・診断 (1/2)	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請地選択後に、フロントエンドからバックエンドに選択済み申請区分 DTO^{※1}と申請地 DTO^{※2}を用いて API リクエストを実施 ● バックエンドで概況診断を実行（概況診断処理の詳細は次ページ以降に記載） ● 診断完了後に概況診断結果 DTO^{※3}を生成し一覧をフロントエンドに返却し表示 <p>※1:選択済みの申請区分 DTO を保持したオブジェクト ※2:選択済みの地番 DTO を保持したオブジェクト ※3:区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム
AL002	FN022、 FN201～ FN214	概況把握・診断 (2/2)	<ul style="list-style-type: none"> ● DB から区分判定項目一覧を取得し、全ての区分判定項目に対して以下の①～④を繰り返し実施 ① 申請区分判定有無をチェックし、有効の場合項目 1～項目 10 のカラムを順次チェックし各項目の申請区分判定を実施 ② 図形判定有無をチェックし、有効の場合図形判定を実施 ③ 申請区分判定結果と図形判定結果を結合し、該当・非該当を判定。該当時又は非該当表示有効かつ非該當時に概況診断結果 DTO に判定項目を追加 ④ 繰り返し処理終了後、生成した概況診断結果 DTO^{※1}の一覧を返却 <p>※1:区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクトひとつと固まりのオブジェクトが 1 つの概況診断結果に対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム

AL003	FN202、 FN203、 FN204、 FN205	概況把握・診断 (図形判定の処 理概要)	<ul style="list-style-type: none"> ● 図形判定は GIS 判定カラムの値が 0 以外の区分判定に対して実施 ● GIS 判定カラムの値に応じた図形判定処理の概要は AL004~AL007 を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム
AL004	FN202	概況把握・診断 (図形重なり時 判定)	<ul style="list-style-type: none"> ● GIS 判定カラムの値が「1」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形重なり時判定（以下、①~③の処理）を実施 ① PostGIS の ST_Intersects 関数^{*1}で SQL 条件句を生成し、地番と重なる判定対象レイヤの地物を取得 ② 地番と重なる地物が 1 件以上取得された場合、「該当」と判定 ③ 地番と重なる地物が 1 件も取得できない場合、「非該当」と判定 <p><small>※1:ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム
AL005	FN203	概況把握・診断 (図形“非”重なり 時判定)	<ul style="list-style-type: none"> ● GIS 判定カラムの値が「2」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形“非”重なり時判定（以下、①~③の処理）を実施 ① PostGIS の ST_Intersects 関数^{*1}で SQL 条件句を生成し、地番と重なる判定対象レイヤの地物を取得 ② 地番と重なる地物が 1 件も取得できない場合、「該当」と判定 ③ 地番と重なる地物が 1 件以上取得された場合、「非該当」と判定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム
AL006	FN204	概況把握・診断 (図形+バッファ 重なり時判 定)	<ul style="list-style-type: none"> ● GIS 判定カラムの値が「3」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形+バッファ重なり時判定（以下、①~④の処理）を実施 ① PostGIS の ST_Buffer 関数^{*1}で地番バッファを生成（バッファ値は対象の区分判定項目のバッファカラムの値を参照） ② PostGIS の ST_Intersects 関数^{*2}で生成した SQL 条件句をもとに、地番+地番バッファと重なる判定対象レイヤの地物を取得 ③ 地番+地番バッファと重なる地物が 1 件以上取得された場合、「該当」と判定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム

			<p>④ 地番+地番バッファと重なる地物が1件も取得できない場合、「非該当」と判定</p> <p><u>バッファ設定の考え方</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 規定により定められている <p>例) 対象地から 60m 以内に消火栓があるか→60m バッファ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● GIS データの精度が不足している場合、加算する <p>例) 河川法、18m の保全区域の判定→30m バッファ</p> <p>※1:指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数 ※2:ジオメトリ同士が 空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数</p>	
AL007	FN205	概況把握・診断 (図形+バッファ“非”重なり時判定)	<ul style="list-style-type: none"> ● GIS 判定カラムの値が「4」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形+バッファ ● “非重なり時判定 (以下、①～④の処理) を実施 <p>① PostGIS の ST_Buffer 関数^{※1} で地番バッファを生成 (バッファ値は対象の区分判定項目のバッファカラムの値を参照)</p> <p>② PostGIS の ST_Intersects 関数^{※2} で生成した SQL 条件句をもとに、地番+地番バッファと重なる判定対象レイヤの地物を取得</p> <p>③ 地番+地番バッファと重なる地物が1件も取得できない場合、「該当」と判定</p> <p>④ 地番+地番バッファと重なる地物が1件以上取得された場合、「非該当」と判定</p> <p>※1:指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数 ※2:ジオメトリ同士が 空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム
AL008	FN207、FN208	概況把握・診断 (重なり判定時における属性表示)	<ul style="list-style-type: none"> ● 図形重なり時判定又は図形+バッファ重なり時判定が該当かつ区分判定属性表示フラグが有効 (2 又は 1) の場合、属性表示処理を実施 ● 判定対象レイヤの属性情報で概況診断結果文言の DB 値を置換し、属性表示を含めた文言を生成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム

AL009	FN209	概況把握・診断 (図形からの距離測定機能)	<ul style="list-style-type: none"> ① 図形判定該当時に判定対象レイヤと申請地番一覧のジオメトリをそれぞれ ST_Union 関数^{※1}で集約 ② ST_Distance 関数^{※2}で集約したジオメトリ同士を比較 ③ 距離を算出し最短距離^{※3}を更新 <ul style="list-style-type: none"> ● 重なっている場合、距離測定(上記①～③の処理)は行わず「申請地範囲内」とした固定文字列で最短距離を更新 <p>※1:対象のジオメトリを結合したジオメトリを返す処理関数 ※2:ジオメトリ同士の最小デカルト距離を返す空間関係関数 ※3:複数地番を選択した場合は、判定図形から最も近い地番までの距離</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度開発で実装したアルゴリズム
AL010	FN211 FN212 FN213	概況把握・診断 (前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請地番一覧にバッファを付加し、道路 LOD2 データ(区画が「道路」のデータが対象)から重なる地物を取得する ● 1 件以上取得された場合「該当」、1 件も取得できなかった場合「非該当」と判定する <ul style="list-style-type: none"> ① 「該当」の場合、取得した道路 LOD2 の幅員値を使用し、申請地番一覧にバッファ+道路 LOD2 幅員値/2 を付加し、重なる距離が最も長い道路中心線の地物を取得。取得できない場合、申請地番フィーチャの重心位置から最近接の道路中心線を取得 ② 申請地番一覧にバッファを付加し、重なる区割り線フィーチャを取得 ③ 最近接となる道路中心線の位置を特定するため、申請地番一覧の重心位置を取得し、重心位置から最も近い道路中心線座標を取得 ④ 近接となる道路中心線の位置から、正の方向・負の方向それぞれに探索を行い、取得された区割り線フィーチャが存在するか判定 ⑤ それぞれの方向に区割り線フィーチャが存在しない場合、その方向の延長に探索を行い、最近接の区割り線を取得 ⑥ 取得したそれぞれの区割り線にひも付いて設定されている道路幅員(側溝含む)・車道幅員(側溝除く)の値を取得し、地物の幅員について、最 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023 年度開発で実装したアルゴリズム

			<p>大・最小となる幅員値、その幅員値に関連付けられている区割り線を取得</p> <p>⑦ 取得した道路 LOD2 データと道路コードが共通で区分が「歩道」のデータが道路 LOD2 データに存在するか否かをチェックし、その結果をもって隣接する歩道の有無を判定。隣接する歩道が取得される場合そのオブジェクト ID を取得</p> <p>⑧ ①～⑧の結果をもとに表示文言とレイヤ表示設定</p> <p>⑨ ①～⑨を取得した道路 LOD2 データの個数分繰り返し返す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断結果表示時に判定結果として区割り線取得結果、隣接歩道有無、道路幅員値、道路幅員値による案内文言を案内し、該当箇所の区割り線図形（最大・最小幅員該当図形を強調）と地番バッファと重なる隣接歩道、区割り線の幅員値をハイライト表示する 	
AL011	FN214	概況把握・診断 (判定結果複数表示)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断実行の重なり属性表示処理の中で、重なり属性タイプのチェックを実施する ● 重なり属性タイプが 3 の場合、重なる地物ごとに 3. の処理を実施する ● (重なり属性タイプが 3 の場合) 地物の属性値を取得し概況診断結果文言を生成、地物 ID を取得し判定レイヤ表示で用いるクエリを組み立て。最後に概況診断結果にデータを追加する ● 重なり属性タイプが 1 又は 2 の場合、各重なり地物の属性値を順に概況診断結果文言に付加する (3-1-1.利用するアルゴリズム 【AL008】に記載の処理) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023 年度開発で実装したアルゴリズム

1) 【AL001】概況把握・診断 (1/2)

- イメージ

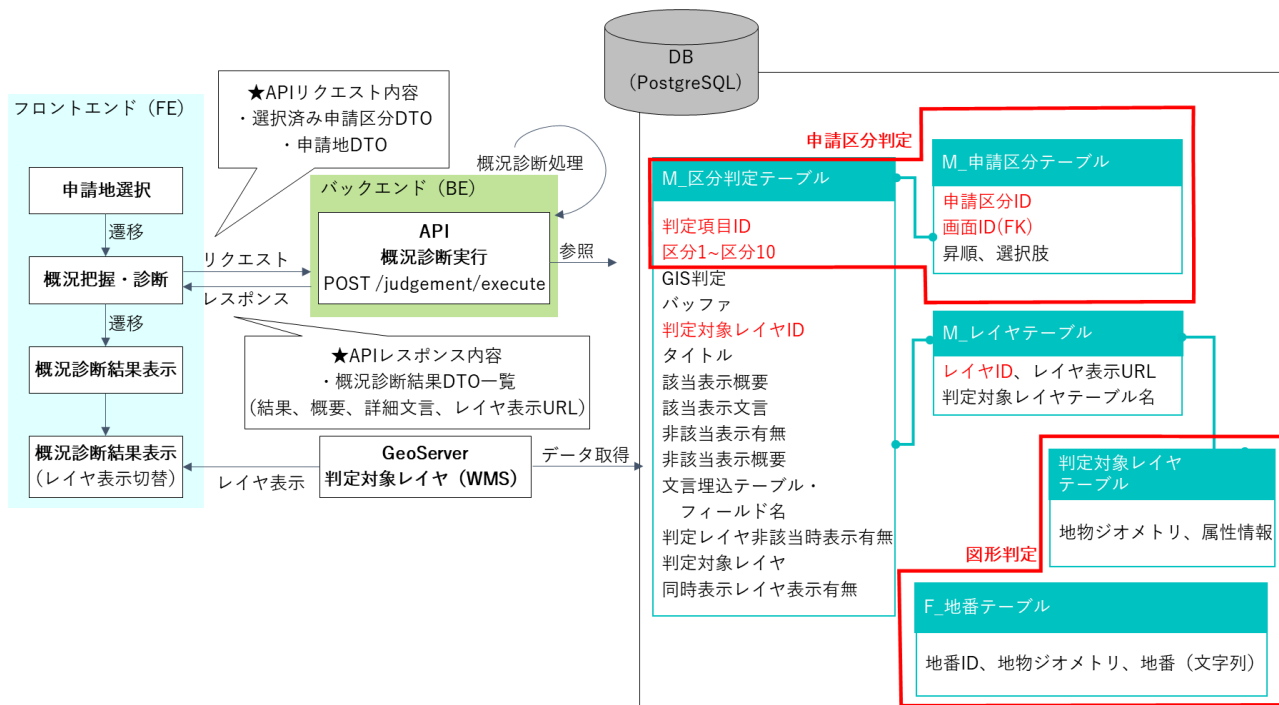


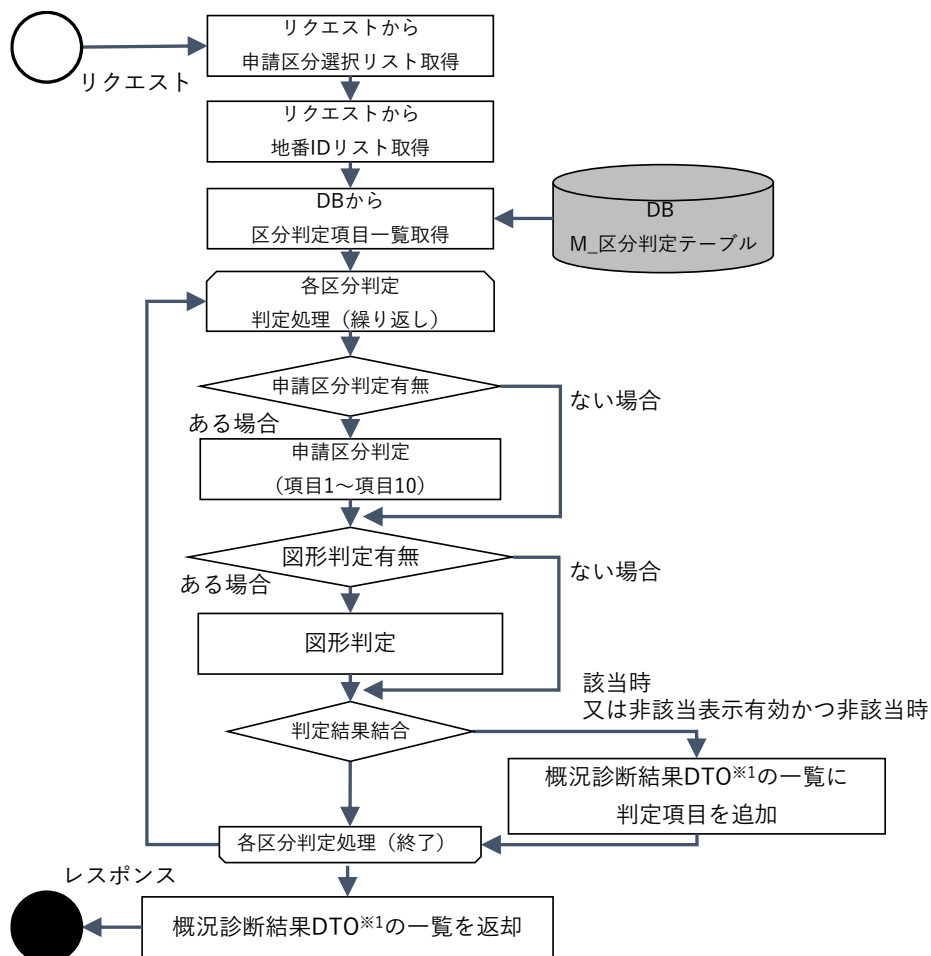
図 5-6 概況把握・診断モジュール構成・処理シーケンス概要

表 5-7 概況把握・診断 (1/2) 各処理詳細説明

処理名	説明
概況診断実行リクエスト	申請地選択後に、フロントエンドからバックエンドに選択済み申請区分 DTO※1 と申請地 DTO※2 を用いて API リクエストを実施 ※1:選択済みの申請区分 DTO を保持したオブジェクト ※2:選択済みの地番 DTO を保持したオブジェクト
概況診断実行	バックエンドで概況診断を実行 (概況診断処理の詳細は AL002 に記載)
概況診断結果表示	診断完了後に概況診断結果 DTO※3 を生成し一覧をフロントエンドに返却し表示 ※3:区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト

2) 【AL002】概況把握・診断 (2/2)

- イメージ



※1: 区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト1固まりのオブジェクトが1つの概況診断結果に対応

図 5-7 概況把握・診断処理アルゴリズム概要

表 5-8 概況把握・診断各処理詳細説明

処理名	説明
各区分判定処理	<ul style="list-style-type: none"> ● DB から全ての区分判定項目を一覧取得し、順番に判定処理（申請区分判定・図形判定）を実行
申請区分判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 区分判定の項目 1～項目 10 に 0 以外の値が 1 項目でも含まれるかチェックし、含まれる場合申請区分判定を実施（含まれない場合処理をスキップ） ● 各項目値にリクエストされた申請区分 ID が含まれるかチェックし、該当する場合その項目を「該当」と判定。最後に全ての項目の判定結果の論理積（AND）をとり申請区分判定結果として保持
図形判定	<ul style="list-style-type: none"> ● GIS 判定カラムの値が 0 以外かどうかチェックし、該当する場合図形判定を実施し結果を保持。該当しない場合処理をスキップ。判定方法の詳細は AL003～AL007 参照
判定結果結合	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請区分判定結果と図形判定結果を結合し概況診断結果を判定 ● 下記のとおり申請区分・図形判定実施の有無によって両者から概況診断結果を判定する <ul style="list-style-type: none"> ➢ 申請区分判定：有 / 図形判定：有 → 申請区分判定結果 AND 図形判定結果 ➢ 申請区分判定：有 / 図形判定：無 → 申請区分判定結果 ➢ 申請区分判定：無 / 図形判定：有 → 図形判定結果
概況診断結果 DTO ※1 の一覧に判定 項目追加	<ul style="list-style-type: none"> ● 判定結果が該当の場合、又は非該当表示有効かつ非該当の場合、結果一覧に項目を追加 ● 区分判定テーブルに設定された文言と概要及び（図形判定を実施する区分判定の場合）判定に使用したレイヤの表示用 URL を結果一覧に追加 <p>※1: 区分判定結果情報及びレイヤ情報を保持したオブジェクト。1 固まりのオブジェクトが 1 つの概況診断結果に対応</p>

3) 【AL003】概況把握・診断（図形判定の処理概要）

- イメージ

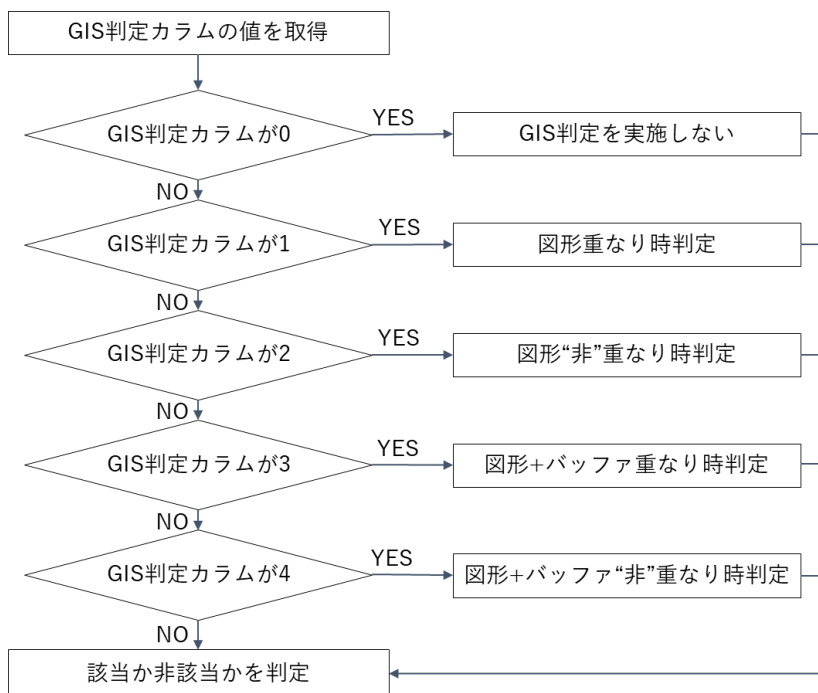


図 5-8 図形判定の処理概要

表 5-9 図形判定の処理概要説明

処理名	説明
図形重なり時判定	● 申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形が重なるかを判定
図形“非”重なり時判定	● 申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形が重ならないかを判定
図形+バッファ重なり時判定	● 申請地番一覧+バッファと判定対象レイヤの地物一覧の図形が重なるかを判定
図形+バッファ“非”重なり時判定	● 申請地番一覧+バッファと判定対象レイヤの地物一覧の図形が重ならないかを判定

4) 【AL004】概況把握・診断（図形重なり時判定）

- イメージ

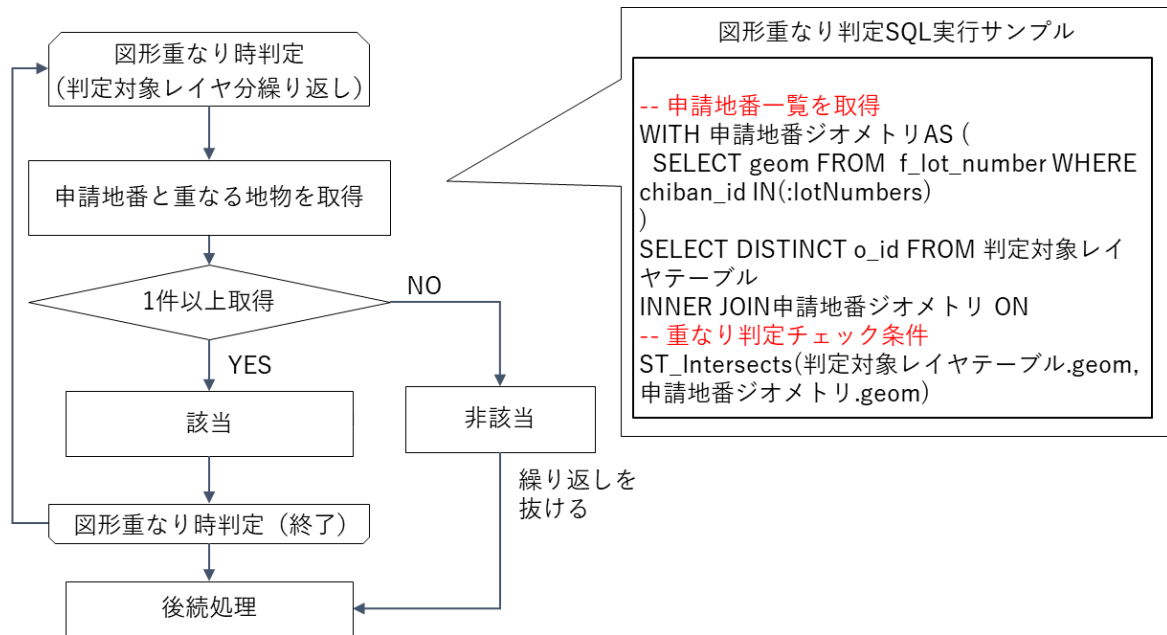
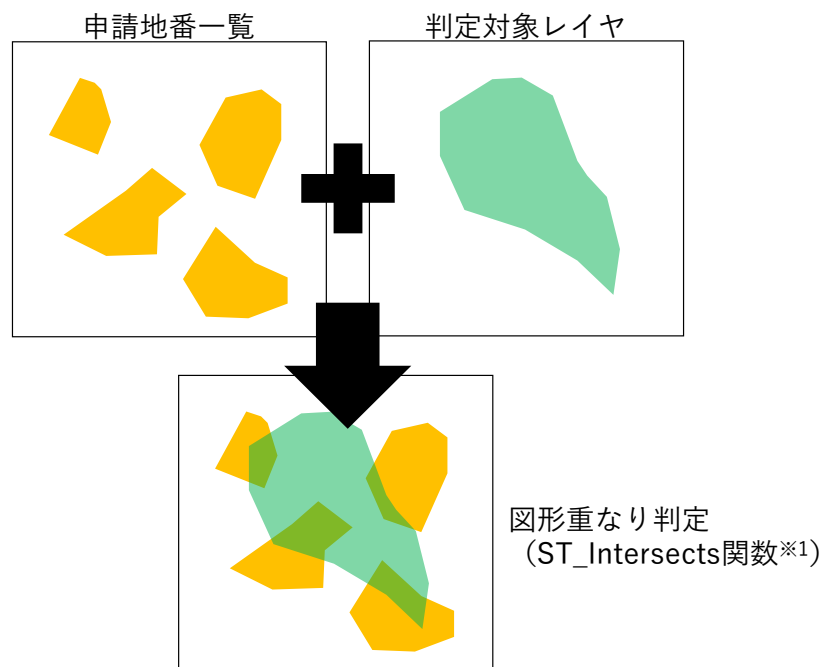


図 5-9 図形重なり判定アルゴリズム概要



※1: ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUEを返す空間関係関数

図 5-10 図形重なり判定 SQL 実行イメージ

表 5-10 図形重なり判定の処理概要説明

処理名	説明
図形重なり時判定	<ul style="list-style-type: none">● GIS 判定カラムの値が「1」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形重なり時判定（以下の処理）を実施
重なり地物取得	<ul style="list-style-type: none">● PostGIS の ST_Intersects 関数^{※1}で SQL 条件句を生成し、地番と重なる判定対象レイヤの地物を取得 <p>※1:ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数</p>
該当判定	<ul style="list-style-type: none">● 地番と重なる地物が 1 件以上取得された場合、「該当」と判定
非該当判定	<ul style="list-style-type: none">● 地番と重なる地物が 1 件も取得できない場合、「非該当」と判定

5) 【AL005】概況把握・診断（図形“非”重なり時判定）

- イメージ

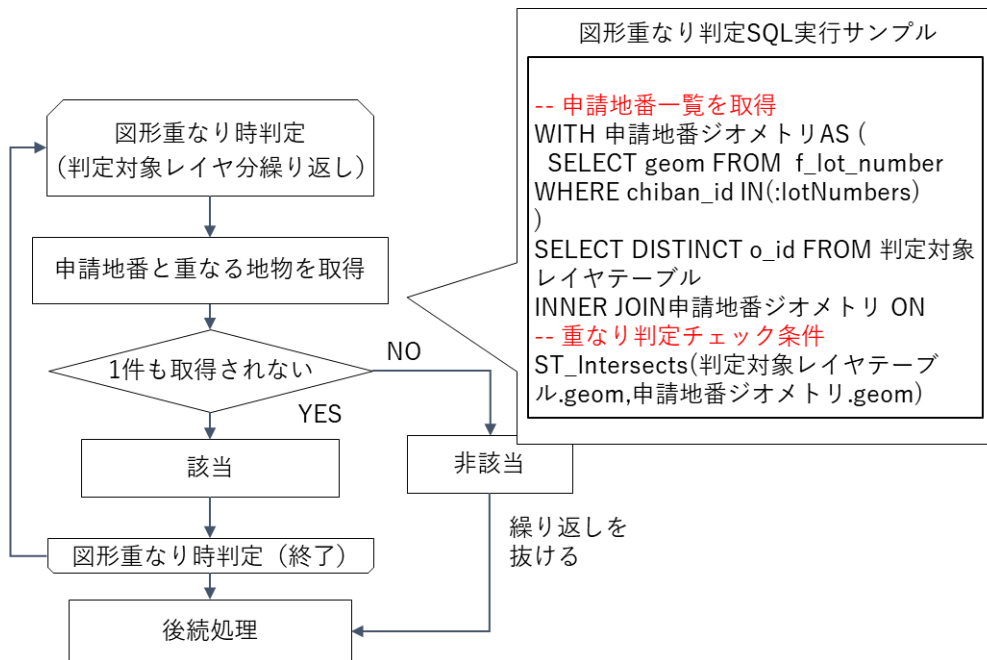
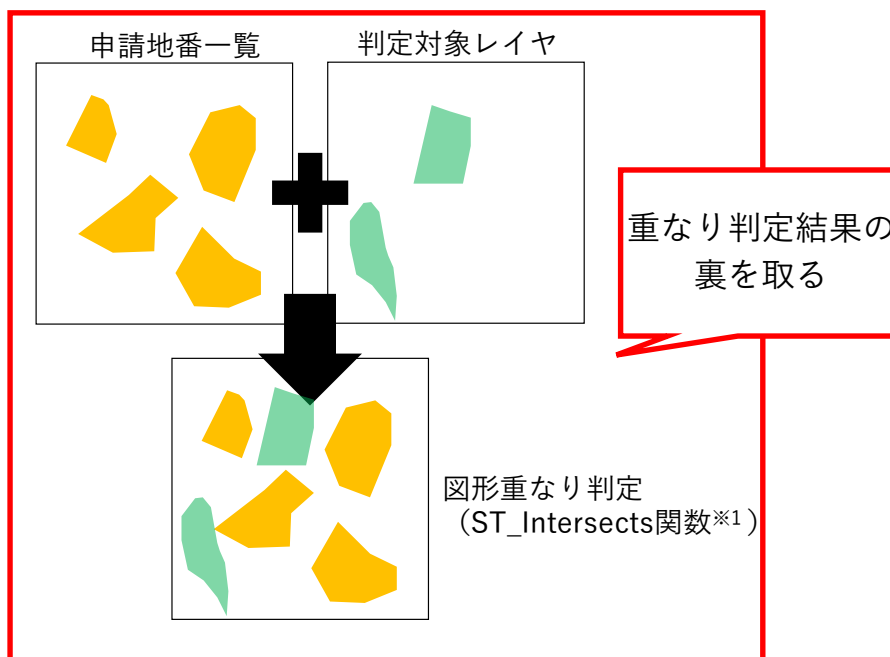


図 5-11 図形“非”重なり判定アルゴリズム概要



※1: ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUEを返す空間関係関数

図 5-12 図形“非”重なり判定 SQL 実行イメージ

表 5-11 図形“非”重なり判定の処理概要説明

処理名	説明
図形“非”重なり時判定	<ul style="list-style-type: none">● GIS 判定カラムの値が「2」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形“非”重なり時判定（以下の処理）を実施
重なり地物取得	<ul style="list-style-type: none">● PostGIS の ST_Intersects 関数^{※1} で SQL 条件句を生成し、地番と重なる判定対象レイヤの地物を取得 <p>※1:ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数</p>
該当判定	<ul style="list-style-type: none">● 地番と重なる地物が 1 件も取得できない場合、「該当」と判定
非該当判定	<ul style="list-style-type: none">● 地番と重なる地物が 1 件以上取得された場合、「非該当」と判定

6) 【AL006】概況把握・診断（図形+バッファ重なり時判定）

- イメージ

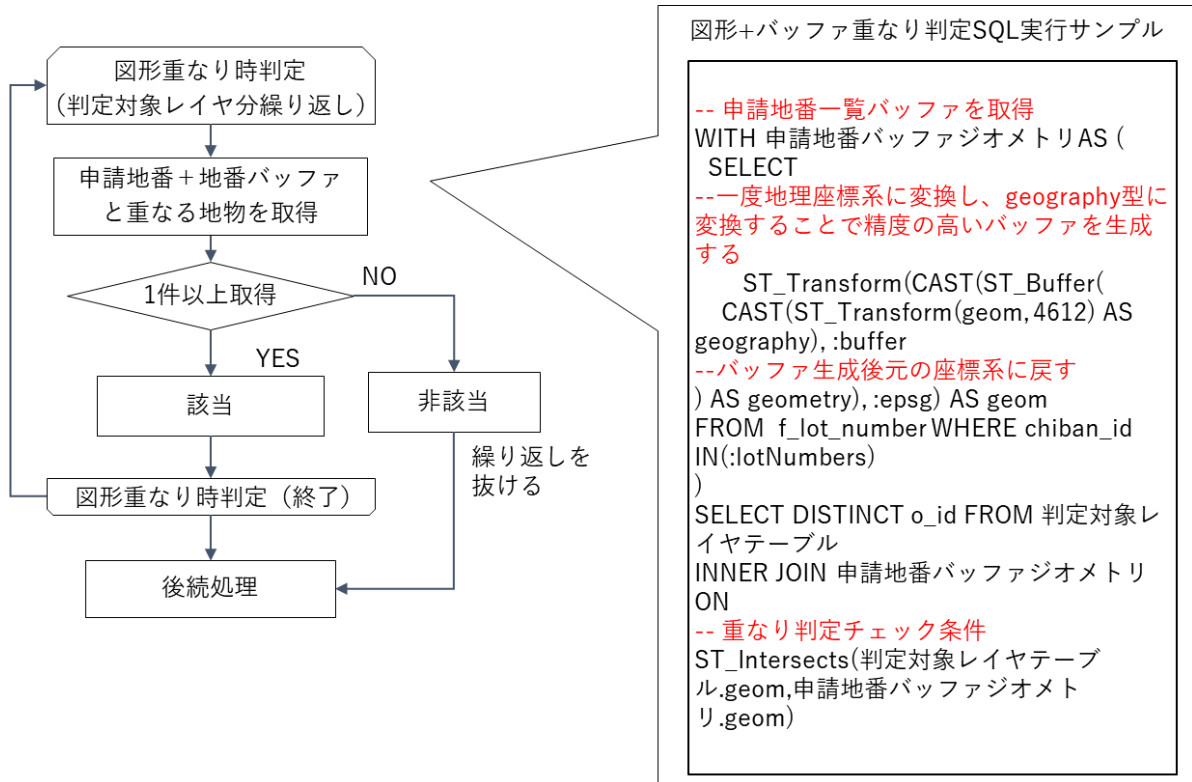
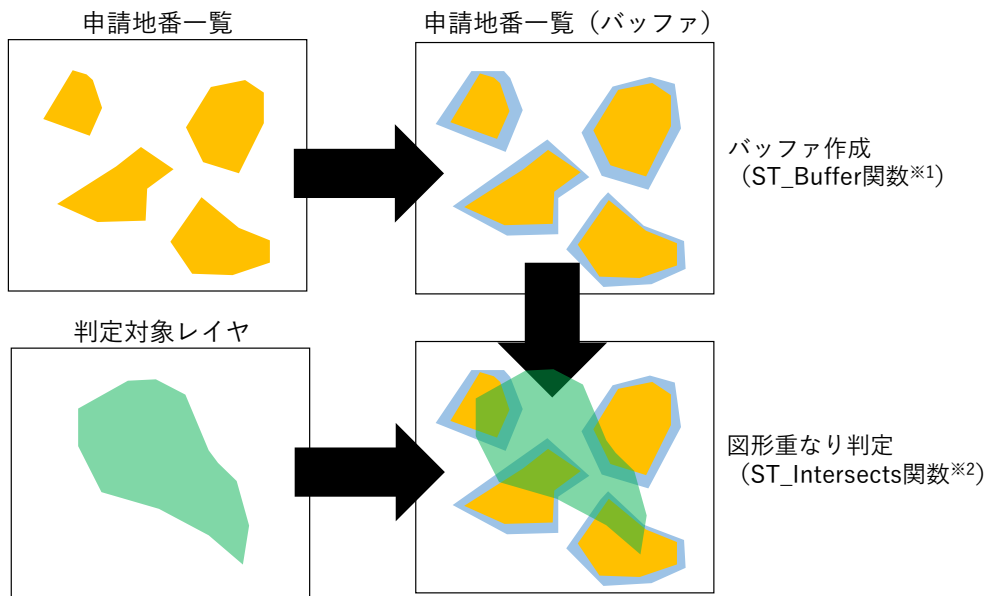


図 5-13 図形+バッファ重なり判定アルゴリズム概要



※1: 指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数
 ※2: ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUEを返す空間関係関数

図 5-14 図形+バッファ重なり判定 SQL 実行イメージ

表 5-12 図形+バッファ重なり判定の処理概要説明

処理名	説明
図形+バッファ重なり判定	<ul style="list-style-type: none"> ● GIS 判定カラムの値が「3」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形重なり時判定（以下の処理）を実施
バッファ生成	<ul style="list-style-type: none"> ● PostGIS の ST_Buffer 関数^{※1} で地番バッファを生成（バッファ値は対象の区分判定項目のバッファカラムの値を参照） <p><u>バッファ設定の考え方</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 規定により定められている 例) 対象地から 60m 以内に消火栓があるか→60m バッファ ● GIS データの精度が不足している場合、加算する 例) 河川法、18m の保全区域の判定→30m バッファ <p>※1:指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数</p>
重なり地物取得	<ul style="list-style-type: none"> ● PostGIS の ST_Intersects 関数^{※2} で SQL 条件句を生成し、地番+地番バッファと重なる判定対象レイヤの地物を取得 <p>※2 ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数</p>
該当判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 地番+地番バッファと重なる地物が 1 件以上取得された場合、「該当」と判定
非該当判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 地番+地番バッファと重なる地物が 1 件も取得できない場合、「非該当」と判定

7) 【AL007】概況把握・診断（図形+バッファ“非”重なり時判定）

- イメージ

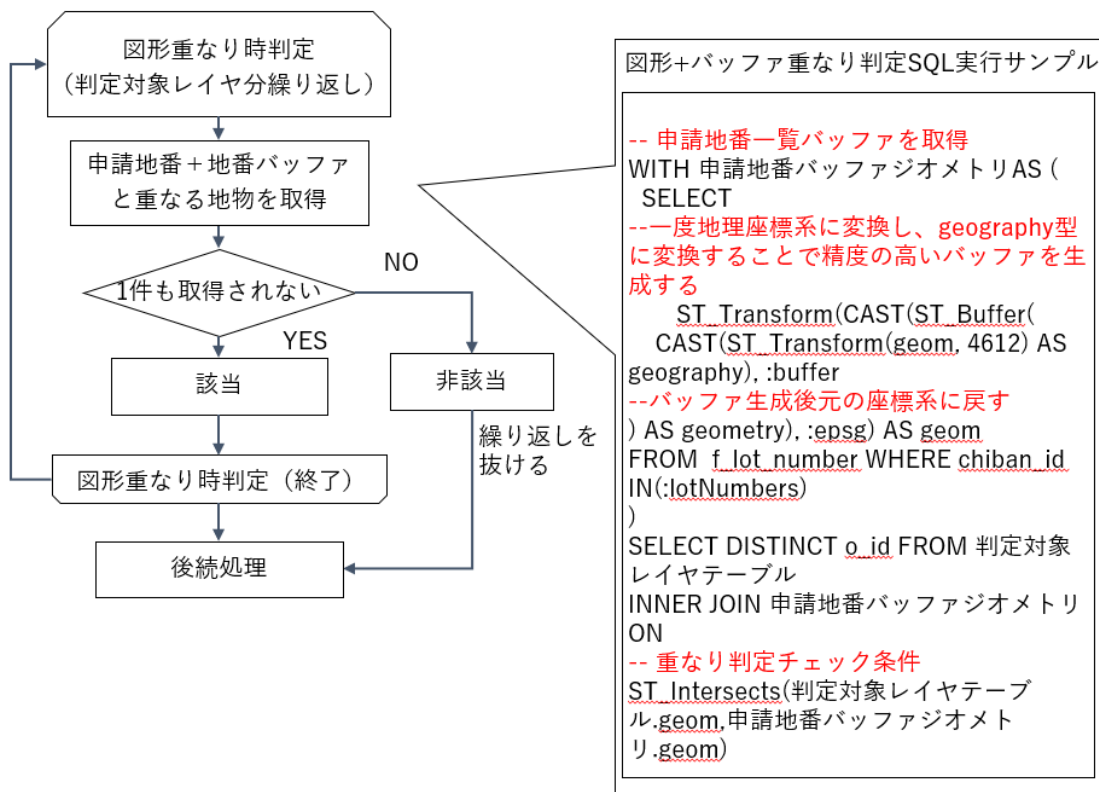
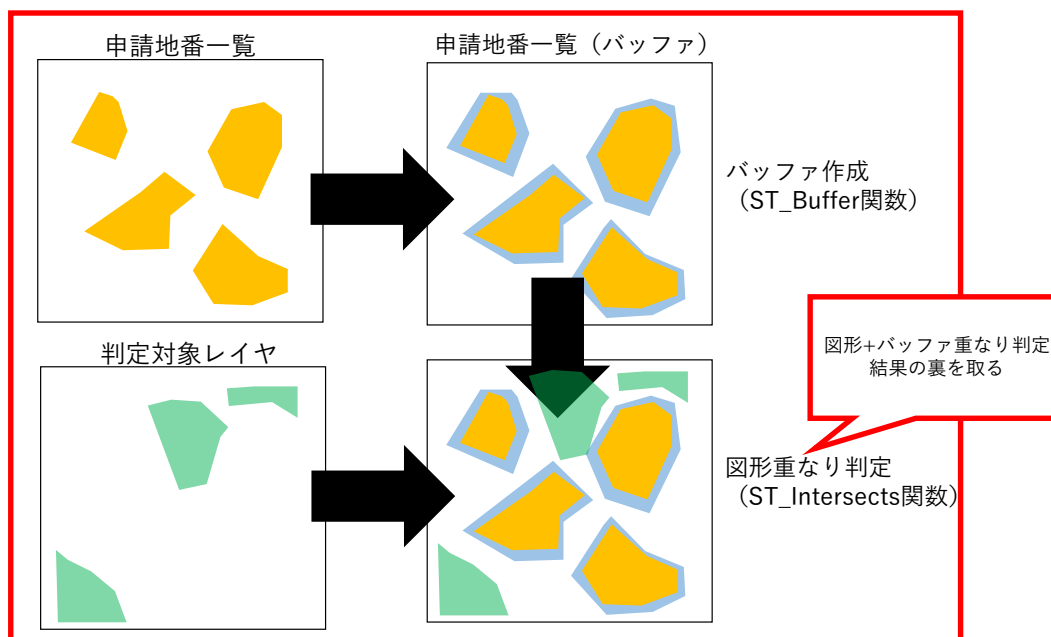


図 5-15 図形+バッファ“非”重なり判定アルゴリズム概要



※1: 指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数
 ※2: ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUEを返す空間関係関数

図 5-16 図形+バッファ“非”重なり判定 SQL 実行イメージ

表 5-13 図形+バッファ“非”重なり判定の処理概要説明

処理名	説明
図形+バッファ重なり判定	<ul style="list-style-type: none"> ● GIS 判定カラムの値が「4」の場合、申請地番一覧と判定対象レイヤの地物一覧の図形“非”重なり時判定（以下の処理）を実施
バッファ生成	<ul style="list-style-type: none"> ● PostGIS の ST_Buffer 関数^{※1} で地番バッファを生成（バッファ値は対象の区分判定項目のバッファカラムの値を参照） ※1:指定のバッファを発生させたジオメトリを返す処理関数
重なり地物取得	<ul style="list-style-type: none"> ● PostGIS の ST_Intersects 関数^{※2} で SQL 条件句を生成し、地番+地番バッファと重なる判定対象レイヤの地物を取得 ※2 ジオメトリ同士が空間に共有部分がある場合、TRUE を返す空間関係関数
該当判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 地番+地番バッファと重なる地物が1件も取得できない場合、「該当」と判定
非該当判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 地番+地番バッファと重なる地物が1件以上取得された場合、「非該当」と判定

8) 【AL008】概況把握・診断（重なり判定時における属性表示）

- イメージ

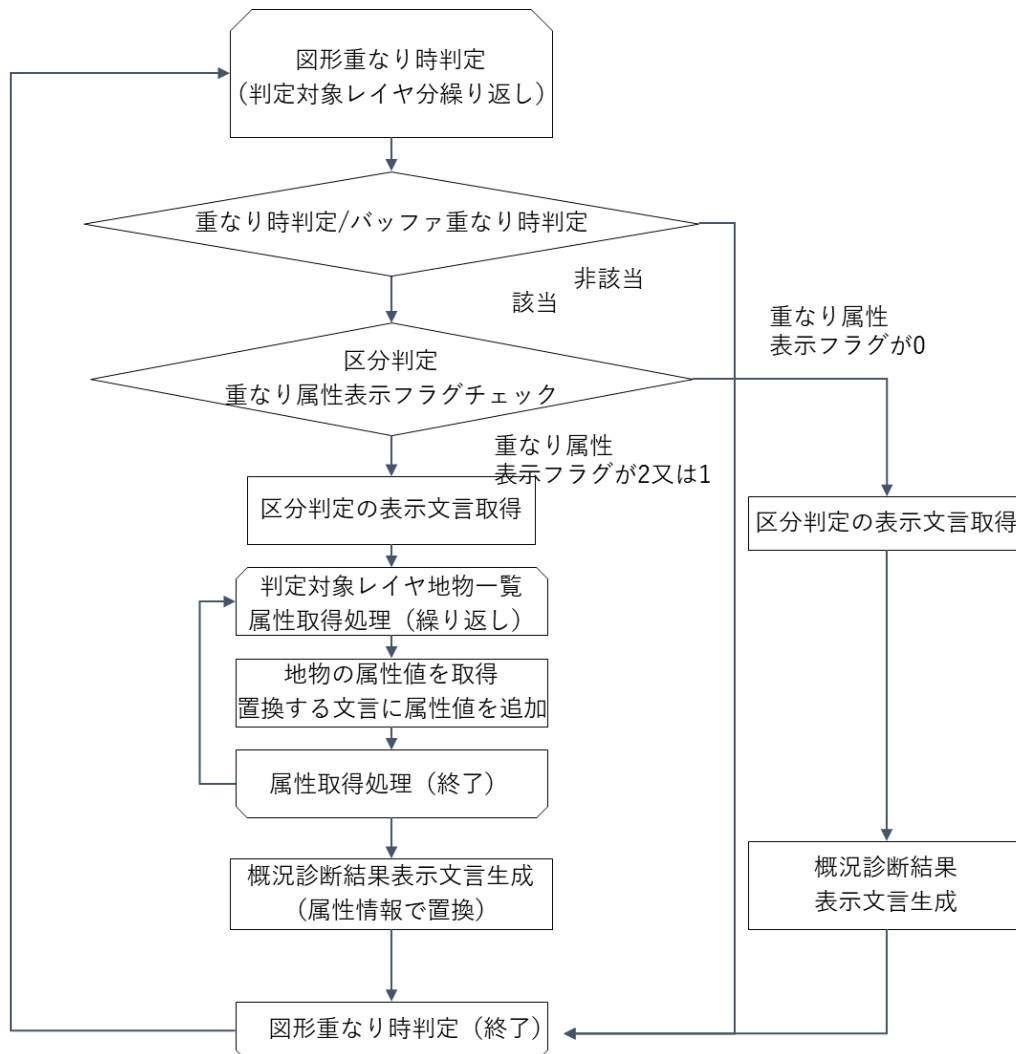


図 5-17 重なり時判定時における属性表示 アルゴリズム概要

表 5-14 重なり時判定時における属性表示で参照するカラム一覧

カラム名		説明
display_attri bute_flag	重なり属性表示フラグ	<ul style="list-style-type: none"> ● 属性表示方式 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2→属性を区切り文字で区切って表示 ➢ 1→属性を改行表示 ➢ 0→属性表示しない
table_name	テーブル名	<ul style="list-style-type: none"> ● 重なり属性表示するテーブル名
field_name	フィールド名	<ul style="list-style-type: none"> ● 重なり属性表示するフィールド名 <ul style="list-style-type: none"> ➢ カンマ区切りで複数設定可能
applicable_ description	該当表示文言	<ul style="list-style-type: none"> ● 置換前の該当表示文言 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「@1,@2,@3,・・・」と記載された箇所をフィールド名の 1、2、3 番目のフィールドの属性値で置換する。属性値の並べ方は属性表示フラグの値に従う。フィールド名は重複表示しない

9) 【AL009】概況把握・診断（図形からの距離測定機能）

- イメージ

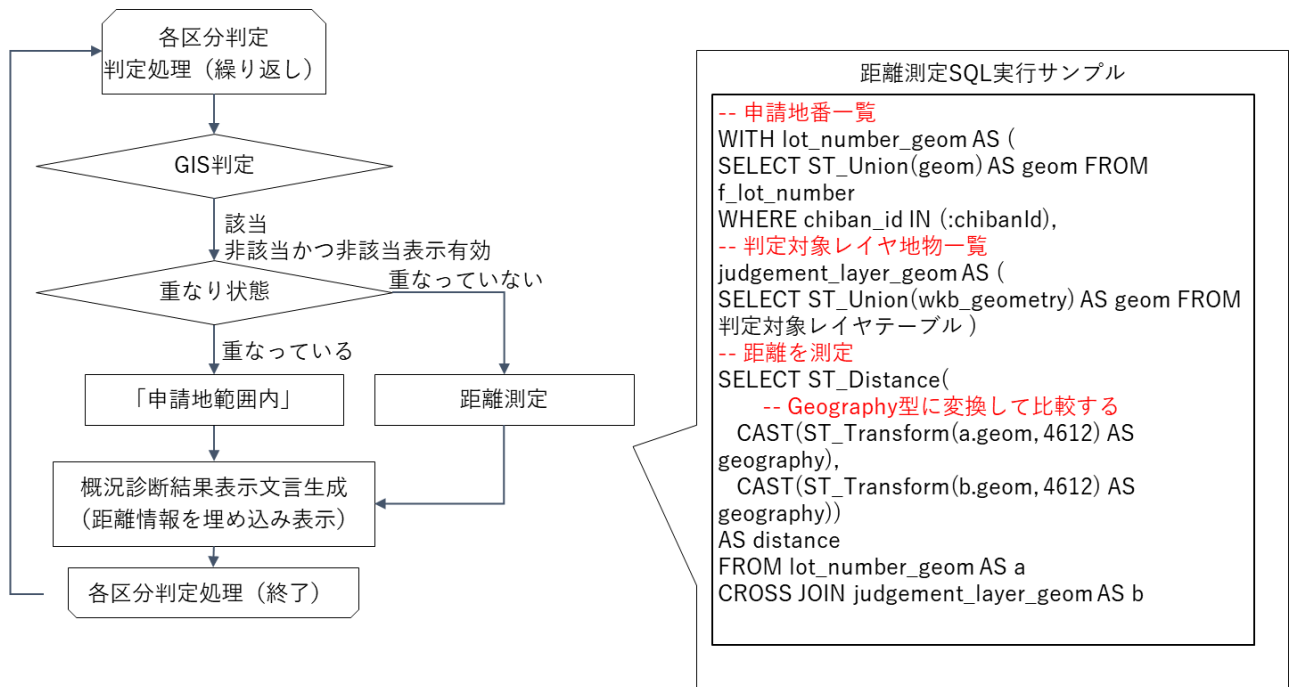
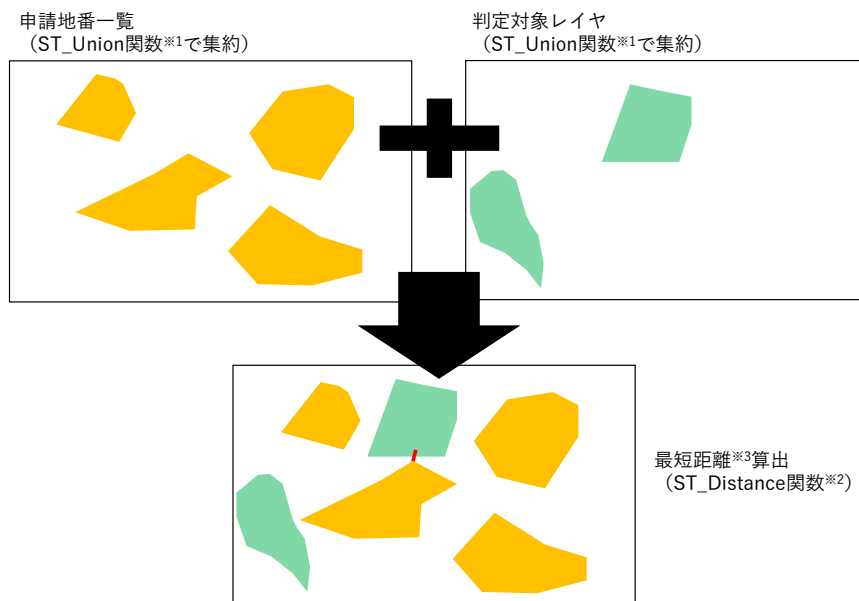


図 5-18 図形からの距離測定機能 アルゴリズム概要



※1: 対象のジオメトリを結合したジオメトリを返す処理関数
 ※2: ジオメトリ同士の最小デカルト距離を返す空間関係関数
 ※3: 複数地番を選択した場合は、判定図形から最も近い地番までの距離

図 5-19 図形からの距離測定機能 SQL 実行イメージ

表 5-15 図形からの距離測定機能の処理概要説明

処理名	説明
図形集約	<ul style="list-style-type: none">● 図形判定該当時に判定対象レイヤと申請地番一覧のジオメトリをそれぞれ ST_Union 関数^{※1} で集約 <p>※1:対象のジオメトリを結合したジオメトリを返す処理関数</p>
距離計算	<ul style="list-style-type: none">● ST_Distance 関数^{※2} で集約したジオメトリ同士を比較 <p>※2:ジオメトリ同士の最小デカルト距離を返す空間関係関数</p>
最短距離計算	<ul style="list-style-type: none">● 距離を算出し最短距離^{※3} を更新 <p>※3:複数地番を選択した場合は、判定図形から最も近い地番までの距離</p>
最短距離更新	<ul style="list-style-type: none">● 重なっている場合、距離測定（上記の処理）は行わず「申請地範囲内」とした固定文字列で最短距離を更新

10) 【AL010】 概況把握・診断 (前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能)

- イメージ

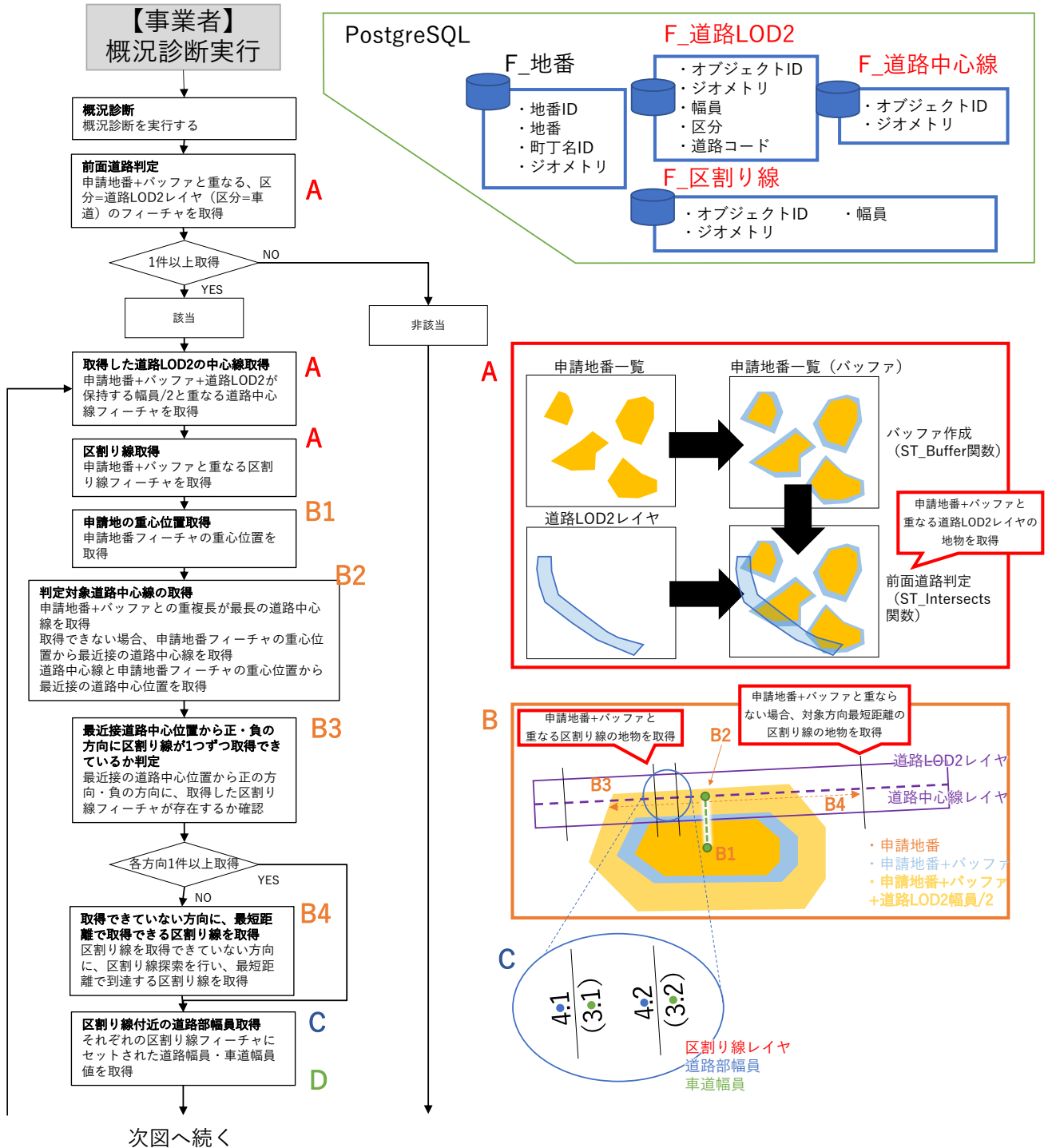


図 5-20 前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能処理フロー (1/2)

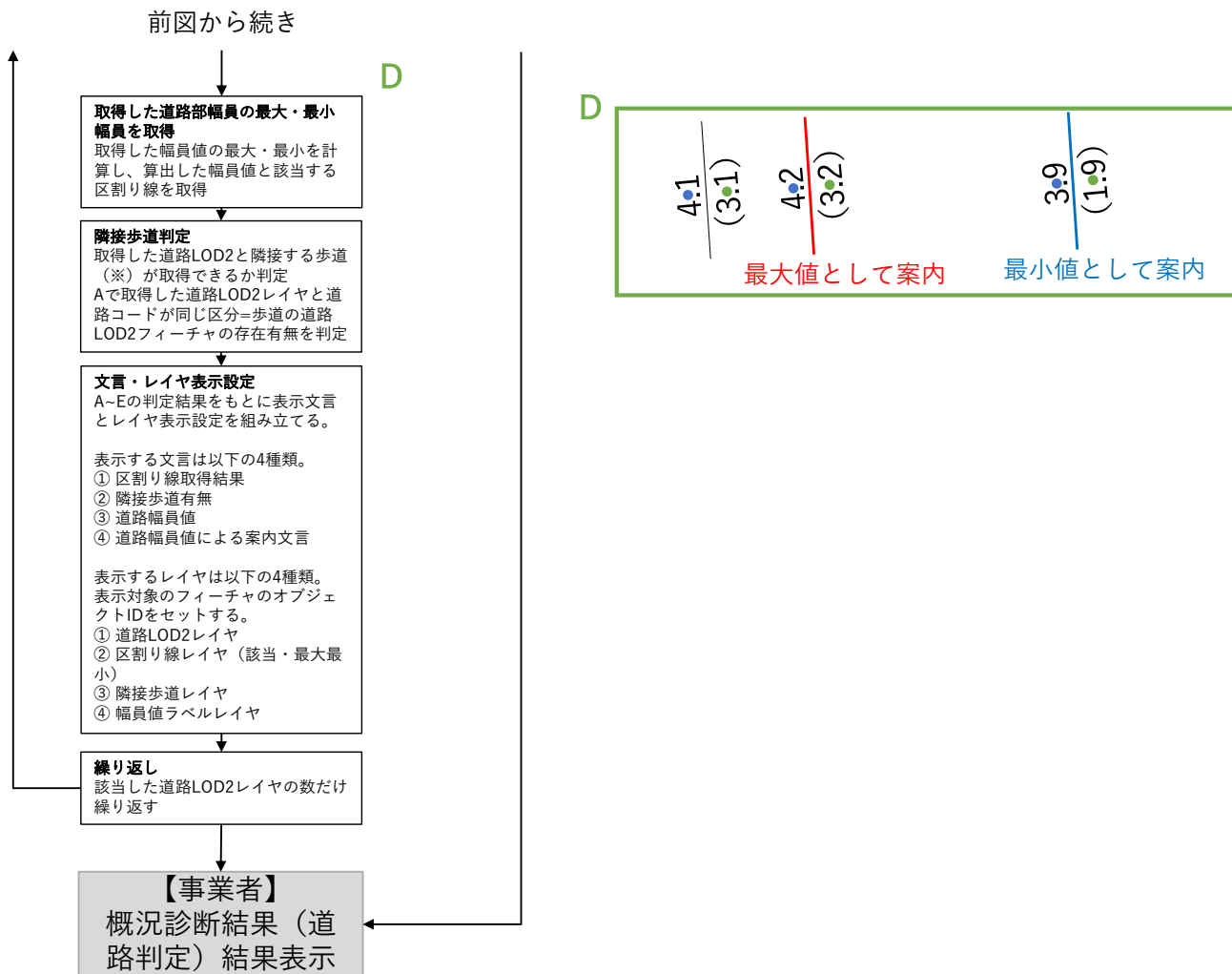


図 5-21 前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定機能処理フロー (2/2)

表 5-16 前面道路判定・道路幅員表示・隣接歩道判定の処理概要説明

処理名	説明
前面道路判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請地番一覧にバッファを付加し、道路 LOD2 データ（区分が「道路」のデータが対象）から重なる地物を取得する
前面道路判定結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 件以上取得された場合「該当」、1 件も取得できなかった場合「非該当」と判定する
取得した道路 LOD2 の中心線取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 「該当」の場合、取得した道路 LOD2 の幅員値を使用し、申請地番一覧にバッファ+道路 LOD2 幅員値/2 を付加し、重なる距離が最も長い道路中心線の地物を取得 ● 取得できない場合、申請地番フィーチャの重心位置から最近接の道路中心線を取得
区割り線取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請地番一覧にバッファを付加し、重なる区割り線フィーチャを取得
申請地の重心位置・判定対象道路中心線の取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 最近接となる道路中心線の位置を特定するため、申請地番一覧の重心位置を取得し、重心位置から最も近い道路中心線座標を取得
最近接道路中心位置から正・負の方向に区割り線取得判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 近接となる道路中心線の位置から、正の方向・負の方向それぞれに探索を行い、取得された区割り線フィーチャが存在するか判定
取得できていない方向に最短距離で区割り線取得	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの方向に区割り線フィーチャが存在しない場合、その方向の延長に探索を行い、最近接の区割り線を取得
最大幅員・最小幅員取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 取得したそれぞれの区割り線にひも付いて設定されている道路幅員（側溝含む）・車道幅員（側溝除く）の値を取得し、地物の幅員について、最大・最小となる幅員値、その幅員値に関連付けられている区割り線を取得
隣接歩道判定	<ul style="list-style-type: none"> ● 取得した道路 LOD2 データと道路コードが共通で区分が「歩道」のデータが道路 LOD2 データに存在するか否かをチェックし、その結果をもって隣接する歩道の有無を判定。隣接する歩道が取得される場合そのオブジェクト ID を取得
文言・レイヤ表示設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 以上の結果をもとに表示文言とレイヤ表示設定する
繰り返し処理	<ul style="list-style-type: none"> ● 以上の処理を取得した道路 LOD2 データの個数分繰り返す
概況診断結果（道路判定）結果表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断結果表示時に判定結果として区割り線取得結果、隣接歩道有無、道路幅員値、道路幅員値による案内文言を案内し、該当箇所の区割り線図形（最大・最小幅員該当図形を強調）と地番バッファと重なる隣接歩道、区割り線の幅員値をハイライト表示する

11) 【AL011】概況把握・診断（判定結果複数表示）

- イメージ

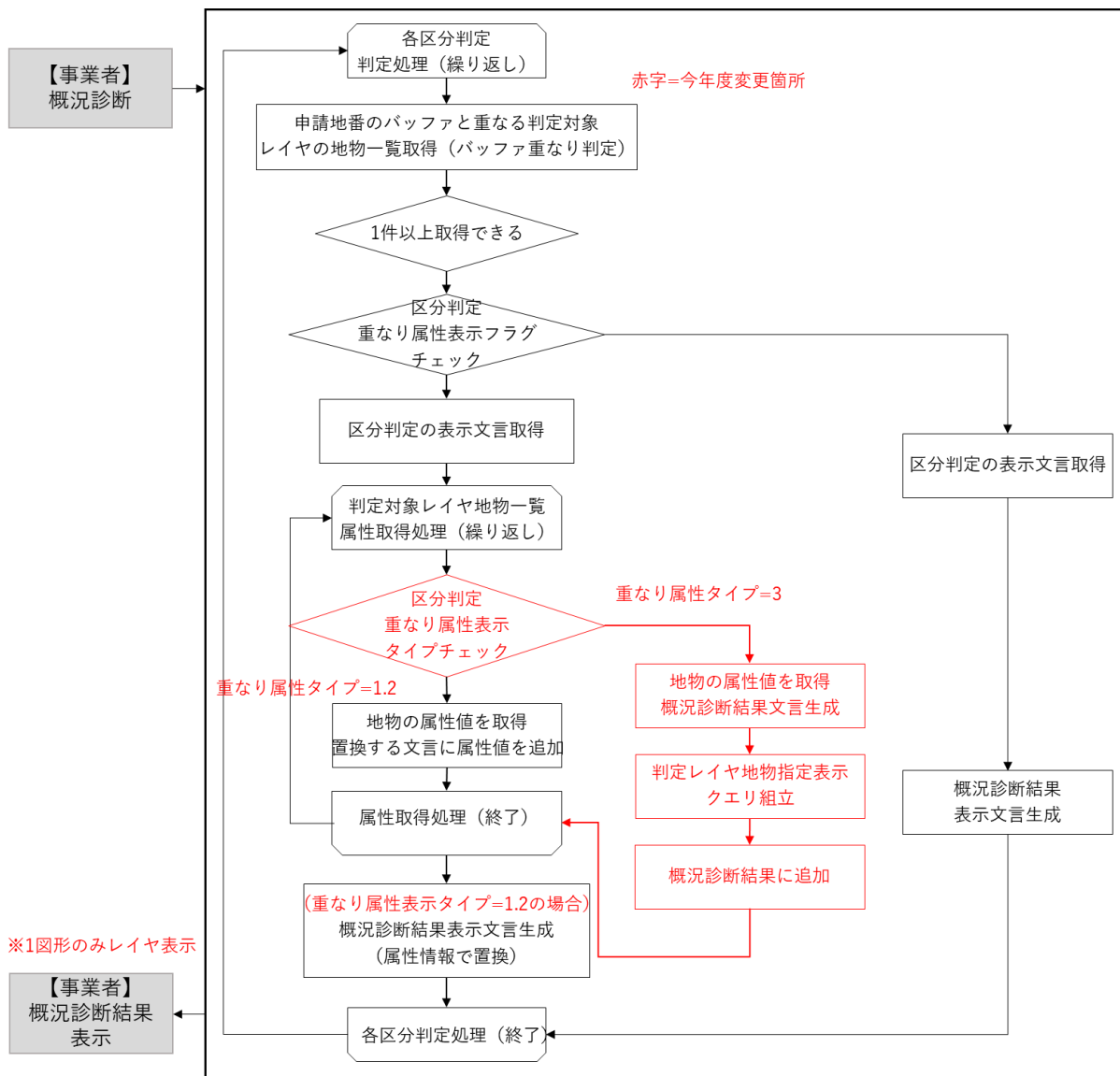


図 5-22 重なり属性判定結果行表示処理フロー

表 5-17 重なり属性判定結果行表示 の処理概要説明

処理名	説明
重なり属性タイプ チェック	● 概況診断実行の重なり属性表示処理の中で、重なり属性タイプのチェックを実施する
重なり属性判定結果 取得処理	● 重なり属性タイプが3の場合、重なる地物ごとに3. の処理を実施する
表示文言・レイヤ組立	● 重なり属性タイプが3の場合) 地物の属性値を取得し概況診断結果文言を生成、 地物 ID を取得し判定レイヤ表示で用いるクエリを組み立て ● 最後に概況診断結果にデータを追加する
重なり属性判定 結果表示	● 重なり属性タイプが1又は2の場合、各重なり地物の属性値を順に概況診断結果文言に付加する (3-1-1.利用するアルゴリズム 【AL008】に記載の処理)

5-4. データインタフェース

5-4-1. ファイル入力インタフェース

本資料の記載事項を基にしたファイル入力インタフェースの構築例を以下に示す。

- 1) 【IF001】概況診断結果レポートテンプレート Excel ファイル入力
 - 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN023】
 - インタフェース詳細
 - 帳票出力時又は申請登録時に帳票作成処理でシステムが参照する、帳票レポートのテンプレートファイル
 - 申請登録時にシステムに保存した帳票には回答 ID、回答内容の欄が追加され、【IF005】として使用する

表 5-18 概況診断結果レポートテンプレート Excel ファイル入力

項目	説明
出力日	概況診断結果を出力した日付
概況図	概況診断結果を行った地図
選択した申請区分	概況診断を行う際に選択した申請区分
選択した申請範囲	概況診断を行う際に選択した申請範囲
判定結果概要	選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果（概要のみ表示、具体的内容は次ページ）
判定対象項目	判定を行う項目名
判定結果内容	事前相談有無・相談先・相談を行う内容等を記した判定結果・案内内容
判定根拠地図画像	判定結果に関連する空間情報データの重なり・“非”重なりを根拠づける地図画像
回答 ID	判定対象項目に対する回答 ID（概況診断結果画面からの出力時では非表示）
回答内容	判定対象項目に対する回答内容（概況診断結果画面からの出力時では非表示）

2) 【IF002】 申請ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN025】、【FN031】、【FN037】、【FN043】、【FN047】、【FN052】、【FN059】、【FN114】

※1 ファイル当たり容量上限：50MB

- インタフェース詳細
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードするファイル。PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付、拡張子チェックを行う

表 5-19 申請ファイル データフォーマット

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付（種類は申請ファイル種類ごとに SE 設定可）、拡張子チェックを行う
ファイル容量	1 ファイル当たり容量上限：50MB
ファイル件数	申請ファイル種類ごとに複数ファイルアップロード可能
版情報	再申請ごとに提出されたファイルを第 1 版、第 2 版、第 3 版・・・と版管理する。次段階申請時に前の申請段階の最終版ファイルを次段階の第 1 版ファイルとして管理する

3) 【IF003】 回答ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN013】、【FN063】、【FN069】、【FN072】、【FN078】、【FN098】、【FN120】、【FN123】

※1 ファイル当たり容量上限：50MB

- インタフェース詳細
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードするファイル。PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付、拡張子チェックを行う

表 5-20 回答ファイル データフォーマット

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付（種類は SE 設定可）、拡張子チェックを行う
ファイル容量	1 ファイル当たり容量上限：50MB
ファイル件数	回答ごとに複数ファイルアップロード可能

4) 【IF004】 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記） PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN063】、【FN069】、【FN072】、【FN078】、【FN098】、【FN120】、【FN123】

※1 ファイル当たり容量上限：50MB

- インタフェース詳細
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップするファイル。PDF、TIFF、JPEG、PNG の拡張子ファイルを受付、PNG 形式に出力して画面表示する

表 5-21 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）データフォーマット

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、ファイル入力 PNG 形式に出力して画面表示する。編集後のファイルは PNG ファイルとして保存する
ファイル件数	回答ごとに複数ファイルアップロード可能

5) 【IF005】 行政回答レポートテンプレート Excel ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN014】
- インタフェース詳細
 - 回答レポート出力に帳票作成処理でシステムが参照する、帳票レポートのテンプレートファイル。申請登録時に登録された帳票を使用する

表 5-22 行政回答レポートテンプレート Excel ファイル入力

項目	説明
出力日	行政回答レポートを出力した日付
概況図	概況診断結果を行った地図
選択した申請区分	概況診断を行う際に選択した申請区分
選択した申請範囲	概況診断を行う際に選択した申請範囲
判定結果概要	選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果（概要のみ表示、具体的内容は次ページ）
判定対象項目	判定を行う項目名
判定結果内容	事前相談有無・相談先・相談を行う内容等を記した判定結果・案内内容
判定根拠地図画像	判定結果に関連する空間情報データの重なり・“非”重なりを根拠づける地図画像
回答 ID	判定対象項目に対する回答 ID
回答内容	判定対象項目に対する通知済み回答内容

6) 【IF009】 帳票テンプレート Excel ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN015】
- インタフェース詳細
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票のテンプレートファイル

表 5-23 行政回答レポートテンプレート Excel ファイル入力

項目	説明
申請者情報	申請を実施した人物の名前、メールアドレス（、電話番号、住所、コメント）
申請追加情報	各申請段階で申請を実施するときに追加で記入した情報
申請情報（登録日）	各申請段階の申請・回答が完了した日付
申請地番	申請を実施した地番
申請区分	申請の区分
申請版情報	申請の版情報

7) 【IF014】 問合せ添付ファイル入力 PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル入力

- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN304】
- インタフェース詳細
 - 問い合わせに添付して事業者がファイルをアップロードする

表 5-24 問合せ添付ファイル入力 データフォーマット

項目	説明
拡張子	PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD の拡張子ファイルを受付（種類は SE 設定可）、拡張子チェックを行う
ファイル容量	1 ファイル当たり容量上限：50MB
ファイル件数	問合せごとに複数ファイルアップロード可能

5-4-2. ファイル出力インタフェース

本資料の記載事項を基にしたファイル出力インタフェースの構築例を以下に示す。

- 【IF101】 概況診断結果レポート Excel (.xlsx) ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN023】
- インタフェース詳細
 - 帳票出力時に出力される帳票レポート
 - SE 設定でキャプチャ取得の有無を設定する

表 5-25 出力項目

項目	説明
出力日	● 概況診断結果を出力した日付
概況図	● 概況診断結果を行った地図 (2D)
選択した申請区分	● 概況診断を行う際に選択した申請区分
選択した申請範囲	● 概況診断を行う際に選択した申請範囲 ● 全筆かからない筆には「の一部」と追記
判定結果概要	● 選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果 (概要のみ表示、具体的内容は次ページ)
判定対象項目	● 判定を行う項目名
判定結果内容	● 事前相談有無・相談先・相談を行う内容等を記した判定結果・案内内容
判定根拠地図画像	● 判定結果に関連する空間情報データの重なり・“非”重なりを根拠づける地図画像 (2D)
回答 ID	● 判定対象項目に対する回答 ID (概況診断結果画面からの出力時では非表示)
回答内容	● 判定対象項目に対する回答内容 (概況診断結果画面からの出力時では非表示)

※申請登録時に出力される概況診断レポートは回答レポートのフォーマットに従う

- 【IF102】 申請ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN062】、【FN068】、【FN119】、【FN076】、【FN083】、【FN089】、【FN096】、【FN103】
- インタフェース詳細
 - 申請登録時又は再申請登録時に事業者がアップロードしたファイルをダウンロードする

表 5-26 申請ファイル データフォーマット

項目	説明
拡張子	● PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付（種類は申請ファイル種類ごとに SE 設定可）、拡張子チェックを行う
ファイル容量	● 1 ファイル当たり容量上限：50MB
ファイル件数	● 申請ファイル種類ごとに複数ファイルダウンロード可能
版情報	● 再申請ごとに提出されたファイルを第 1 版、第 2 版、第 3 版・・・と版管理する。 ● 次段階申請時に前の申請段階の最終版ファイルを次段階の第 1 版ファイルとして管理する

- 【IF103】 回答ファイル PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN013】
- インタフェース詳細
 - 回答登録時に行政担当者がアップロードしたファイルをダウンロードする

表 5-27 回答ファイル データフォーマット

項目	説明
拡張子	● PDF、TIFF、JPEG、PNG、DXF、DWG の拡張子ファイルを受付（種類は SE 設定可）、拡張子チェックを行う
ファイル容量	● 1 ファイル当たり容量上限：50MB
ファイル件数	● 回答ごとに複数ファイルダウンロード可能

- 【IF104】 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記） PDF、TIFF、JPEG、PNG ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN013】
- インタフェース詳細
 - 回答ファイル赤入れ機能で編集を開始した際にシステムにアップされたファイルをダウンロードする

表 5-28 回答ファイル（行政担当者による図面への赤字での転記）データフォーマット

項目	説明
拡張子	<ul style="list-style-type: none"> ● PNG ファイル出力 ● PDF、TIFF、JPEG、PNG ファイル入力を受け、編集時に PNG 形式に変換し保存する。保存した PNG ファイルを出力する
ファイル件数	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答ごとに複数ファイルダウンロード可能

- 【IF105】 行政回答レポート Excel (.xlsx) ファイル出力
- 本インターフェースを利用した機能
 - 【FN014】
- インタフェース詳細
 - 申請登録時と回答レポート出力時に出力される帳票レポート。申請登録時は回答 ID、回答内容を出力する欄を生成（回答内容欄は空欄）したうえでシステムに保存される。保存した帳票は回答レポート出力時に読み込み（【IF005】）、最新の通知済み回答内容を追記して出力する
 - SE 設定でキャプチャ取得の有無を設定する

表 5-29 出力項目

項目名	説明
出力日	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政回答レポートを出力した日付
概況図	<ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断結果を行った地図
選択した申請区分	<ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断を行う際に選択した申請区分
選択した申請範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断を行う際に選択した申請範囲 ● 全筆かからない筆には「の一部」と追記
判定結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択した申請区分・申請範囲をもとに判定した結果（概要のみ表示、具体的内容は次ページ）
判定対象項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 判定を行う項目名
判定結果内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前相談有無・相談先・相談を行う内容等を記した判定結果・案内内容
判定根拠地図画像	<ul style="list-style-type: none"> ● 判定結果に関連する空間情報データの重なり・“非”重なりを根拠づける地図画像
回答 ID	<ul style="list-style-type: none"> ● 判定対象項目に対する回答 ID（概況診断結果画面からの出力時では非表示）
回答内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 判定対象項目に対する回答内容（概況診断結果画面からの出力時では非表示）

- 【IF106】 問合せ添付ファイル出力 PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD ファイル出力
- 本インターフェースを利用した機能
 - 【FN304】、【FN062】、【FN068】、【FN119】、【FN076】、【FN083】、【FN089】、【FN096】、【FN103】
- インタフェース詳細
 - 問い合わせに添付して事業者がアップロードしたファイルをダウンロードする

表 5-30 問合せ添付ファイル入力 データフォーマット

項目	説明
拡張子	● PDF、TIFF、JPEG、PNG、CAD の拡張子ファイルを受付（種類は SE 設定可）、拡張子チェックを行う
ファイル容量	● 1 ファイル当たり容量上限：50MB
ファイル件数	● 問合せごとに複数ファイルダウンロード可能

- 【IF109】 マニュアル PDF ファイル出力
- 本インターフェースを利用した機能
 - 【FN002】
- インタフェース詳細
 - ヘルプボタン押下でログインユーザーの種別に応じて表示する操作マニュアル（事業者向け、行政担当者向け）（PDF 形式）

表 5-31 マニュアル PDF ファイル出力 データフォーマット

項目	説明
データ形式	● PDF 形式
データ項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下 2 種類のファイルをマニュアルとして設定可能。 ● マニュアルのファイルパスはアプリケーションで設定 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者向けマニュアルファイル ➢ 行政担当者向けマニュアルファイル

- 【IF110】 出力された帳票 Excel ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN015】、【FN066】、【FN072】、【FN123】、【FN086】、【FN092】、【FN100】、【FN105】
- インタフェース詳細
 - 各申請段階の申請・回答が全て完了した時点で自動生成される各種帳票

表 5-32 出力項目

項目	説明
申請者情報	● 申請を実施した人物の名前、メールアドレス（、電話番号、住所、コメント）
申請追加情報	● 各申請段階で申請を実施するときに追加で記入した情報
申請情報（登録日）	● 各申請段階の申請・回答が完了した日付
申請地番	● 申請を実施した地番
申請区分	● 申請の区分
申請版情報	● 申請の版情報

- 【IF111】 申請情報検索結果 CSV ファイル出力
- 本インタフェースを利用した機能
 - 【FN007】
- インタフェース詳細
 - 事業者申請時の入力情報、ステータスを検索条件として検索した申請情報の一覧を CSV 形式で出力する

表 5-33 出力項目

項目	説明
ステータス	申請の現在の段階と回答の状態
申請 ID	申請の ID
担当課	判定対象に回答を行う課の一覧
申請者	申請を実施した人物の名前
アドレス	申請を実施した人物のメールアドレス
利用目的	開発予定地の利用目的
開発予定面積	開発予定地の面積

- 【IF112】 問い合わせ情報検索結果 CSV ファイル出力
- 本インターフェースを利用した機能
 - 【FN008】
- インタフェース詳細
 - 事業者申請時の入力情報、ステータス、担当課、回答者を条件として検索した問い合わせ情報の一覧を CSV 形式で出力する

表 5-34 出力項目

項目	説明
ステータス	● 問い合わせに対する回答の状態
申請 ID	● 問い合わせを行った判定対象の申請の ID
対象	● 問い合わせを行った判定対象
回答担当課	● 問い合わせに対する回答を行う担当の課
初回投稿日時	● 事業者が初めにその対象について問い合わせた日時
最新投稿日時	● 最後に事業者が問い合わせた日時
最新回答者	● 最後に問い合わせに対して回答したユーザー名
最新回答日時	● 最後に問い合わせに対して回答した日時

- 【IF113】 最終提出書類一式ファイル ZIP ファイル出力
- 本インターフェースを利用した機能
 - 【FN102】
- インタフェース詳細
 - 許可完了のタイミングで、事業者が提出した資料、FN038:各種帳票出力においてシステムで自動生成した帳票（開発登録簿頭紙）を、以下のパターンで ZIP 出力する
 - ◇ 開発許可証
 - ◇ 全ての申請提出資料をまとめたファイル
 - ◇ 全資料の最終版資料をまとめたファイル
 - ◇ 開発登録簿として公開するファイル（開発登録簿頭紙 PDF + 土地利用計画図 PDF ファイル）

表 5-35 最終提出書類一式ファイル ZIP ファイル出力 データフォーマット

項目	説明
全ての申請提出資料をまとめたファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての申請ファイルの最終版を[申請ファイル ID]_[申請ファイル名]_[版番号]_[アップロード日].[拡張子]のフォーマットで ZIP ファイル内に格納して出力する
全資料の最終版資料をまとめたファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● ZIP ファイルの直下に全ての申請ファイルの[申請ファイル名]フォルダを作成し、その配下に対象の申請ファイルの全ての版のファイルを[申請ファイル ID]_[申請ファイル名]_[申請段階]_[版番号]_[アップロード日].[拡張子]のフォーマットで格納する ● ZIP ファイルの直下に「行政回答」フォルダを作成し、その直下に全ての回答ファイルを[回答 ID]_[申請段階]_[アップロード日].[拡張子]のフォーマットで格納する
開発登録簿として公開するファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力された帳票から開発登録簿頭紙 PDF ファイル、申請ファイルから土地利用計画図 PDF ファイルの最終版を取得して ZIP ファイル出力する

- 【IF114】 通知書類 ファイル出力
- 本インターフェースを利用した機能
 - 【FN035】、【FN118】、【FN040】、【FN045】、【FN050】、【FN057】
- インタフェース詳細
 - 行政担当者が事業者の申請を承認した時点で、承認等の内容を通知する書類を出力する

表 5-36 通知書類 ファイル出力 データフォーマット

項目	説明
通知内容種別	通知する内容の種別（事前協議事項/事前協議同意/公共施設管理者協議同意/開発許可/開発行為変更許可/検査済/領収済）
通知内容	事業者へ通知する事項

- 【IF115】 開発登録簿の写し ファイル出力
- 本インターフェースを利用した機能
 - 【FN303】
- インタフェース詳細
 - 行政担当者が開発登録簿の写し交付申請を承認した時点で、開発登録簿の写しを出力する

表 5-37 開発登録簿の写し ファイル出力 データフォーマット

項目	説明
開発登録簿の写し	開発登録簿の写し

5-4-3. 外部連携インタフェース

3-2 の検証結果を踏まえ、本システムとデータ連携することで効率的なシステム利用が期待される外部システムとの連携インタフェースを整理した。

なお、開発許可関係手続きの支援システムにて本外部連携インタフェースに関する機能を実装する場合は、表 5-2 に当該機能を追記すること。

1) 開発許可申請データ取得 API

- インタフェースの概要
 - 開発許可申請の内容を受領することを想定する
 - 連携先として、自治体独自の開発許可申請システムを想定する
- 本インタフェースを利用する機能
 - 【FN075】

2) 建築許可申請データ連携 API

- インタフェースの概要
 - 建築許可申請の内容を受領することを想定する
 - 連携先として、自治体独自の開発許可申請システムを想定する
- 本インタフェースを利用する機能
 - 【FN095】

3) 手数料決済完了データ連携 API

- インタフェースの概要
 - 開発許可申請及び開発登録簿写しの発行申請時に必要となる手数料の決済完了情報を受領することを想定する
 - 連携先として、各種電子決済システムを想定する
- 本インタフェースを利用する機能
 - 【FN077】、【FN097】、【FN104】

4) 電子署名データ連携 API

- インタフェースの概要
 - 各種申請に対して申請者及び承認者の電子署名情報を受領することを想定する
 - 連携先として、各種電子署名システムを想定する
- 本インタフェースを利用する機能
 - 【FN025】、【FN029】、【FN031】、【FN034】、【FN114】、【FN117】、【FN037】、【FN041】、【FN043】、【FN046】、【FN047】、【FN049】、【FN052】、【FN056】、【FN059】、【FN061】、【FN072】、【FN123】、【FN082】、【FN088】、【FN094】、【FN102】

5-5. 利用推奨データ

5-5-1. 利用推奨データの一覧

1) 利用推奨の 3D 都市モデル

表 5-38 利用推奨の 3D 都市モデル (一覧)

地物	地物型	属性区分	属性名	内容	データを利用した機能 (ID)
建築物 LOD1・ LOD2	bldg:Building	主題属性	gml:name	名称	FN021
			core:creationDate	作成日	FN022
			gen:stringAttribute	汎用属性 (文字列)	FN023
			bldg:usage	用途	
			bldg:yearOfConstruction	建築年	
			bldg:measuredHeight	計測高さ	
			bldg:storeysAboveGround	地上階数	
			bldg:storeysBelowGround	地下階数	
		空間属性	bldg:lod0FootPrint	lod0 接地面	
			bldg:lod1Solid	lod1 立体	
			bldg:lod2Solid	lod2 立体	
		関連役割	uro:buildingIDAttribute	建物識別情報	
		主題属性	uro:buildingIDAttribute/uro:buildingID	建物 ID	
			uro:buildingIDAttribute/uro:prefecture	都道府県	
			uro:buildingIDAttribute/uro:city	市区町村	
		関連役割	uro:buildingDetailAttribute	建物利用現況	
		主題属性	uro:buildingDetailAttribute/uro:totalFloorArea	延床面積	
			uro:buildingDetailAttribute/uro:buildingStructureType	構造種別	
			uro:buildingDetailAttribute/uro:buildingStructureOrgType	構造種別 (独自)	
			uro:buildingDetailAttribute/uro:orgUsage2	建物利用現況 (小分類)	
			uro:buildingDetailAttribute/uro:surveyYear	調査年	
関連役割	uro:buildingDataQualityAttribute	データ品質			
主題属性	uro:buildingDataQualityAttribute/uro:s	地図情報レベル			

			rcScale		
			uro:buildingDataQualityAttribute/uro:geometrySrcDesc	幾何属性作成方法	
			uro:buildingDataQualityAttribute/uro:thematicSrcDesc	主題属性作成方法	
			uro:buildingDataQualityAttribute/uro:appearanceSrcDesc	テクスチャ作成方法	
			uro:buildingDataQualityAttribute/uro:lodType	詳細 LOD	
			uro:buildingDataQualityAttribute/uro:lod1HeightType	LOD1 の立ち上げに使用する建築物の高さ	
道路 LOD0・ LOD1・ LOD2	tran:Road	主題属性	core:creationDate	作成日	FN211
			tran:function	機能	FN212
			tran:class	分類	FN213
			tran:usage	用途	
		空間属性	tran:lod0Network	LOD0 ネットワーク	
			tran:lod1MultiSurface	LOD1 面	
			tran:lod2MultiSurface	LOD2 面	
		関連役割	uro:roadStructureAttribute	道路構造	
		主題属性	uro:roadStructureAttribute/uro:sectionType	区間種別	
			uro:roadStructureAttribute/uro:width	幅員	
		関連役割	uro:TransportationDataQualityAttribute	データ品質	
		主題属性	uro:TransportationDataQualityAttribute/uro:srcScale	地図情報レベル	
			uro:TransportationDataQualityAttribute/uro:geometrySrcDesc	幾何属性作成方法	
uro:TransportationDataQualityAttribute/uro:thematicSrcDesc	主題属性作成方法				
洪水浸水想定区域、津波浸水想定、高潮浸水想定区	wtr:Water Body	主題属性	gml:name	名称	FN202～
			core:creationDate	作成日	FN210*
			wtr:class	分類	FN214
			wtr:function	機能	
		空間属性	wtr:lod1MultiSurface	LOD1 面	
		関連役割	uro:floodingRiskAttribute.uro:RiverFloodingRiskAttribute	洪水浸水想定区域	

域、内水 浸水想定区域 LOD1		主題属性	uro:description	指定河川名称	*空間判定 は、データ の形式、判 定基準か ら適切な 機能を選 ぶ	
			uro:rank	浸水ランク		
			uro:adminType	指定機関		
			uro:scale	規模		
		関連役割	uro:floodingRiskAttribute.uro:Tsunami RiskAttribute	津波浸水想定		
		主題属性	uro:description	設定等名称		
			uro:rank	浸水ランク		
		関連役割	uro:floodingRiskAttribute.uro:HighTide RiskAttribute	高潮浸水想定区域		
		主題属性	uro:description	設定等名称		
			uro:rank	浸水ランク		
		関連役割	uro:floodingRiskAttribute.uro:Reservoir FloodingRiskAttribute	ため池ハザードマ ップ		
		主題属性	uro:description	設定等名称		
			uro:rank	浸水ランク		
関連役割	uro:floodingRiskAttribute.uro:InlandFlo odingRiskAttribute	内水浸水想定区域				
主題属性	uro:description	設定等名称				
	uro:rank	浸水ランク				
土砂災 害警戒 区域 LOD1	urf:Sedime ntDisaster ProneArea	主題属性	core:creationDate	作成日	FN202～	
			urf:prefecture	都道府県名	FN210*	
			urf:disasterType	災害種別	FN214	
			urf:areaType	区域区分	*空間判定	
			urf:zoneNumber	区域番号	は、データ	
			urf:zoneName	区域名	の形式、判	
		空間属性	urf:lod1MultiSurface	LOD1面(区域)	定基準か	
		関連役割	urf:dataQualityAttribute.uro:DataQualit yAttribute	データ品質属性	ら適切な 機能を選 ぶ	
主題属性	uro:geometrySrcDescLod1	LOD1幾何オブジ ェクト原典資料				
都市計 画決定 情報 LOD1		主題属性	urf:UrbanPlanningArea	都市計画区域	FN202～	
			gml:name	名称	FN210*	
			core:creationDate	作成日	FN214	
			urf:function	区域の種類	*空間判定	
			urf:custodian	決定者	は、データ	
			urf:notificationNumber	告示番号(当初)	の形式、判	

			urf:finalNotificationNumber	告示番号（最終）	定基準から適切な機能を選ぶ
			urf:finalNotificationDate	告示日（最終）	
			urf:nominalArea	総面積	
			urf:prefecture	都道府県名	
			urf:city	市区町村名	
		空間属性	urf:lod1MultiSurface	LOD1 面（区域）	
		関連役割	urf:dataQualityAttribute.uro:DataQualityAttribute	データ品質属性	
		主題属性	uro:geometrySrcDescLod1	LOD1 幾何オブジェクト原典資料	
			uro:thematicSrcDesc	主題属性原典資料	
			uro:appearanceSrcDesc1	LOD1 アピアランス原典資料	
地形 LOD1	dem:TINRelief	主題属性	core:creationDate	作成日	FN021
			dem:lod	lod	FN022
			uro:dmCode	DM コード	FN023
			uro:geometryType	レコードタイプ	
			uro:mapLevel	地図情報レベル	
			uro:shapeType	図形区分	
		空間属性	dem:tin	TIN	

2) 利用推奨のその他のデータ

1. データ一覧

本システムで活用できる空間情報を、利用推奨のその他の地理空間データ（一覧）に例示する。このうち、「地番図」及び「町・字」は、システムを動作させる上で必須のデータである。

表 5-39 利用推奨のその他の地理空間データ（一覧）

ID	データ名称	内容	データ形式	更新情報	出所	データを利用した機能 (ID)
DT001	地番図	<ul style="list-style-type: none"> ● 地番を示すポリゴン土地を指定する際に使用 	Shapefile 等	-	導入する地方公共団体	FN018 FN020 FN021
DT002	町・字	<ul style="list-style-type: none"> ● 町・字を示すポリゴン ● 土地を指定する際に使用（地番と階層化） 	Shapefile 等	-	導入する地方公共団体	FN022 FN023 FN028 FN202 FN214
DT003	航空写真	<ul style="list-style-type: none"> ● オルソ化した航空写真画像 ● 背景地図として使用 	JPEG, TIFF 等 + ワールドファイル	-	導入する地方公共団体等	FN019
DT004	津波災害特別警戒区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波災害特別警戒区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、その旨の情報を表示、相談案内等 	Shapefile 等	-	導入する地方公共団体・都道府県	FN021 FN022 FN023 FN202～
DT005	宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 盛土規制法に基づく記載区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、その旨の情報を表示、相談案内等 	Shapefile 等	-	導入する地方公共団体・都道府県	FN210* FN214 *空間判定は、データの形式、判定基準から適切な機能を選ぶ
DT006	地すべり防止区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 地すべり防止区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、原則開発不可、詳細は事前相談 	Shapefile 等	-	導入する地方公共団体・都道府県	
DT007	急傾斜地崩壊危険区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 急傾斜地法に基づき指定された区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、原則開発不可、詳細は事前相談 	Shapefile 等	-	導入する地方公共団体・都道府県	

DT008	浸水被害防止区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 浸水被害防止区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、原則開発不可、詳細は事前相談 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体・都道 府県	
DT009	災害危険区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築基準法第 39 条が定める災害危険区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、原則開発不可、詳細は事前相談 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体等	
DT010	認定路線	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線番号、路線名、備考を表示し、確認事項ごとに担当課を案内 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体	FN021 FN022 FN023
DT011	位置指定道路	<ul style="list-style-type: none"> ● 前面道路が私道のため、汚水処理への考慮 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体	FN211 FN213 FN214
DT012	道路台帳要素（中心線・区割り線・道路部幅員・車道幅員（側溝除く））	<ul style="list-style-type: none"> ● 4m 以上は第 42 条第 1 項第 1 号道路、その他は担当課へ案内 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体	
DT013	建築協定区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 協定区域を示すポリゴン ● 協定内容により、関係する部署への事前相談を案内 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体	FN022 FN023 FN211 FN212
DT014	埋蔵文化財包蔵地区 域	<ul style="list-style-type: none"> ● 埋蔵文化財包蔵地の区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、その旨の情報を表示、相談案内等 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体等	FN214
DT015	農業振興地域整備計 画区域	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業振興地域整備計画区域を示すポリゴン ● 区域内の場合、その旨の情報を表示、相談案内等 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体	
DT016	下水道汚水柵	<ul style="list-style-type: none"> ● 宅内汚水柵が設置されていない場合、担当課へ事前相談を案内 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体	
DT017	消火栓箇所（消防水利 施設）	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防水利施設の消火栓の設置位置 ● 指定の土地から既定の半径、または消防水利地図 	Shapefile 等	-	導入する 地方公共 団体	

		区分に応じた半径以内に 消火栓有無を確認				
--	--	-------------------------	--	--	--	--

表 5-40 利用するその他データ（一覧）


ID	データ名称	内容	データ形式	更新情報	出所	データを利用した機能 (ID)
DT101	開発行為許可申請書 (規則様式 2)	● 都市計画法施行規則第 29 条 第一項の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	FN025 FN031 FN068
DT102	資金計画書 (規則様式 3)	● 都市計画法施行規則第 29 条 第一項の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	FN114 FN037
DT103	移転計画書 (指針様式 1)	● 開発許可運用指針第 34 条 8 号の 2 の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	FN043 FN047
DT104	老人保健施設の 開発許可申請 (指針様式 2)	● 開発許可運用指針第 34 条 14 号の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	FN052 FN059
DT105	開発行為変更許可申請書 (指針様式 3)	● 開発許可運用指針第 35 条の 2 第 1 項 / 第 35 条の 2 第 3 項の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	
DT106	工事完了届出書 (規則様式 4)	● 都市計画法施行規則第 36 条 第一項の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	
DT107	公共施設工事完了届出書 (規則様式 5)	● 都市計画法施行規則第 36 条 第一項の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	
DT108	開発行為に関する工 事の検査済書 (規則様式 6)	● 都市計画法施行規則第 36 条 第二項の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	
DT109	公共施設に関する工 事の検査済書 (規則様式 7)	● 都市計画法施行規則第 36 条 第二項の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	
DT110	開発行為に関する工 事の廃止の届出書 (規則様式 8)	● 都市計画法施行規則第 38 条 の記載様式	PDF 等	-	導入する地方公共団体	

DT111	建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定工作物の新設許可申請書(規則様式9)	● 都市計画法施行規則第43条第一項の記載様式	PDF等	-	導入する地方公共団体	
DT112	開発登録簿(指針様式9)	● 開発許可運用指針第46・47条 開発登録簿の記載様式	PDF等	-	導入する地方公共団体	
DT113	登記嘱託書(指針様式4)	● 開発許可運用指針第36条第3項公告の日の翌日前における土地の表題登記の記載様式	PDF等	-	導入する地方公共団体	
DT114	登記嘱託書(指針様式5)	● 開発許可運用指針第36条第3項の公告の日の翌日前における土地の所有権の保存の登記の記載様式	PDF等	-	導入する地方公共団体	
DT115	登記嘱託書(指針様式6)	● 開発許可運用指針従前の公共施設の用に供していた土地の帰属による所有権の移転の登記の記載様式	PDF等	-	導入する地方公共団体	
DT116	登記嘱託書(指針様式7)	● 開発許可運用指針従前の公共施設に代えて新たに設置された公共施設の用に供する土地の帰属による所有権の移転の登記の記載様式	PDF等	-	導入する地方公共団体	
DT117	登記嘱託書(指針様式8)	● 開発許可運用指針新たに設置された公共施設の用に供する土地の帰属による所有権の移転の登記の記載様式	PDF等	-	導入する地方公共団体	
DT118	3D都市モデル以外の地理空間データ ※詳細は表5-39、表5-38に記載	● 導入する地方公共団体の地理空間データ	Shapefile等	-	導入する地方公共団体	表5-39 表5-38に記載
DT119	3D都市モデル ※詳細は表5-38に記載	● 導入する地方公共団体の3D都市モデル	Shapefile等	-	導入する地方公共団体	表5-38に記載


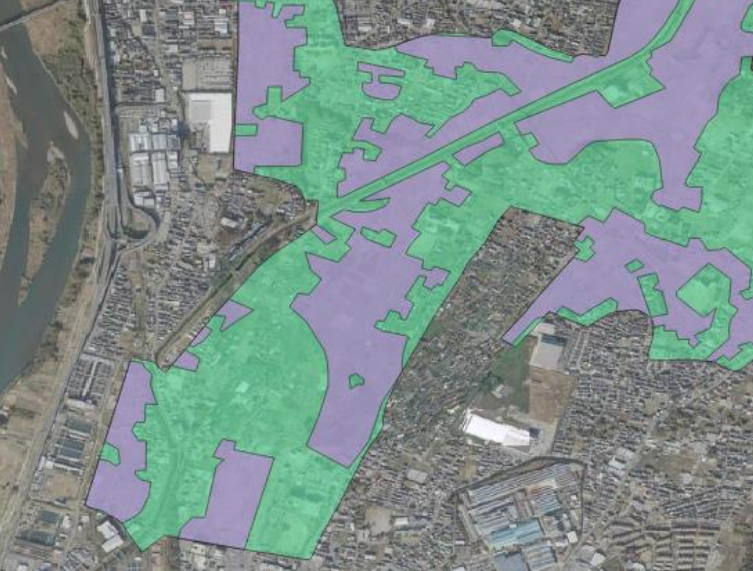

2. データサンプル (イメージ)

表 5-39 に示したデータのうち、G 空間情報センターまたは国土数値情報ダウンロードサイトで公開されているデータをサンプルとして示す。サンプルはオープンデータとして公開している例であり、本システムによる利用実績ではない。

表 5-41 利用推奨のその他の地理空間データ (サンプル)

ID	活用データ	サンプル・イメージ
DT001	地番図	 <p data-bbox="770 965 1238 999">※名古屋市 (背景は国土地理院タイル)</p>
DT003	航空写真	 <p data-bbox="959 1496 1066 1529">※大阪市</p>
DT005	宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制区域	 <p data-bbox="783 1973 1225 2007">※兵庫県 (背景は国土地理院タイル)</p>

DT006	地すべり防止区域	 <p>※広島県（背景は国土地理院タイル）</p>
DT007	急傾斜地崩壊危険区域	 <p>※熊本県（背景は国土地理院タイル）</p>
DT009	災害危険区域	 <p>※長野県（背景は国土地理院タイル）</p>
DT010	認定路線	 <p>※裾野市（背景は国土地理院タイル）</p>

DT014	埋蔵文化財包蔵地区域	 <p>※千葉県（背景は国土地理院タイル）</p>
DT015	農業振興地域整備計画 区域	 <p>※神奈川県（背景は国土地理院タイル）</p>
DT017	消火栓箇所（消防水利施設）	 <p>※横浜市（背景は国土地理院タイル）</p>

5-6. ユーザーインターフェース

5-6-1. 画面一覧

本資料の記載事項を基にしたユーザーインターフェースの構築例を以下に示す。

1) 【HW005】 PC（申請事業者）用、【HW006】 PC（行政管理者）用共通画面

表 5-42 事業者・行政担当者共通画面一覧

ID	連携 (ID)	画面名	画面説明	画面を表示した機能 (ID)
SC001	SC102、 SC103、 SC202	地番検索画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 地番検索結果を表示する 	FN020
SC002	SC102、 SC202	レイヤー一覧表示画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種 3D データ・開発許可判定データを一覧表示する ● 画面のチェックボックスから、地図上にレイヤ表示の追加・削除を行う ● ドラッグアンドドロップで地図上に表示しているレイヤの表示順の並び替えを行う 	FN021
SC003	SC102、 SC202	3D ビュー・2D ビュー	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可申請機能の 3 次元地図又は 2 次元地図を表示する ● 表示中の地図（3 次元・2 次元）を切り替える 	FN019
SC004	SC205、 SC213	申請ファイル選択	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての版情報の申請ファイルを一覧表示する ● 申請ファイルをダウンロードする 	FN007 FN008 FN009

2) 【HW005】 PC（申請事業者）用画面

表 5-43 事業者向け画面一覧

ID	連携 (ID)	画面名	画面説明	画面を表示した機能 (ID)
SC101	SC102	利用者規約・アンケート画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可申請機能の利用規約を表示し、同意の意思を確認する ● 開発許可申請機能の利用目的を選択して、アンケート収集の画面を別タブで開く 	FN001 FN002
SC102	SC001、 SC002、 SC103、 SC113	事業者トップ画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期表示時に、「検索」タブ、「地図検索(地番)」ラジオボタンの選択状態により【SC001】と【SC113】を表示する ● 【SC001】に、検索条件を入力して、検索を行うと、【SC103】を表示する ● 「地図選択」ラジオボタンを選択すると、【SC103】へ切り替わる ● 「レイヤ」タブを選択すると、【SC002】を表示する 	FN005
SC103	SC001、 SC102、 SC104	申請対象地番選択画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請対象地番の選択方法は以下の3パターンとする <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地図検索(地番):【SC001】の検索結果一覧から選択する ➢ 地図選択:【SC001】を、入力不可にする。地番上で、クリックした地点に該当する筆界を選択する ● 地図選択:【SC001】を、入力不可にする。地番上のドラッグした範囲に含まれる筆界を選択する 	FN017
SC104	SC103、 SC105	申請区分選択画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 「開発許可」と「その他」どちらかを選択する。初期表示時、「開発許可」がデフォルト選択される ● 選択結果から、画面に表示する開発許可申請の申請区分リストが切り替わる ● システム構築時の設定に従い申請区分の必須チェックを行う 	FN018

SC105	SC102、 SC106、 SC107、 SC108	概況診断結果表示画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択した地番と申請区分をもとに、開発許可申請に適しているか、判定結果を一覧表示する ● 判定結果をクリックすると判定に用いた GIS データを 3D 都市モデルに重畳表示し、画面右下に判定結果の詳細・補足説明文を表示する。参考資料がある場合、リンクを表示する ● 参照資料のリンクをクリックすると、【SC106】を別タブに開く 	FN022
SC106	SC105	概況診断関連資料画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路台帳図（画像又は PDF）を表示する 	FN023
SC107	SC102、 SC118	帳票出力画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断結果を帳票出力する ● 帳票出力完了した 3 秒後に、アンケート収集画面を別タブで開く 	FN023
SC108	SC105、 SC109	申請者情報入力画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可申請の申請者情報を入力する 	FN024 FN030 FN113 FN036 FN024 FN058
SC109	SC108、 SC110	申請対象ファイルアップロード画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可申請の申請区分に関連付けたファイルをアップロードする 	FN025 FN031 FN114 FN037 FN043 FN047 FN052 FN059
SC110	SC109、 SC112	申請内容確認画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可申請の入力情報・ファイル情報に相違ないか確認する 	FN028 FN032 FN115 FN039 FN044 FN048 FN055 FN060
SC111	-	概況診断レポート生成画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 概況診断レポート（回答内容を含む）作成の進捗を表示する 	FN023

SC112	SC101	申請完了画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可申請が完了したことを通知する ● 申請完了した 3 秒後に、アンケート収集画面を別タブで開く 	FN028 FN032 FN115 FN039 FN044 FN048 FN055 FN060
SC113	SC114	申請 ID・パスワード認証画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請時の ID・パスワードを認証する 	FN005
SC114	SC102、 SC115、 SC116	回答内容確認画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政担当者からの回答内容を確認する ● タブで切替え表示し、各申請区分に対する回答内容を表示する ● 行政担当者からの回答内容と発行可能な帳票を帳票出力する ● 回答内容から、再申請必要かを確認する ● 回答に対して問合せを行う場合、【SC116】で問合せを行う ● 回答内容横に問合せ状態を表示する。30 秒おきに読み込んで表示を更新する ● 事前協議の場合、事業者から回答内容を入力して、行政への通知を行う 	FN066 FN071 FN122 FN080 FN086 FN092 FN100
SC115	SC114	再申請画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 再申請を行う申請区分を「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」から選択し、申請区分に応じた追加情報の入力と申請ファイル登録を行い、再申請を行う 	FN028 FN032 FN115 FN039 FN044 FN048 FN055 FN060
SC116	SC114、 SC117、 SC004	問合せ画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政からの回答に対して、事業者からチャット形式で問合せを行う ● 問合せを投稿後、行政担当者へメール通知を行う ● 問合せ内容は 30 秒おきに読み込んで表示を更新する ● 事前相談でのやり取り・事前協議でのやり取り・許可判定でのやり取りを区切り表示する 	FN304

SC117	SC116	問合せファイル選択画面	<ul style="list-style-type: none">● 問合せ内容に関する添付ファイルをアップロードする	FN304
SC118	-	アンケート収集画面（事業者）	<ul style="list-style-type: none">● 事業者向けのアンケート画面を表示する● アンケート画面は別タブで別サイトを開く● 遷移先のアンケート画面 URL はシステム設定から変更可能	FN001

3) 【HW006】 PC（行政管理者）用画面

表 5-44 行政向け画面一覧

ID	連携 (ID)	画面名	画面説明	画面を表示した機能 (ID)
SC201	SC003、 SC202	ログイン認証画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政担当者の ID・パスワードを認証する ● 認証成功した 3 秒後に、アンケート収集画面を開く 	FN005
SC202	SC001、 SC002、 SC201、 SC203、 SC204、 SC205、 SC213	行政トップ画面	<p>画面表示は以下の 3 パターンとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「地図検索」タブ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 【SC001】地番検索画面を表示し、結果一覧に地番に対する申請のステータスを表示する ➢ ログインユーザーの所属部署宛の問合せ・回答情報を一覧表示する ➢ 問合せ・回答一覧は 30 秒おきに読み込んで表示を更新する ➢ 問合せ・回答一覧の詳細ボタンから、【SC205】、【SC213】へ遷移する ➢ 回答情報は申請段階ごとに集約して表示する ● 「申請情報検索」タブ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 【SC203】申請・問合せ情報検索画面を表示する ● 「レイヤ」タブ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 【SC002】レイヤー一覧表示画面を表示する 	FN201 FN020 FN008
SC203	SC204	申請・問合せ情報検索画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 区分：申請情報を選択する場合、申請時の入力情報と申請の担当課、回答者を検索条件として、申請情報を検索する ● 区分：問合せ情報を選択する場合、申請時の入力情報と問合せ内容の担当課、回答者を検索条件として、問合せ情報を検索する 	FN008
SC204	SC203、 SC205、 SC213	検索結果一覧表示画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請・問合せ情報検索の検索結果を一覧表示する ● 表示項目で昇順・降順でソートできる ● 表示している一覧を CSV ファイルで出力する 	FN010

SC205	SC202、 SC004、 SC213、 SC215、 SC216	申請情報詳細画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発許可申請情報の詳細情報を表示する ● 「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」をタブで切替え表示し、各申請区分に対する回答内容を表示する ● 申請ファイルと概況診断レポートを参照する ● 回答内容の履歴を参照する ● 回答ファイルの更新履歴を参照する 	FN062 FN068 FN076 FN077 FN083 FN089 FN096 FN097 FN103 FN104
SC207	SC205、 SC208、 SC209、 SC210、 SC211、 SC215	回答登録画面	<ul style="list-style-type: none"> ● SC215 申請段階画面で選択した申請段階（「事前相談」、「事前協議」、「許可判定」）に応じた回答入力フォームを表示する ● 申請情報に対し、回答を記載する ● 回答ファイルを追加・編集・削除する 	FN063 FN069 FN120 FN079 FN084 FN090 FN098
SC208	SC207	回答テンプレート 選択画面	<ul style="list-style-type: none"> ● テンプレートを選択して、回答内容の末尾に追記する 	FN063 FN069 FN120 FN079 FN084 FN090 FN098
SC209	SC207、 SC210	回答ファイル選択 画面	<ul style="list-style-type: none"> ● PC から添付したい回答ファイルを選択する ● 申請情報の申請ファイル又は登録済みの回答ファイルから引用して回答ファイルとする 	FN063 FN069 FN120 FN079 FN084 FN090 FN098
SC210	SC207、 SC209	回答ファイル赤入 れ画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 画像ファイルに赤字・枠線・マーカーなどで添削・修正を行う 	FN063 FN069 FN120 FN079 FN084 FN090 FN098

SC211	SC217	回答登録完了画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請情報への回答が完了したことを表示する 	FN064 FN070 FN121 FN079 FN085 FN091 FN098
SC212	-	回答完了通知画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者に対し、回答が完了したことを通知する 	FN066 FN071 FN122 FN080 FN086 FN092 FN099
SC213	SC202、 SC205、 SC004、 SC214	問合せ画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者・行政担当課からの問合せに返答する ● 別担当課（複数可）へ問合せ内容に関する問合せを投稿する ● 事業者からの問合せファイル、申請情報の全ての版情報の申請ファイル、問合せにひも付く回答ファイルを参照する ● 問合せにひも付く申請情報の詳細を参照する ● 事前相談でのやり取り・事前協議でのやり取り・許可判定でのやり取りを区切り表示する 	FN008 FN010
SC214	SC213	宛先選択画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 問合せに対する回答者を指定する 	FN008 FN010
SC215	SC205、 SC207	申請段階選択画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答を行う申請段階（「事前相談」「事前協議」「許可判定」）を選択する 	FN008 FN010
SC216	SC205、 SC212	回答通知確認画面	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答通知を行う前に回答通知する内容を確認する ● 申請種別を選択し、通知対象の回答を選択する 	FN008 FN010
SC217	-	アンケート収集画面（行政）	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政向けのアンケート画面を表示する ● アンケート画面は別タブで別サイトを開く ● 遷移先のアンケート画面 URL はシステム設定で変更可能 	FN001

5-6-2. 画面遷移図

1) 【HW005】 PC（申請事業者）用、【HW006】 PC（行政管理者）用共通画面

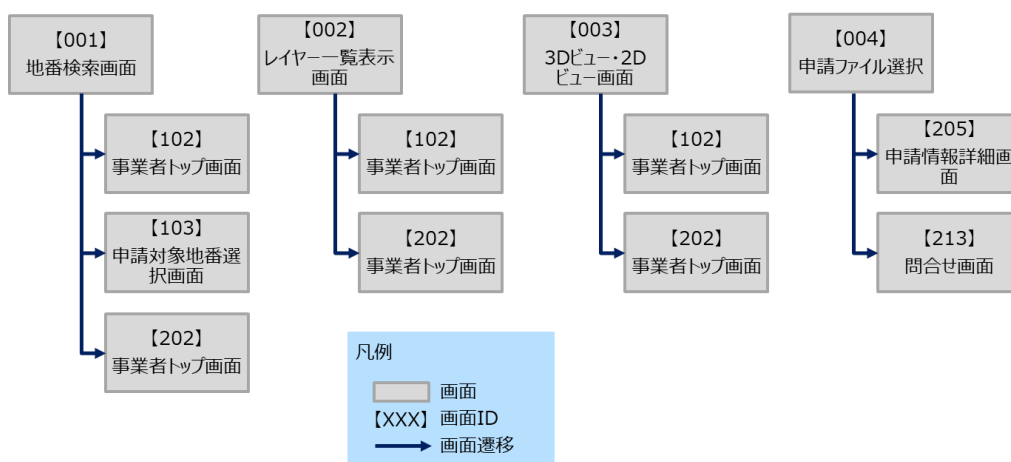


図 5-23 【HW005】 PC（申請事業者）用、【HW006】 PC（行政管理者）用共通画面

2) 【HW005】 PC（申請事業者）用画面

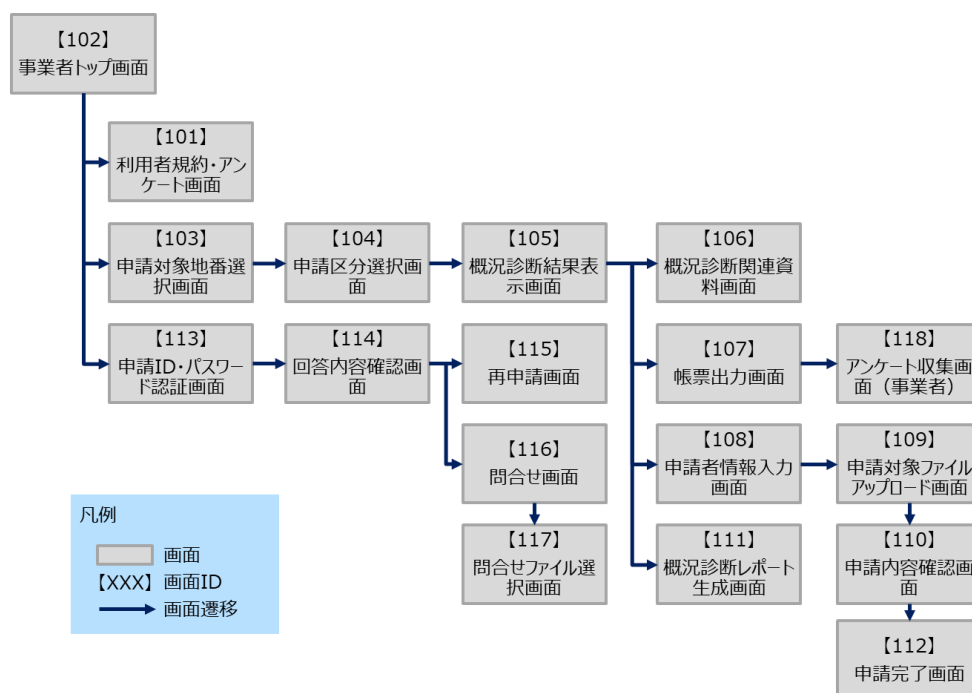


図 5-24 【HW005】 申請事業者画面

3) 【HW006】 PC（行政管理者）用画面

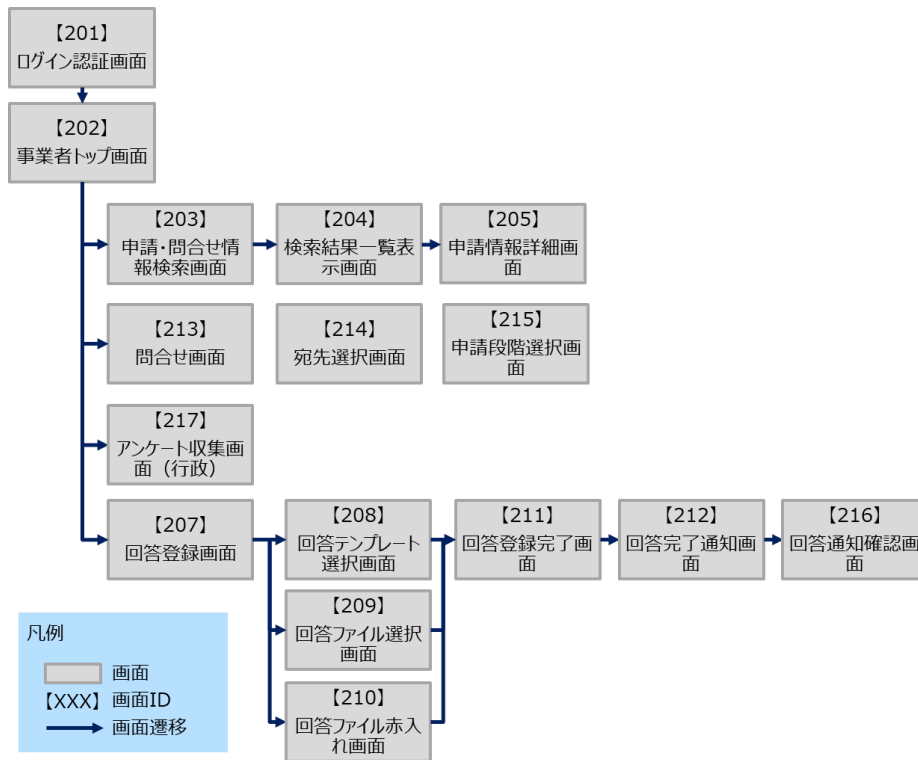


図 5-25 【HW006】 行政管理者画面

5-7. 開発システムの利用手順

5-7-1. 開発システムの利用フロー

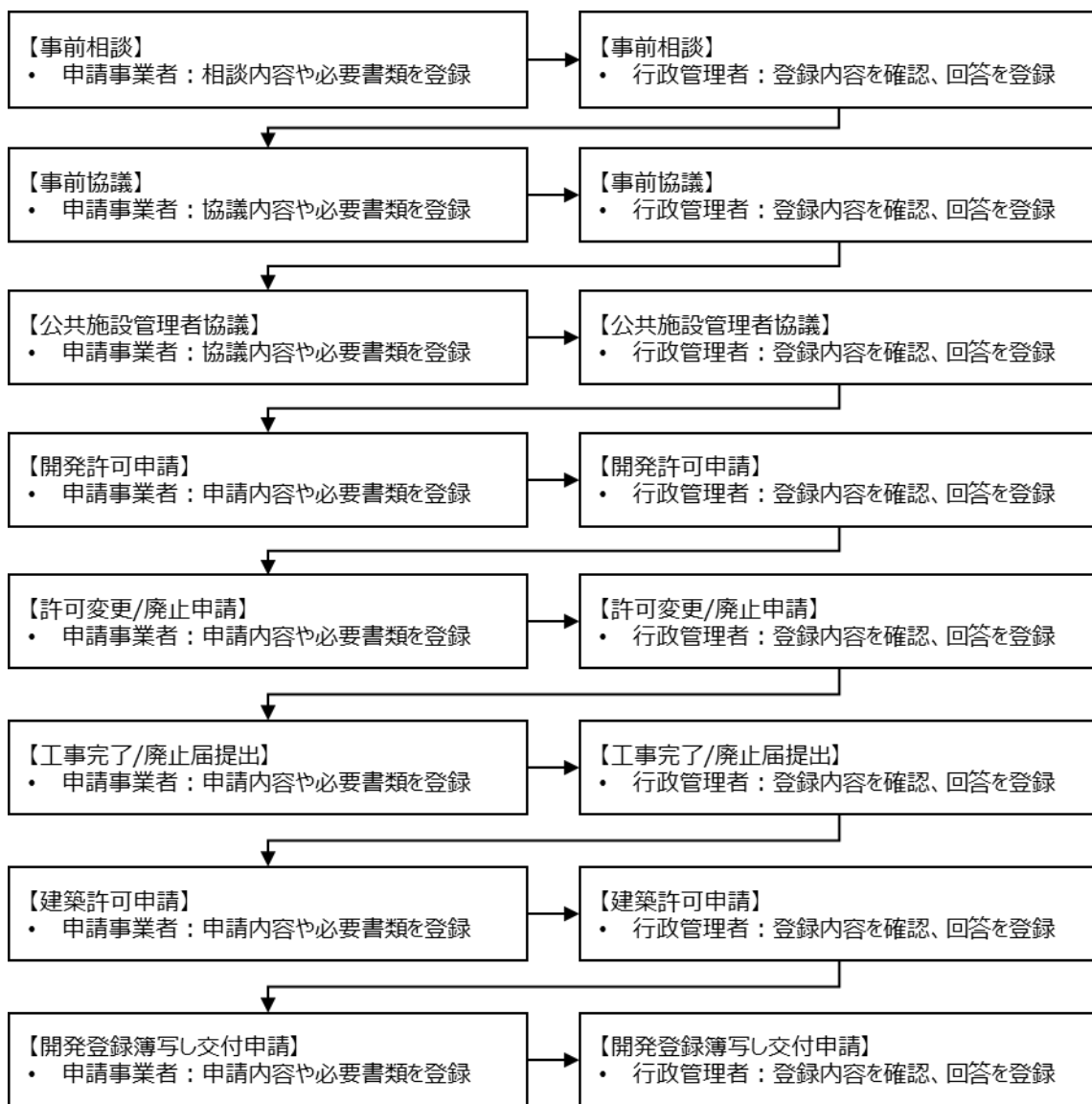


図 5-26 システムの利用フロー

6. システムの非機能要件

6-1. 社会実装に向けた非機能要件

開発許可関係手続きの支援システムの非機能要件は以下とする。なお、各要件の数値や定義はシステムを導入する地方公共団体の規模等を踏まえて設定することが望ましい。

表 6-1 非機能要件一覧

カテゴリ	ID	非機能項目	要件詳細
可用性	NR001	システムの連続稼働時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 24 時間利用可能とする（事前通告や定期的なメンテナンスによる停止可能）
	NR002	システム復旧時間・復旧時点	<ul style="list-style-type: none"> ● 開庁日 24 時間以内の復旧 ● 障害発生前日の受付・入力分までを復旧
	NR003	データの保管期間	<ul style="list-style-type: none"> ● 添付書類について 5 年、そのほかは無期限とする ● 利用状況により、拡張可能とする
性能・拡張性	NR004	アカウント数	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者数は、想定される地方公共団体職員、事業者及び公共施設管理者の必要数を設定する ● 利用状況により、拡張可能とする
	NR005	申請件数（年間）	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前協議件数及び開発申請件数は、想定される件数を設定する
	NR006	アクセス数（年間）	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方公共団体職員及び事業者のアクセス数は、事前協議件数の 10 倍、開発申請件数の 20 倍を想定する ● 公共施設管理者は開発申請件数の 10 倍を想定する
	NR007	システムの処理実行速度	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常の閲覧操作においては、アクセスの 90%が応答時間 5 秒以内であることを目標とする ● 帳票作成は条件に寄るが、1 分以内を目標とする ● 応答時間のモニタリングにより、拡張可能とする
運用・保守性	NR008	認証	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用ユーザーを特定するためにユーザー名、メールアドレス、英数字を組み合わせた 8 桁以上のパスワードを設定したアカウントを発行する
セキュリティ	NR009	重要情報資産の公開範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請者は申請したデータのみ閲覧可能とする ● 許可者は当該地方公共団体に紐づいた申請のみ閲覧可能とする
	NR010	入力文字列の制御	<ul style="list-style-type: none"> ● UI の入力項目は、全て適切な文字列のみ入力が許容されるよう無害化する

1) 【NR001】 システムの連続稼働時間

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 24 時間連続利用
- 設定理由
 - 地方公共団体職員向け機能は開庁時間内の利用であるが、事業者によっては開庁時間外、また定休日異なることから、24 時間利用を基本とする
 - データ更新等のメンテナンスのため、事前通告による停止日は設定可能とする

2) 【NR002】 システム復旧時間・復旧時点

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 開庁日 24 時間以内の復旧
 - 障害発生前の受付・入力分までを復旧
- 設定理由
 - 窓口対応も引き続き行うため、万一の場合は切替えによる対応も想定できる
 - 回答に数日を要する手続きである
 - 受け付けた情報は保持が必要

3) 【NR003】 データの保管期間

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 添付書類について 5 年、そのほかは無期限とする
 - 利用状況により、拡張可能とする
- 設定理由
 - 基本的には無期限での保管を期待される

4) 【NR004】 アカウント数

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 表 6-1 に定義した数値
 - 利用状況により、拡張可能とする
- 設定理由
 - 本システムを利用する地方公共団体職員、事業者及び公共施設管理者の想定数よりアカウント数を設定する

5) 【NR005】 申請件数

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 表 6-1 に定義した数値
- 設定理由
 - 本システムを利用する地方公共団体の事前相談及び開発申請の件数を設定する

6) 【NR006】 アクセス数

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 表 6-1 に定義した数値
- 設定理由
 - 地方公共団体職員及び事業者のアクセス数は、事前協議件数の 10 倍、開発申請件数の 20 倍を想定する
 - 公共施設管理者は開発申請件数の 10 倍を想定する

7) 【NR007】 システムの処理実行速度

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 通常の閲覧操作においては、アクセスの 90%が応答時間 5 秒以内であることを目標とする
 - 帳票作成は条件に寄るが、1 分以内を目標とする
 - 応答時間のモニタリングにより、拡張可能とする
- 設定理由
 - 一般的な発注仕様の例による

8) 【NR008】 認証

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 利用ユーザーを特定するためにユーザー名、メールアドレス、英数字を組み合わせた 8 桁以上のパスワードを設定したアカウントを発行する
- 設定理由
 - 一般的なパスワード保護設定

9) 【NR009】 重要情報資産の公開範囲

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - 申請者は申請したデータのみ閲覧可能とする
 - 許可者は当該自治体に紐づいた申請のみ閲覧可能とする
- 設定理由
 - 申請データについては当事者のみに閲覧権限を限定することで、プライバシー保護と情報漏洩リスクの低減を実現する

10) 【NR010】 入力文字列の制御

- 本非機能要件を適用するシステム
 - 開発許可申請管理システム
- 目標値
 - UI の入力項目は、全て適切な文字列のみ入力が許容されるよう無害化する
- 設定理由
 - SQL インジェクション攻撃に対してデータベースを保護する

7. 成果と課題

7-1. 調査で得られた課題と対応策

表 7-1 調査で得られた課題

大項目	小項目	調査で得られた課題	課題に対する対応策
システム (機能)	地方公共団体独自の業務手順・業務フローへの適合	<ul style="list-style-type: none"> ● ヒアリング・アンケートにて業務フローのパターンを5つに整理したが、当該パターンに含まれない業務手順・業務フローにて開発許可手続きを運用している地方公共団体が存在する場合、本要件定義の内容をそのまま活用することができない懸念がある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本レポートにて整理した業務フロー及び要件定義内容を踏まえ、独自の業務手順・業務フローにて必要な機能を追加することで、独自の要件を満たすことが可能となる
システム (非機能要件)	具体の非機能要件の算出	<ul style="list-style-type: none"> ● 本レポートにて整理した非機能要件はあくまで算出の指針を示したものであり、各地方公共団体にて本システムを導入する場合は、必要な非機能要件の数値等を算出する必要がある ● 非機能要件が適切に設定されない場合、システム停止等の運用営業が発生するリスクが存在する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本レポートにて整理した非機能要件を基に、アクセス数等を算出するとともに、当該非機能要件を満たすシステム構成やサーバスペック等をベンダと調整することで、具体的な非機能要件を算出することが可能となる

7-2. 今後の展望

本プロジェクトで作成した要件定義資料は、全国の開発許可権者に該当する地方公共団体へのヒアリング及びアンケート調査の結果をふまえ、地方公共団体ごとの業務フローの差分を把握しつつ、地方公共団体において汎用的に求められる要件と実装すべき機能を整理することができた。また、すでに OSS となっている開発許可 DX 3.0 で対応する開発許可申請までの業務から対象業務を拡張することで、開発許可手続き全体を一気通貫して電子化することが可能となる。

一方、本資料は全国の地方公共団体で汎用的な要件をとりまとめたものであり、地方公共団体にて独自の業務手順、業務フロー、書類・図面などを導入している場合は、本資料記載内容に追加として機能やデータインタフェース等への追加が必要となる。また、非機能要件についても、地方公共団体によって求めるアカウント数や申請件数が異なるため、本資料記載内容を基に、具体的な数値を算定する必要がある。

本要件定義資料を活用いただくことで、効率的なシステム導入が実現されるとともに、構築されたシステムを通じて開発許可手続き全体を一気通貫で電子化することで、審査・申請業務も含めた手続き間での情報連携、画面入力/確認作業の削減が実現され、さらなる業務の効率化が進むことを期待する。

8. 用語集

A) アルファベット順

表 8-1 用語集（アルファベット順）

No.	用語	説明
1	DTO (Data Transfer Object)	データのやり取りで使用するオブジェクト
2	GIS (Geographic Information System)	空間情報と地理的な位置に関連する多様なデータを統合的に扱うために構成されている情報システム全般
3	SQL	データベース操作言語の一種。データの参照や登録・更新・削除などの操作を行う
4	オブジェクト	属性や動作を定義されたデータの単位
5	クエリ	データの問い合わせで使用する形式に従った文字表現
6	ジオメトリ	空間情報を保持するオブジェクト
7	バッファ	対象となるフィーチャの周囲に、指定した距離で作成する範囲
8	フィーチャ	地図上の地物（点、線、多角形で表現される）、空間情報を属性として持つオブジェクト
9	レイヤ	一定の意味を持つ地物の集合体。「層」として地図上に重ねることで表現・分析を行う
10	開発許可権者	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県知事、政令指定都市の長、中核市の長、特例市の長（都市計画法第 29 条） 地方自治法第 252 条の 17 の 2 の規定に基づく事務処理市町村の長
11	開発許可制度	市街化区域及び市街化調整区域の区域区分を担保し、良好かつ安全な市街地の形成と無秩序な市街化の防止を目的とした制度
12	技術基準	道路・公園・給排水施設等の確保、防災上の措置等に関する基準。地方公共団体の条例で、一定の強化又は緩和、最低敷地規模に関する制限の付加が可能
13	立地基準	市街化調整区域にのみ適用され、市街化を抑制すべき区域という市街化調整区域の性格から、許可できる開発行為の類型を限定するもの

B) 五十音順

表 8-2 用語集（五十音順）

No.	用語	説明
1	SQL	データベース操作言語の一種。データの参照や登録・更新・削除などの操作を行う
2	オブジェクト	属性や動作を定義されたデータの単位
3	開発許可権者	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県知事、政令指定都市の長、中核市の長、特例市の長（都市計画法第 29 条） ・地方自治法第 252 条の 17 の 2 の規定に基づく事務処理市町村の長
4	開発許可制度	市街化区域及び市街化調整区域の区域区分を担保し、良好かつ安全な市街地の形成と無秩序な市街化の防止を目的とした制度
5	技術基準	道路・公園・給排水施設等の確保、防災上の措置等に関する基準。地方公共団体の条例で、一定の強化又は緩和、最低敷地規模に関する制限の付加が可能
6	クエリ	データの問い合わせで使用する形式に従った文字表現
7	GIS (Geographic Information System)	空間情報と地理的な位置に関連する多様なデータを統合的に扱うために構成されている情報システム全般
8	ジオメトリ	空間情報を保持するオブジェクト
9	DTO (Data Transfer Object)	データのやり取りで使用するオブジェクト
10	バッファ	対象となるフィーチャの周囲に、指定した距離で作成する範囲
11	フィーチャ	地図上の地物（点、線、多角形で表現される）、空間情報を属性として持つオブジェクト
12	立地基準	市街化調整区域にのみ適用され、市街化を抑制すべき区域という市街化調整区域の性格から、許可できる開発行為の類型を限定するもの
13	レイヤ	一定の意味を持つ地物の集合体。「層」として地図上に重ねることで表現・分析を行う

以上

開発許可の DX v4.0 技術調査レポート

2026 年 3 月 発行

委託者：国土交通省 都市局

受託者：株式会社三菱総合研究所、アジア航測株式会社